

第3回

(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)

王寺町総合計画後期基本計画効果検証のための

成果指標進捗状況

(数値目標・KPI)

令和7年8月

王 寺 町

目次

1. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）について	1
2. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）におけるPDCAサイクル	1
3. 評価について	2
4. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）の体系と 重要業績評価指標（KPI）数	3
5. 数値目標の状況	4
6. 重要業績評価指標（KPI）の状況	4
7. 成果指標（数値目標・KPI）の見方	5

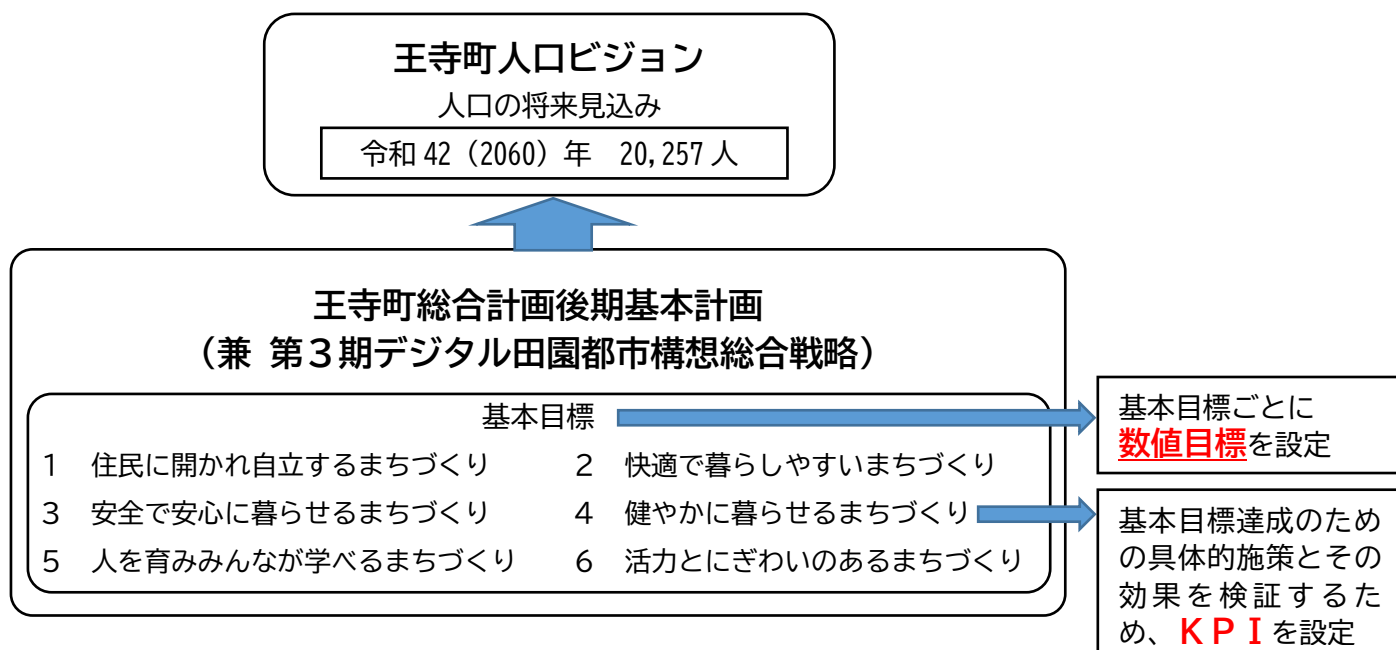
◎成果指標（数値目標・KPI）

1 住民に開かれ自立するまちづくり	6
2 快適で暮らしやすいまちづく	18
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	30
4 健やかに暮らせるまちづくり	35
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	48
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	65

1. 王寺町総合計画後期基本計画

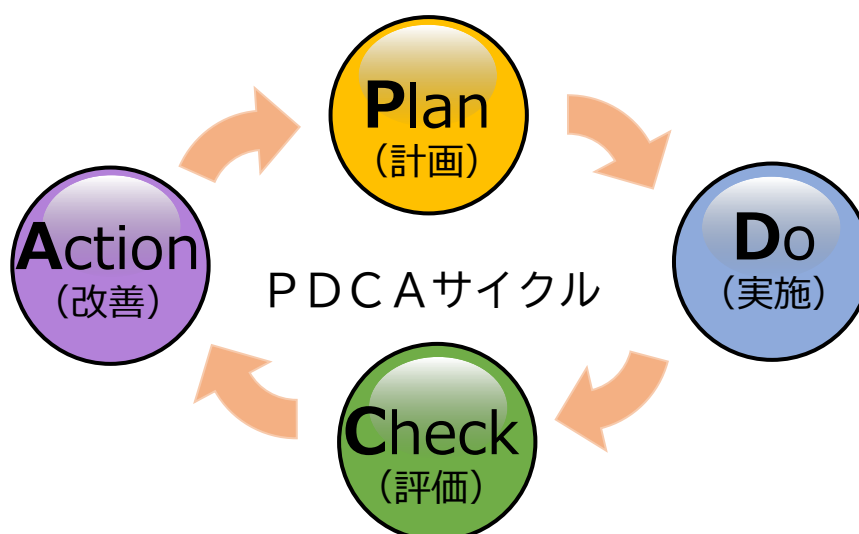
（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）について

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）では、王寺町人口ビジョンにおける人口の将来見込みを達成するために必要な6つの基本目標を設定しています。基本目標それぞれに**数値目標**を設定し、基本目標を達成するため基本的方向及び具体的施策を定め、具体的施策には**重要業績評価指標（KPI）**を定めています。



2. PDCAサイクル

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）に位置づける施策（取組）を実効性のあるものとするため、毎年度、施策の効果検証を行います。

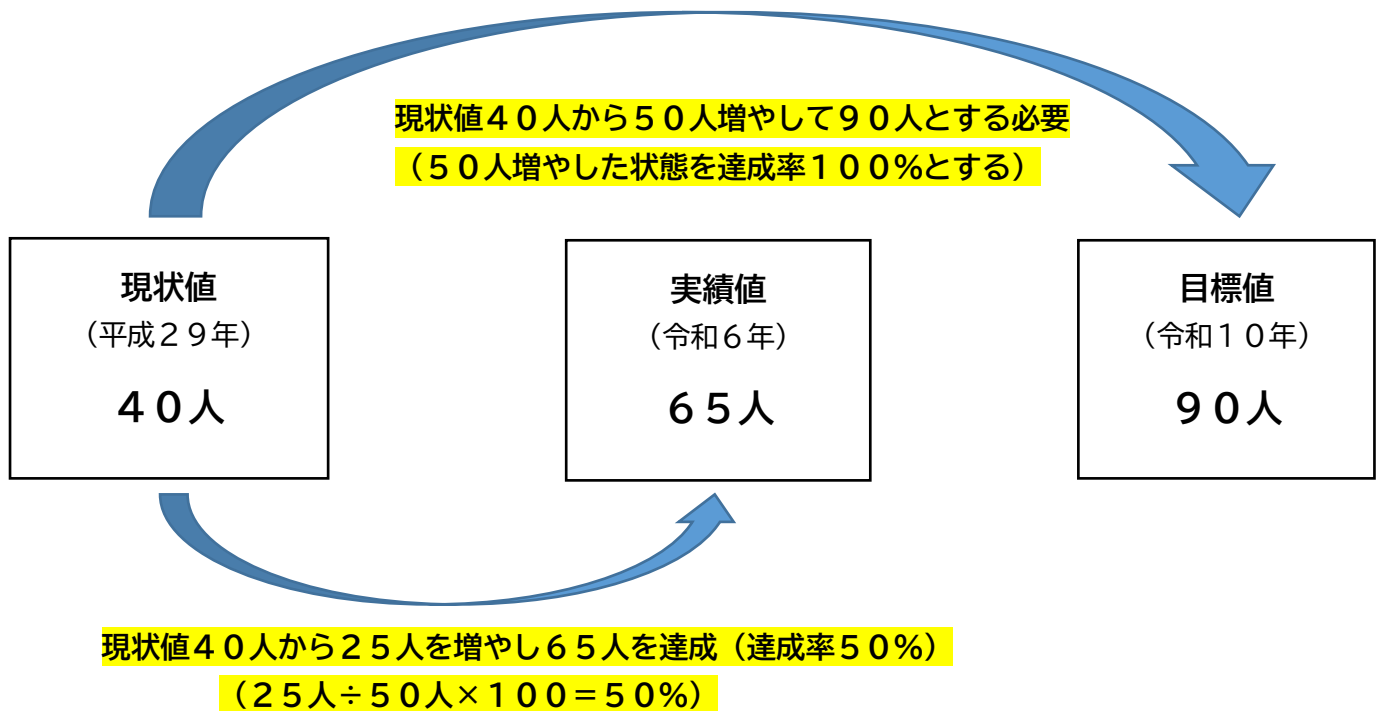


P (Plan:計画)	総合戦略の策定
D (Do:実施)	施策（取組）の着実な実施
C (Check:評価)	実施した施策（取組）の効果をKPI等により検証
A (Action:改善)	必要に応じた総合戦略の改定

3. 評価について

(1) 数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成率の考え方

例：平成29年の現状値が40人、令和10年の目標値が90人(50人増加させる必要)というKPIにおいて、効果検証の対象である令和5年の実績値が65人(実績が25人の増加)であった場合、達成率は50%と表します。



(2) 評価の視点について

「具体的施策」ごとに区切ってKPIの達成率の状況を説明させていただきますので下記の視点でA B C Dの4段階評価をお願いします。

評価につきましては、コメントとともに「王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）効果検証の評価・意見」シートにご記入をお願いします。

○評価の視点 施策が目標の達成に寄与したか。
 長期的な効果が見込めるか。
 事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。

○評 価 A：高い効果が得られた。
 B：一定の効果が得られた。
 C：やや不十分な効果にとどまった。
 D：効果は不十分もしくは見られなかった。

4. 王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想 総合戦略）の体系と重要業績評価指標（K P I）数

基本目標 【6項目】	基本的方向【19項目】	具体的施策【38項目】	K P I 数【85個】 ※()内は補助指標
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1 協働の仕組みの構築	1 参画・協働	1(1)
		2 広報広聴・情報公開	3
	2 お互いを尊重するまちづくり	3 人権	2(1)
		4 男女共同参画	2(3)
	3 健全で効率的な行財政運営	5 行政サービスの提供	2(1)
		6 行政経営	2(1)
		7 広域連携	1
2 快適で暮らしやすいまちづくり	4 都市基盤の充実	8 土地利用	2
		9 住宅環境	2
		10 上下水道	2
	5 交通ネットワークの整備	11 道路	2(1)
		12 公共交通	2(1)
	6 環境への配慮	13 環境保全	2
		14 循環型社会	2
	7 水と緑の保全と創出	15 都市景観	2(1)
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	8 地域防災の充実	16 防災体制	1
		17 避難行動支援	1
		18 消防・救急体制	2
	9 日常生活の安全確保	19 防犯・交通安全	2
4 健やかに暮らせるまちづくり	10 高齢者支援の充実	20 高齢者福祉	2
		21 介護保険	2
	11 障がい者支援の充実	22 障がい者福祉	3
	12 健康づくりの推進	23 健康づくり	7(2)
	13 地域で支え合うまちづくり	24 地域福祉	2(1)
		25 国民健康保険	2
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	14 子ども・子育て支援の充実	26 子育て支援	3(1)
		27 母子保健	3
		28 保育環境	2(1)
	15 学校教育の充実	29 就学前教育	2
		30 学校教育	6(1)
	16 生涯学習の充実	31 生涯学習	2
		32 青少年健全育成	3
	17 歴史文化・スポーツ活動の振興	33 文化財	2
		34 文化・芸術活動	2
35 スポーツ・レクリエーション		2	
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	18 活力の創出	36 産業・雇用	2(2)
		37 定住促進	1(2)
	19 交流の促進	38 観光・交流	2

5. 数値目標の状況

基本目標	数値目標名	達成状況		進捗率
		達成	未達成	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	(1)月に一回以上地域活動に参加する人の割合		○	▲80.2%
	(1)補助指標 自治会加入率		○	94.8%
2 快適で暮らしやすいまちづくり	(1)人口の社会増[累計]		○	▲711.1%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	(1)防災訓練を実施している自主防災組織の数		○	▲2.2%
	(2)防災士資格者数	○		121.3%
4 健やかに暮らせるまちづくり	(1)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位[男性]		○	—
	(2)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位[女性]		○	—
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	(1)合計特殊出生率		○	—138.5%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	(1)王寺町内での新規起業件数(累計)		○	64.4%
	(2)人口の社会増[累計]【再掲】			▲711.1%
	(3)町の観光入込客数		○	81.1%
	(4)王寺町周辺宿泊者数		○	67.4%
合 計		1	10	達成項目割合 9.1%

6. 重要業績評価指標（KPI）の状況

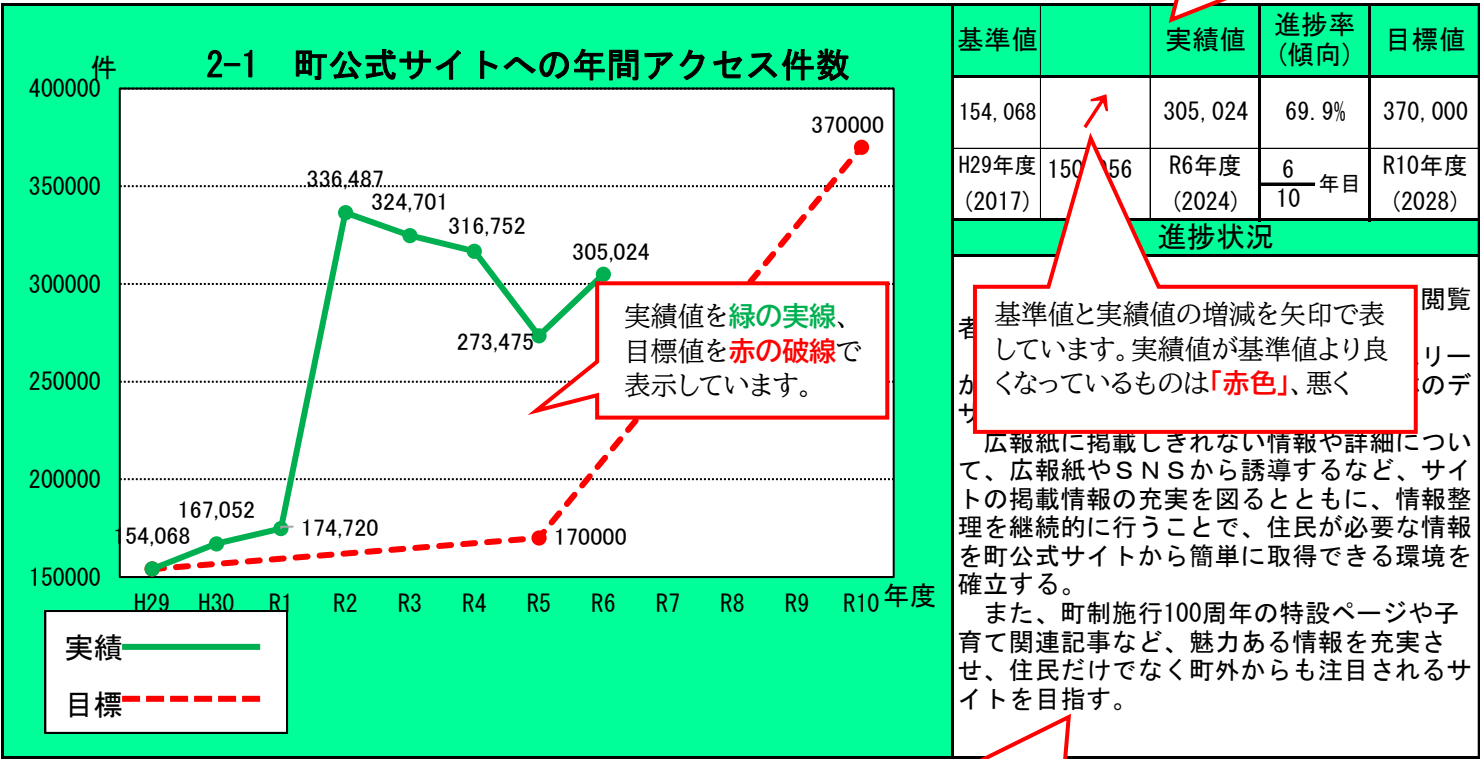
基本目標	達成状況				達成項目割合
	達成	未達成	その他	計	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1	19	0	20	5.0%
2 快適で暮らしやすいまちづくり	1	15	3	19	5.3%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	0	6	0	6	0.0%
4 健やかに暮らせるまちづくり	4	17	0	21	19.0%
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	4	26	0	30	13.3%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	0	9	0	9	0.0%
合 計	10	92	3	105	9.5%

7. 成果指標(数値目標・KPI)の見方

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)各施策の「成果指標(数値目標・KPI)」、担当部署・指標管理責任者(担当者)、「成果指標」達成に向けた進捗状況を記載しています。

各成果指標の置かれている「基本目標」「基本的方向」「具体的施策」を記載しています。

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり	担当部署・指標管理責任者
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築	各成果指標について、基準値、実績値、目標値、基準値と実績値の差、目標値に対する実績値の進捗率(傾向)、計画期間の経過年数を記載しています。
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開	



「成果指標(数値目標・KPI)」達成に向けて、現在の進捗状況を、成果(取り組んだこと)や指標の動き(グラフ)との関連性を分析し、記載しています。

(注) 進捗率の計算方法について
進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)

※数値が低い方が良くなる指標の場合
進捗率 = (基準値 - 実績値) / (基準値 - 目標値)

1 住民に関われ自立するまちづくり

数値目標

1 (1) 月に一回以上地域活動に参加する人の割合

1 (1) 補助指標 自治会加入率

K P I

具体的施策1 参画・協働

1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合

1-1 補助指標 まちづくり協議会設立数[累計]

具体的施策2 広報広聴・情報公開

2-1 町公式サイトへの年間アクセス件数

2-2 町公式SNSのフォロワー数[累計]

2-3 行政の透明性に関する満足度

具体的施策3 人権

3-1 人権学習懇談会の参加者数[3 か年計]

3-2 人権啓発・人権教育に関する重要度

3-2 補助指標 差別をなくす町民集会参加人数

具体的施策4 男女共同参画

4-1 25～44 歳女性の就業率

4-1 補助指標① 女性デジタル人材育成講座受講者数[累計]

4-1 補助指標② 女性デジタル人材育成講座による就業・起業者数[累計]

4-1 補助指標③ 「まっち☆ジョブ王寺」女性の就業件数[累計]

4-2 町が設置する審議会等における女性委員の割合

具体的施策5 行政サービスの提供

5-1 電子申請利用率

5-2 電子申請が可能な行政サービス数

5-3 デジタルデバйд対策事業参加者数[累計]

具体的施策6 行政経営

6-1 行財政運営に関する満足度

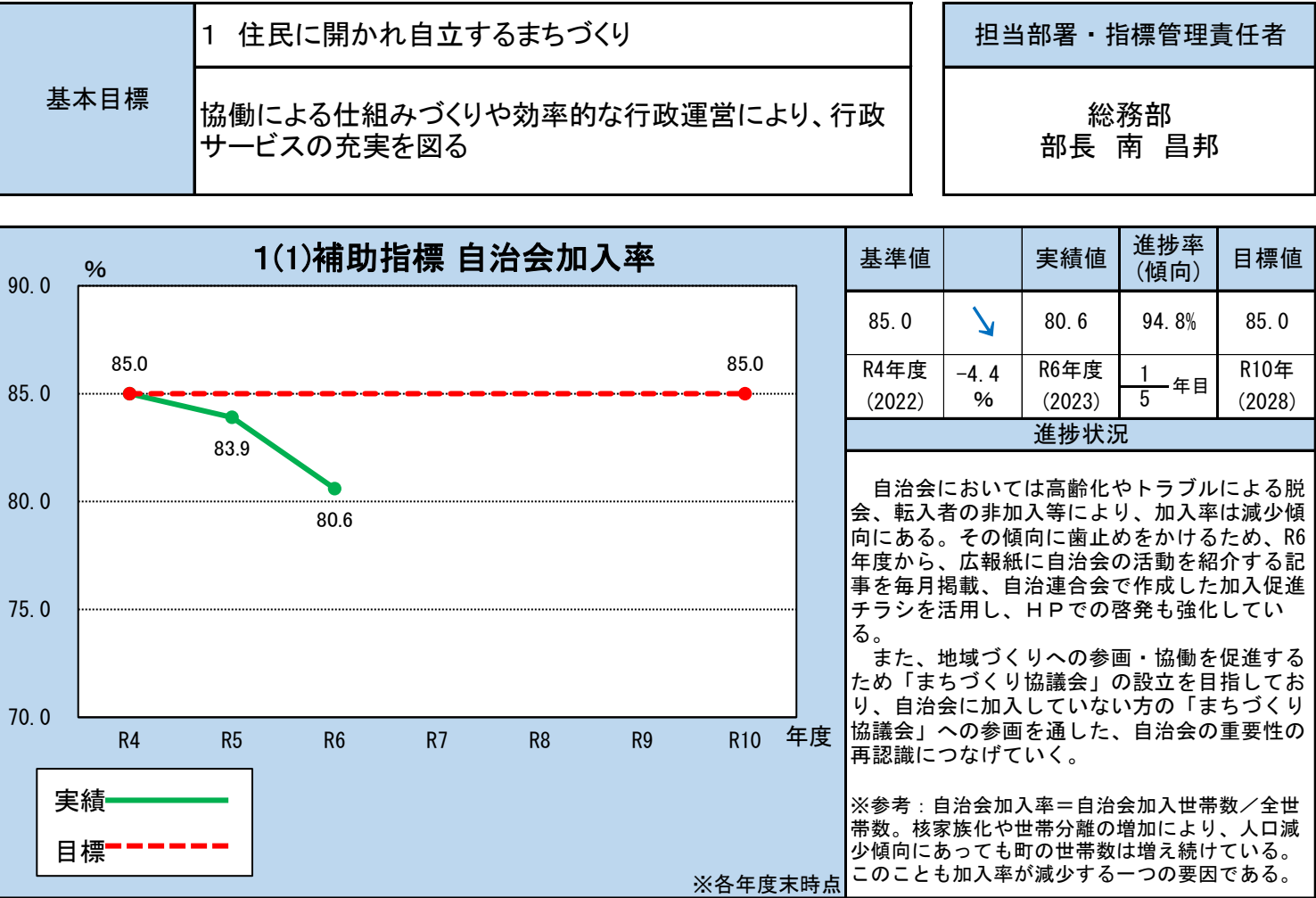
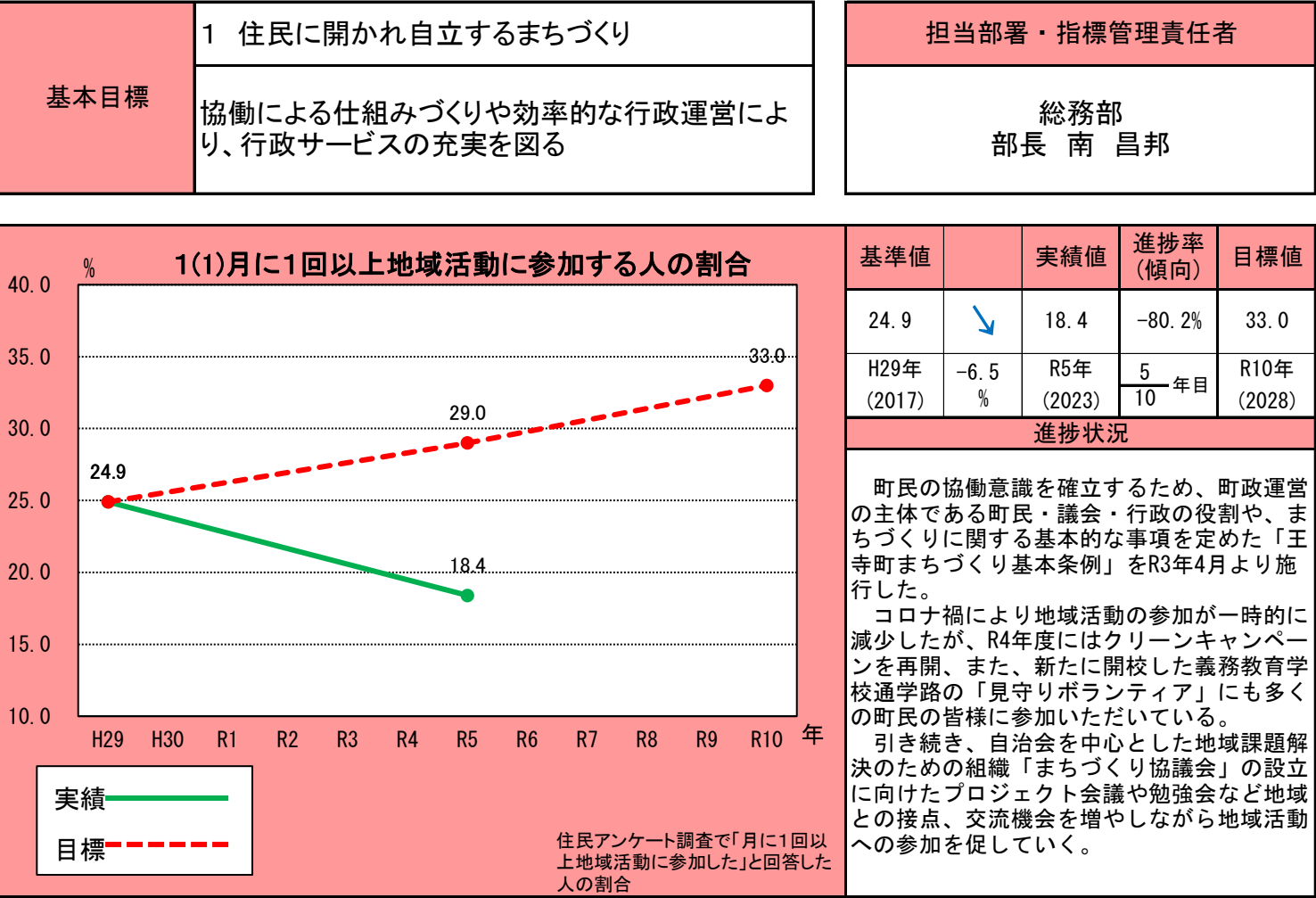
6-1 補助指標 将来負担比率

6-2 経常収支比率

具体的施策7 広域連携

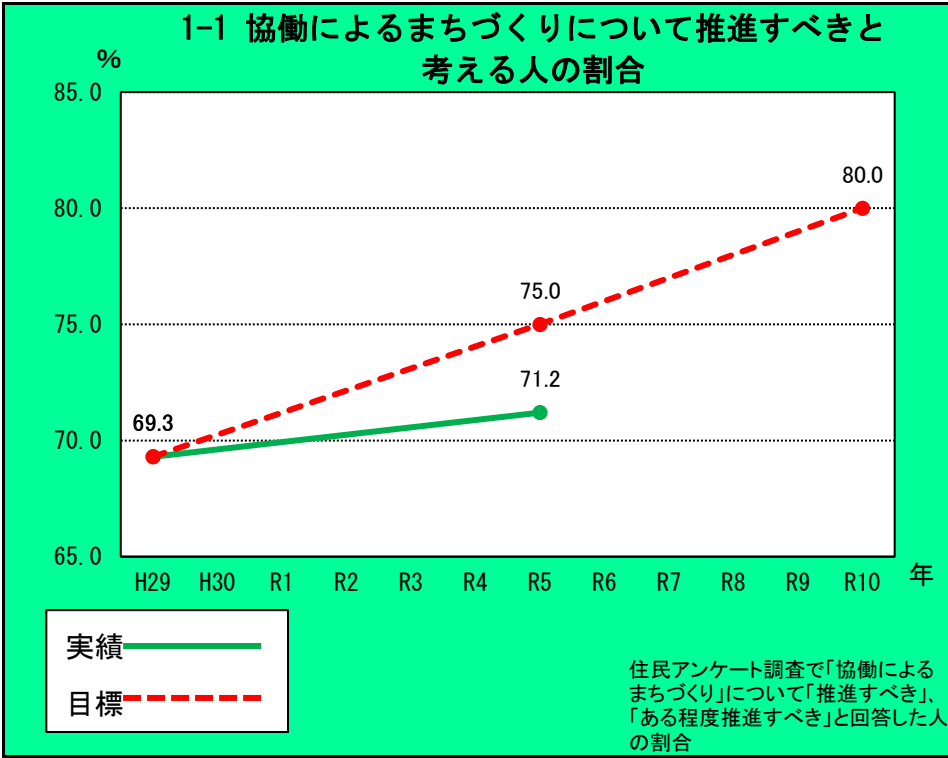
7-1 市町村間の広域連携によって進めた事業数[累計]

数値目標



基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(1) 参画・協働

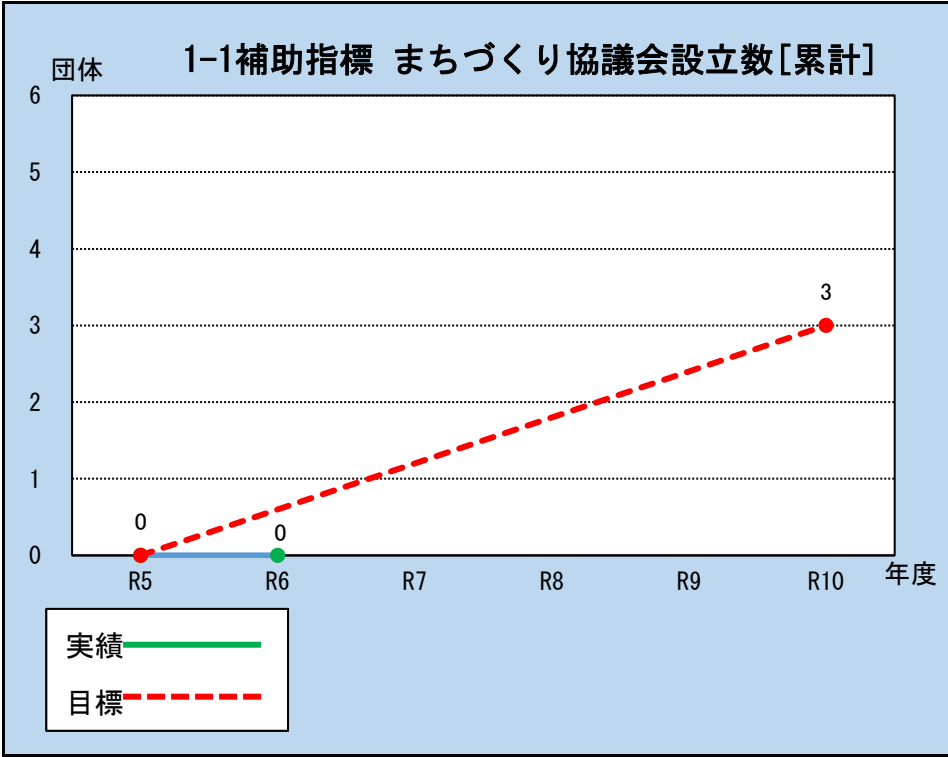
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
69.3	↑	71.2	17.8%	80.0
H29年度 (2017)	1.9 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
王寺町民の協働意識を確立するため、町政運営の主体である町民・議会・行政の役割や、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」をR3年4月に施行した。 施行後は、自治会を中心とした地域課題解決のための組織「まちづくり協議会」の設立に向け、町民ワークショップを開催してきた。R6年度からは、本町地区のプロジェクト会議に参加するなど設立支援を行っている。 プロジェクト会議を通じて地域の課題を明確にするとともに、活動のコアとなるキーマンの発掘を進め、まちづくり協議会の活動が持続できるような仕組みづくりに取り組む。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(1) 参画・協働

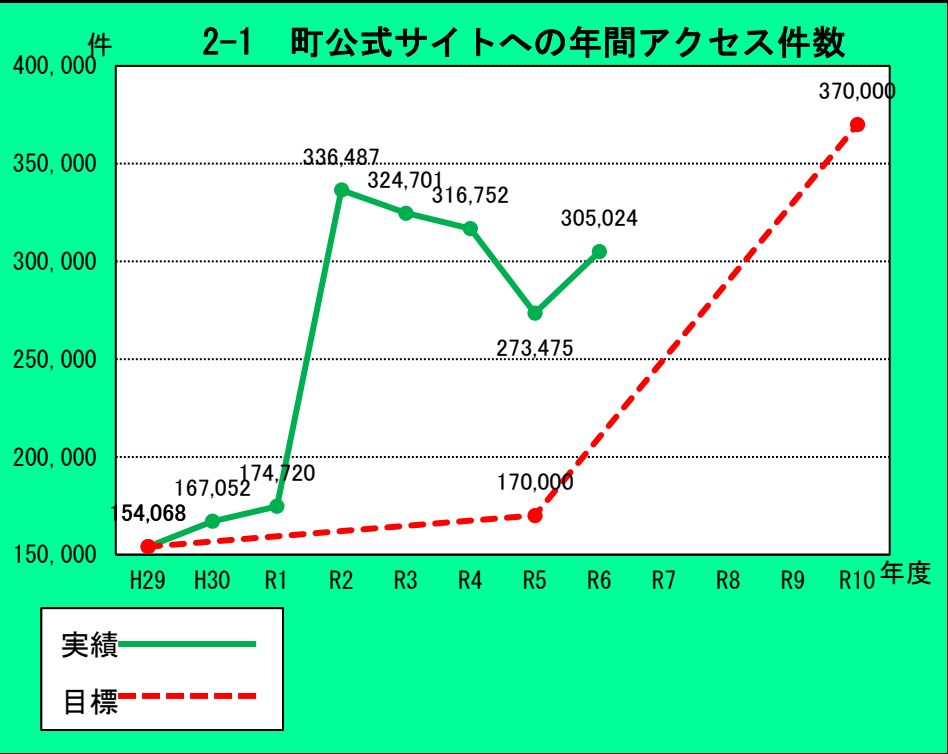
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	→	0	0.0%	3
R5年度 (2023)	0 団体	R6年度 (2024)	1 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度より「まちづくり協議会」設立に向け、本町地区において自治会長と各種団体の意見交換会やプロジェクト会議の開催支援を行っており、R7年6月には、設立準備会が発足した。 本町地区での検討状況を勘案しながら、町独自の支援メニューや協議会の要件等を整理し、他地区においても「まちづくり協議会」設立に向けた支援を進めていく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

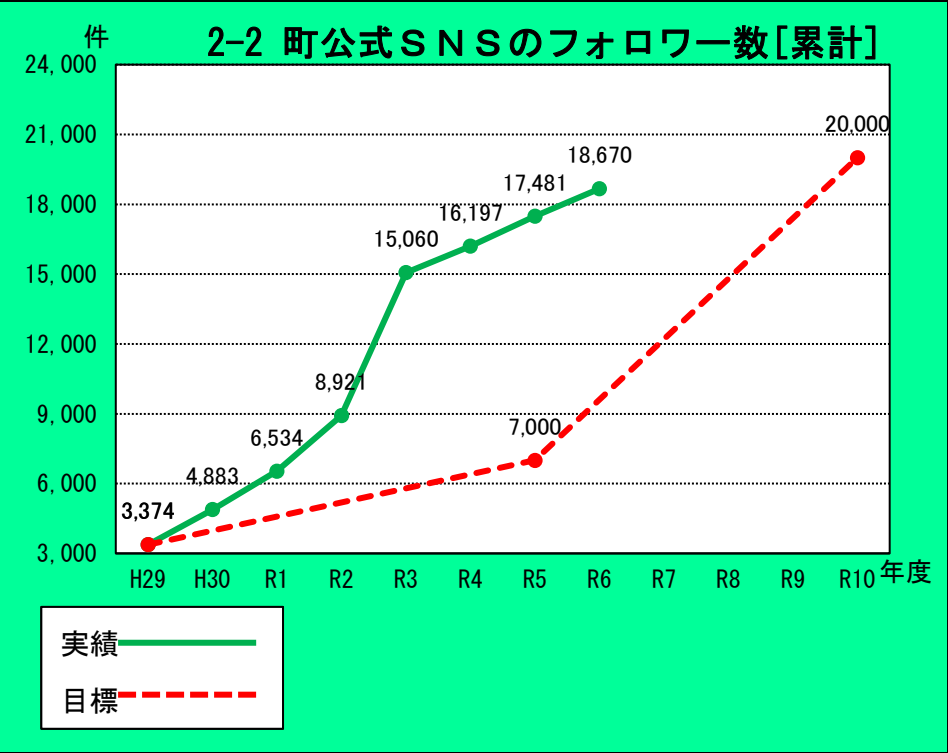
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
154,068	↑	305,024	69.9%	370,000
H29年度 (2017)	150,956 件	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R2年度にコロナ禍によりアクセス数が急増したが、その後、R5年度まで減少傾向にあった。 R6年度からは、広報紙やSNSと連動した情報発信に取り組んでおり、詳細な情報を掲載できるサイトと紙面に限りのある広報紙の特性を生かすことで、アクセス数を増加させることができた。 また、R6年度には、町制施行100周年記念サイトや子育て特設ページを作成し、情報の充実に取り組んでいるところである。 今後は、町の魅力を掲載した移住促進のための特設ページを充実させることで、住民だけでなく町外からも注目されるサイトを目指す。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

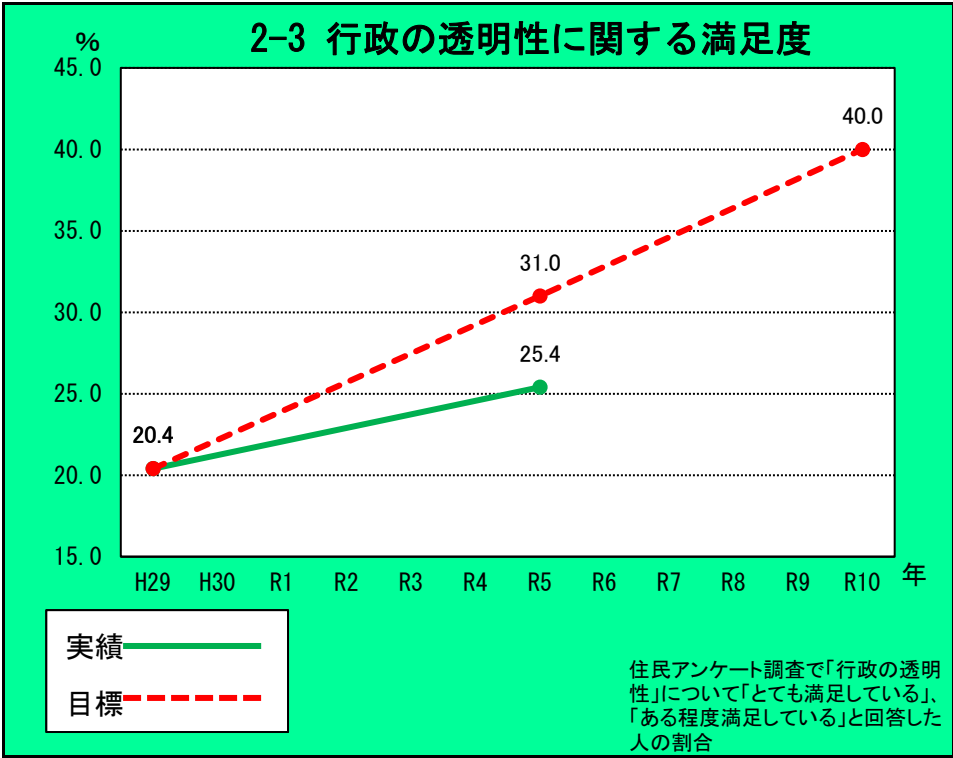
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
3,374	↑	18,670	92.0%	20,000
H29年度 (2017)	15,296 件	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
現在、Facebook、LINE、Instagram、noteの4種のSNSを運用している。 最も登録者数の多いLINEについては、R4年7月にゴミ収集日など配信希望を選択できる機能を設け、R6年10月からは、オンライン申請システムを導入するとともに、画像を用いた視覚に訴えるような情報発信を行っている。 今後もターゲット別のSNSによる発信を効果的に行い、住民の利便性を高め、さらなるフォロワー増を図る。				
○R6年度末時点のSNS別フォロワー数				
・ Facebook 4,601件				
・ LINE 12,185件				
・ Instagram 1,764件				
・ note 436件				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

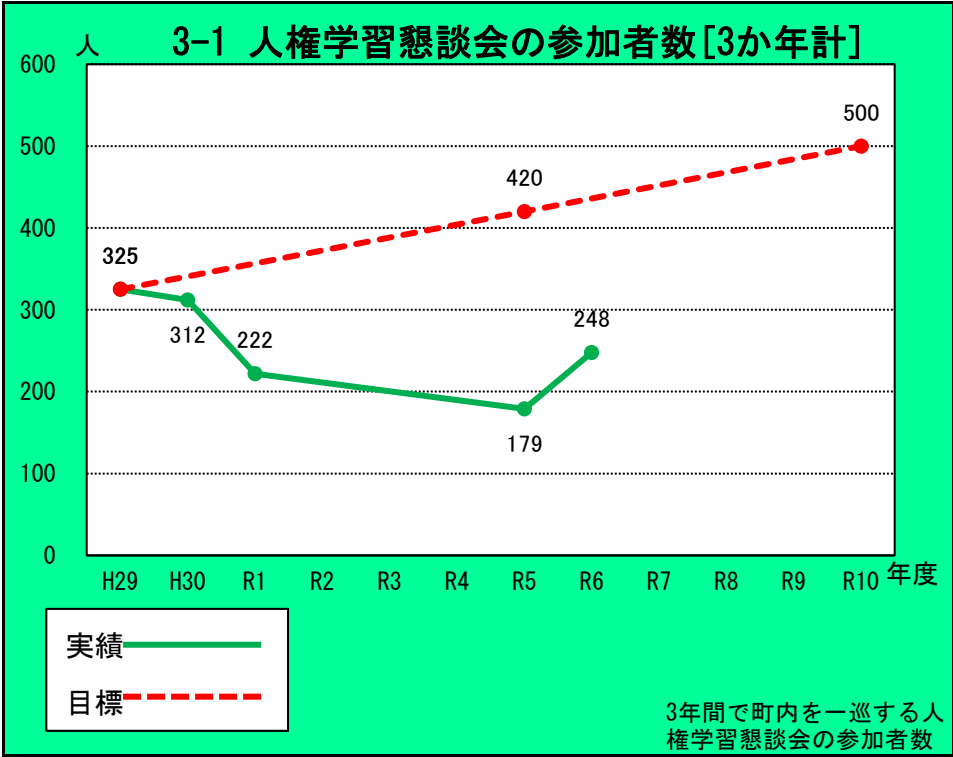
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.4	↑	25.4	25.5%	40.0
H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
行政の透明性の向上と、民間によるデータの二次利用に資するため、町公式サイトに「オープンデータ」を公開し、必要に応じて最新情報に更新している。 また、情報のバリアフリー化のため、R6年度から、音声読み上げや多言語翻訳ができる広報紙閲覧アプリ「カタログポケット」を新たに導入している。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

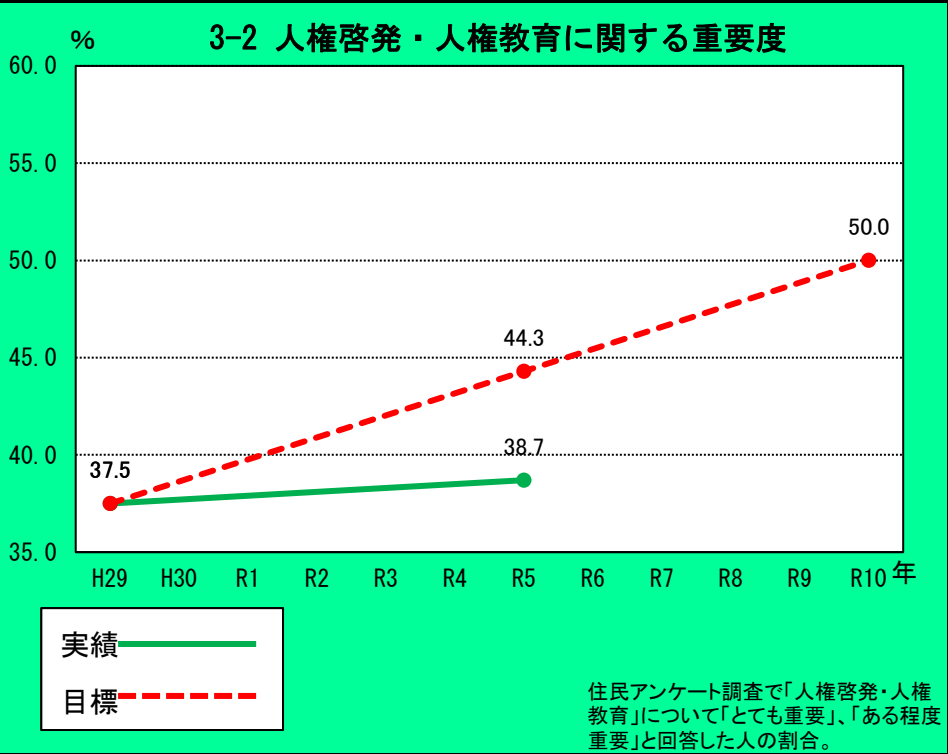
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
325	↓	248	-44.0%	500
H29年度 (2017)	-77 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
人権学習懇談会の開催方法について、R5年度までは地区毎に3年周期で実施する地区別懇談会形式で開催していたが、参加者数は年々減少していたことから、地域の方が集まりにくい社会情勢を踏まえ、R6年度より各種団体が集まる場（総会や研修会等）に職員が出向いて人権について考える時間を持っていただく出前講座形式に見直した。R6年度の3か年計は248人（令和6年度単年は153人）となり、改善傾向にあるため、今後更なる周知を行い、多くの住民が人権課題に触れることができる機会を確保していく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

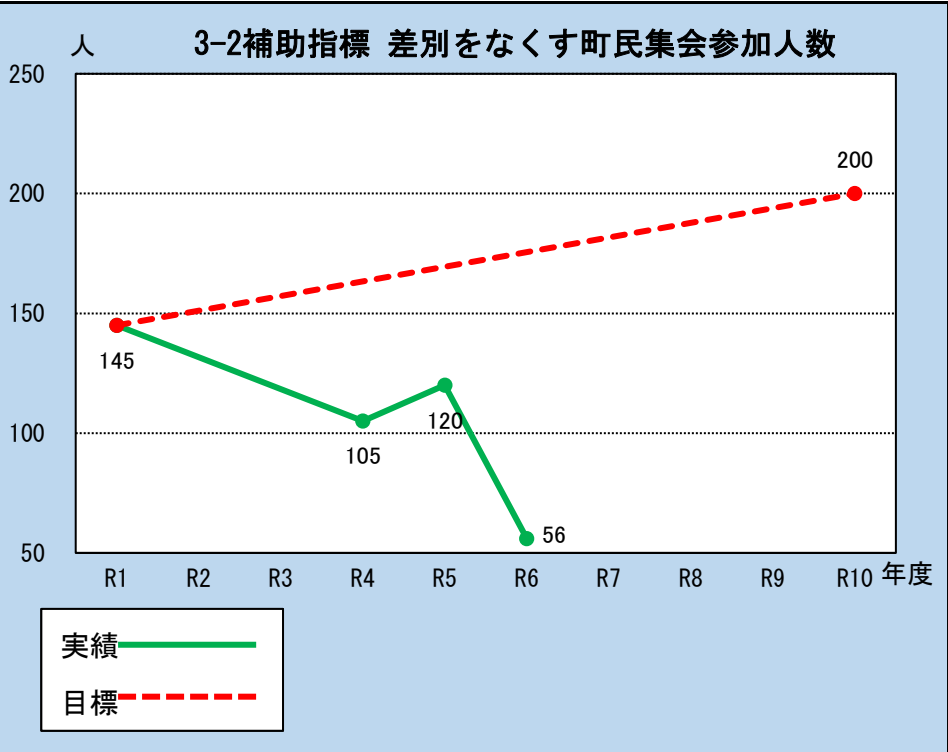
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大 教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
37.5	↑	38.7	9.6%	50.0
H29年 (2017)	1.2 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
人権啓発・人権教育の推進においては、住民一人ひとりが「差別は理由を問わず許されるものではなく、人権を尊重することが大切」という認識を深める必要があり、「家庭教育」「地域社会」「学校教育」のそれぞれにおいて、取組を実施する必要がある。 人権学習懇談会は、従来の地区別懇談会形式からより参加しやすい出前講座形式に見直したことで、より多くの方に人権について考えていただく機会を確保することができた。 今後も人権尊重の意識高揚のため、出前講座をより多くの方に活用していただけるよう広報していく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

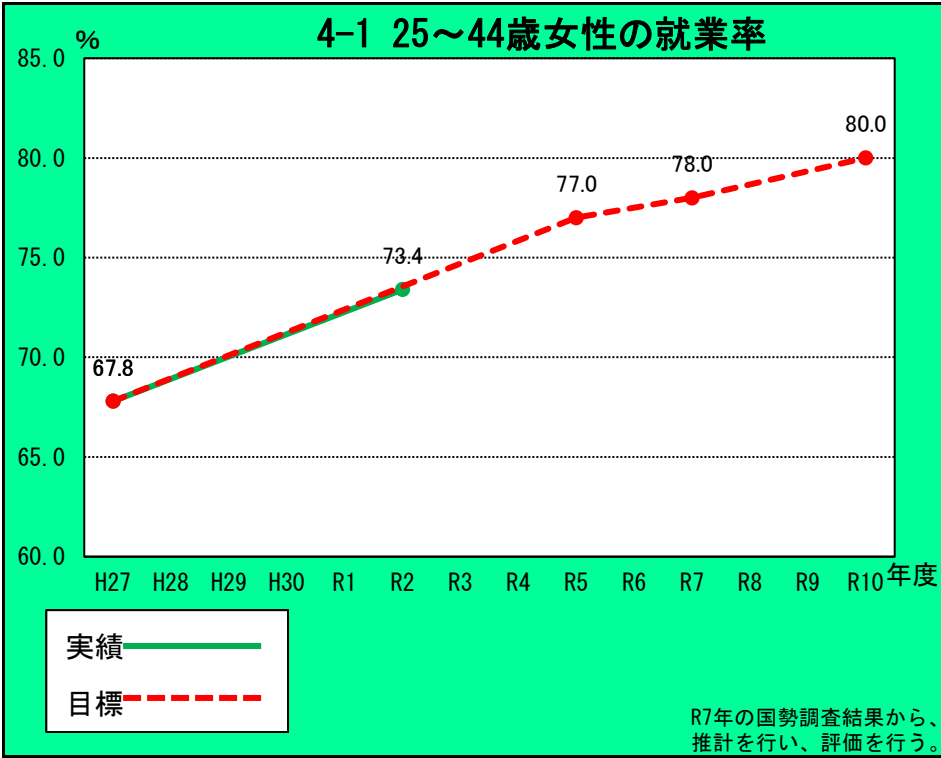
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
145	↓	56	-161.8%	200
H29年度 (2017)	-89 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
「差別をなくす強調月間」の取組のひとつとして、あらゆる差別をなくすこと、人権を尊重する意識の向上を図ることを目的に、現代における差別をテーマとした講演を開催している。 講演のテーマにより、参加者人数は影響を受けるが、広報紙やホームページ以外にも町公式LINEで告知するとともに、テーマに関連する各種団体にも早期に案内を行うことで、参加人数の増加を図る。 ○講演内容 ・R6: 子どもの貧困問題(経験談等) ・R5: 障がい福祉(当事者体験談等) ・R4: 男女共同参画(経営談等)				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

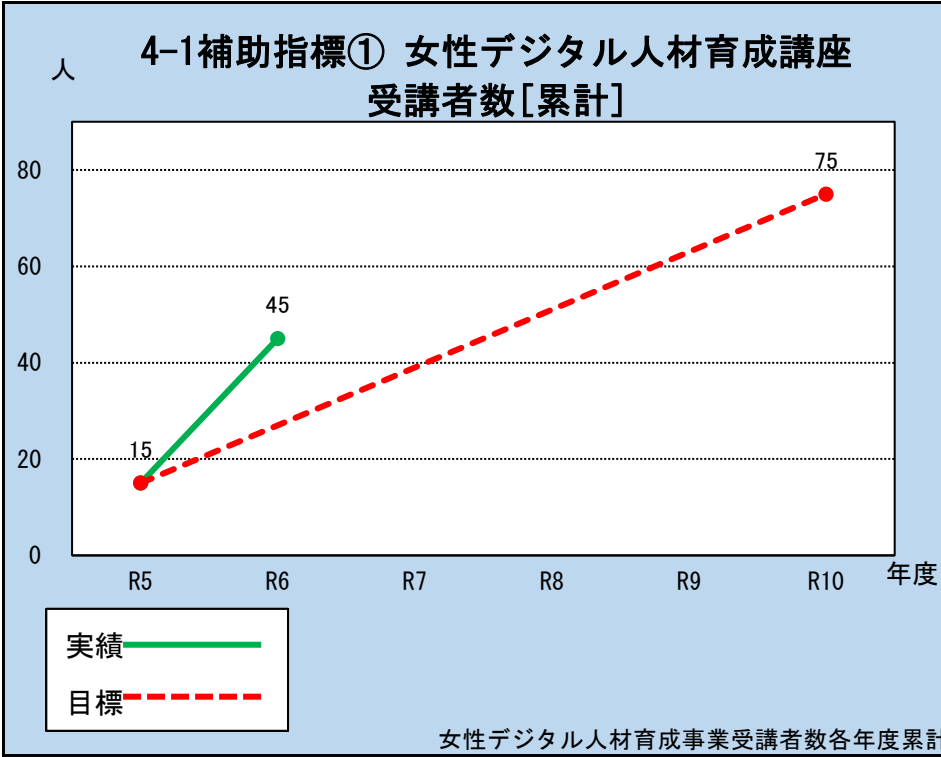
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
67.8	↑	73.4	45.9%	80.0
H29年度 (2017)	5.6 %	R2年度 (2020)	$\frac{2}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
就職や起業に直結するITスキルの習得促進を目的とした「女性デジタル人材の育成事業」を実施しているほか、女性活躍支援センター(リーベル王寺東館4階)内に託児施設付ワーキングスペース「ママスクエア」を誘致し、民間活力による女性の就業、起業支援の拠点づくりに取り組んでいる。 また、国、県の機関である「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク～」や「奈良県高田しごとiセンター」と連携し、地域交流センターで「就職支援セミナー」「就職面接会」「仕事相談窓口」などの取組も行っている。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

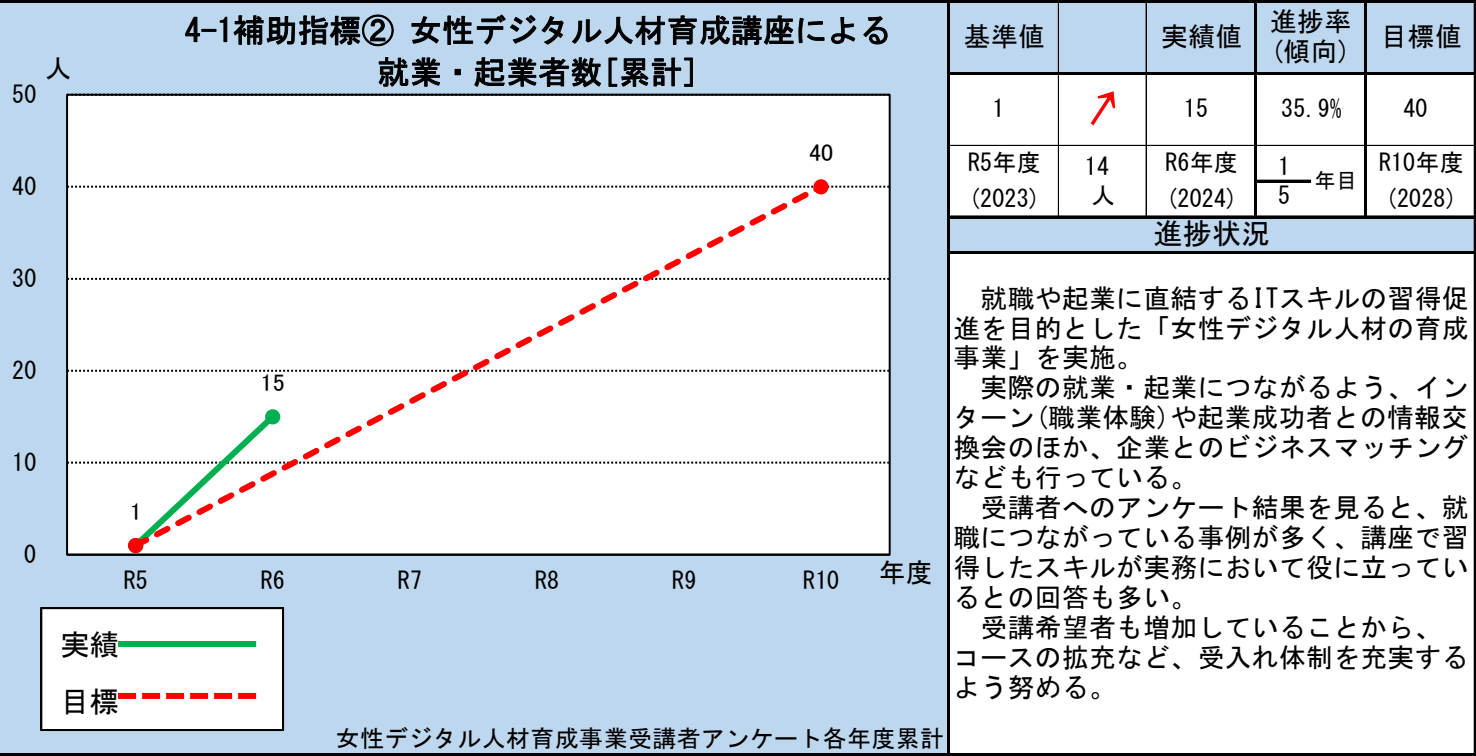
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
15	↑	45	50.0%	75
R5年度 (2023)	30 人	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
就職や起業に直結するITスキルの習得促進を目的とした「女性デジタル人材の育成事業」を実施。 実際の就業・起業につながるよう、インターン(職業体験)や起業成功者との情報交換会のほか、企業とのビジネスマッチングなども行っている。 R6年度からは、スキル習熟度に応じた2コース(初心者・中級者)を設定したことにより、受講者数が増加した。				

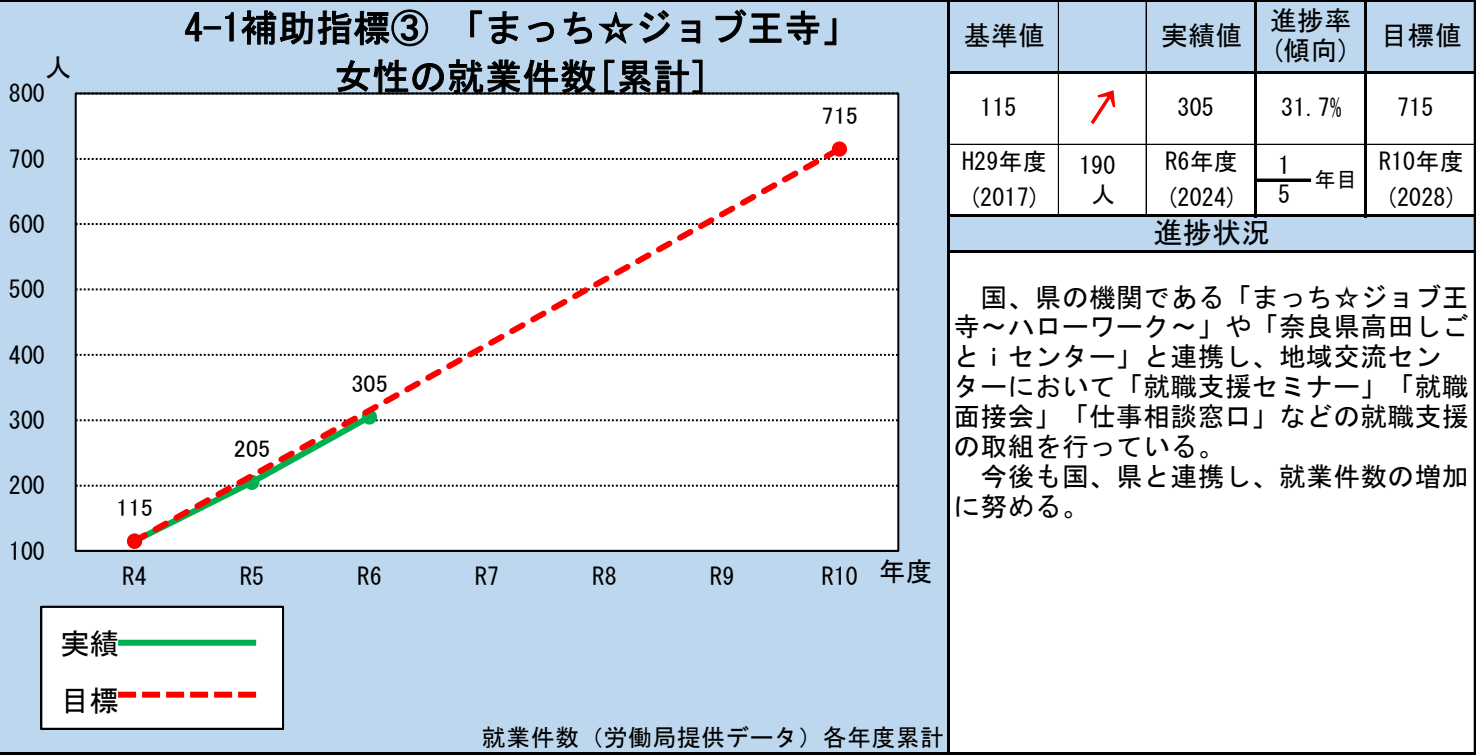
基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



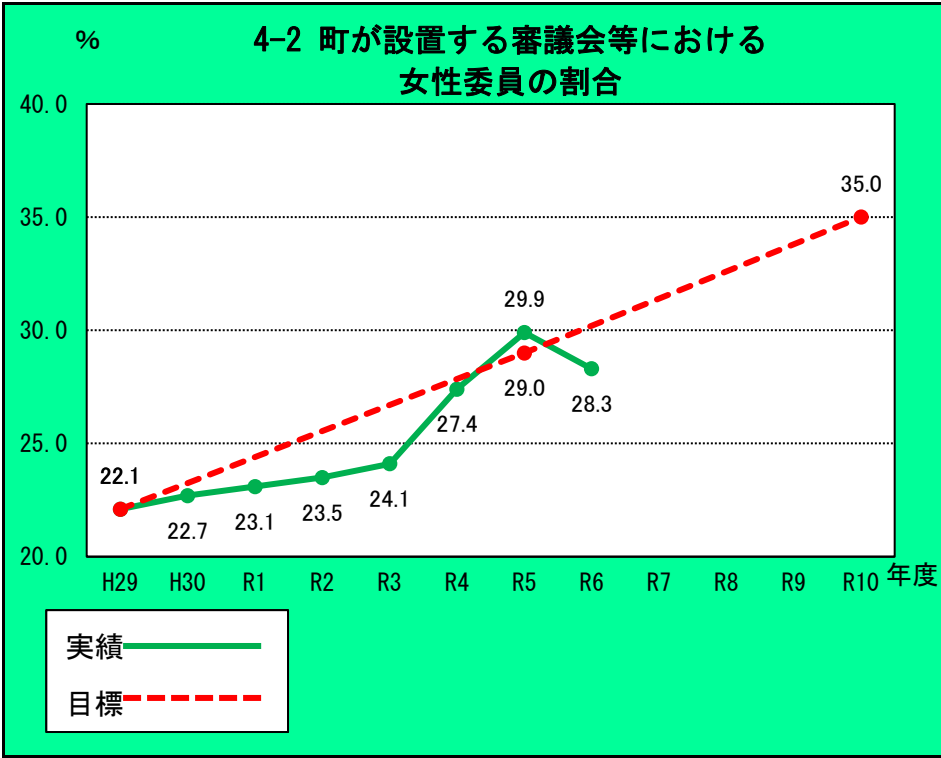
基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

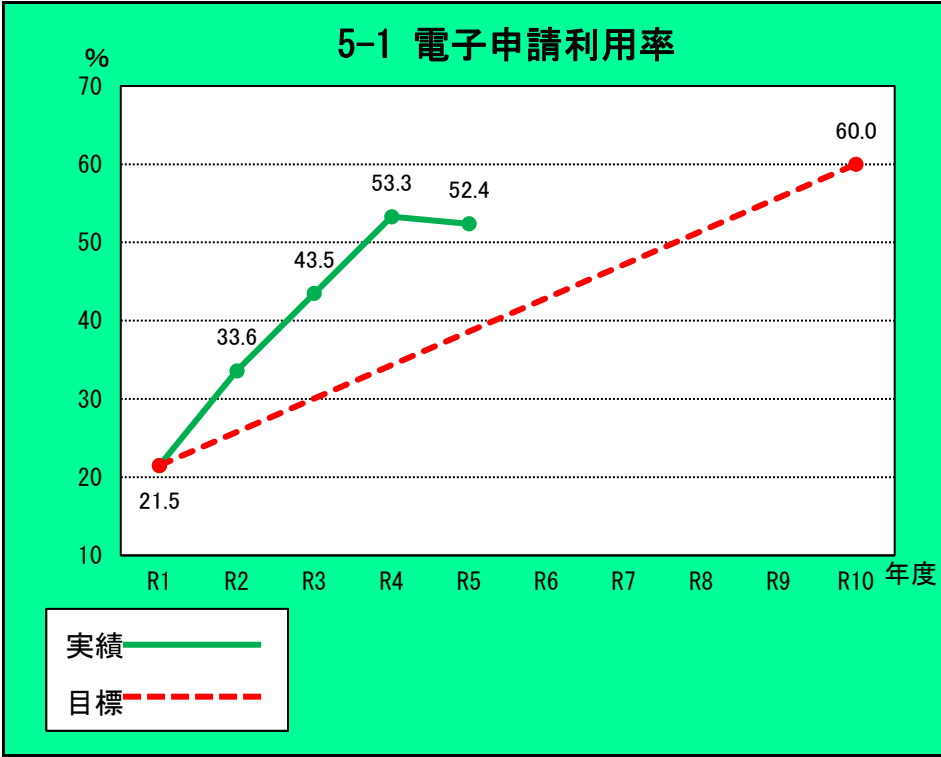
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
22.1	↑	28.3	48.1%	35.0
H29年度 (2017)	6.2 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町が設置する審議会等において、男性の視点だけでなく女性の視点がどの分野にも必要であることの意識づけを行うため、今後も審議会等担当部局に対し、女性委員登用推進の協力依頼を行っていく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

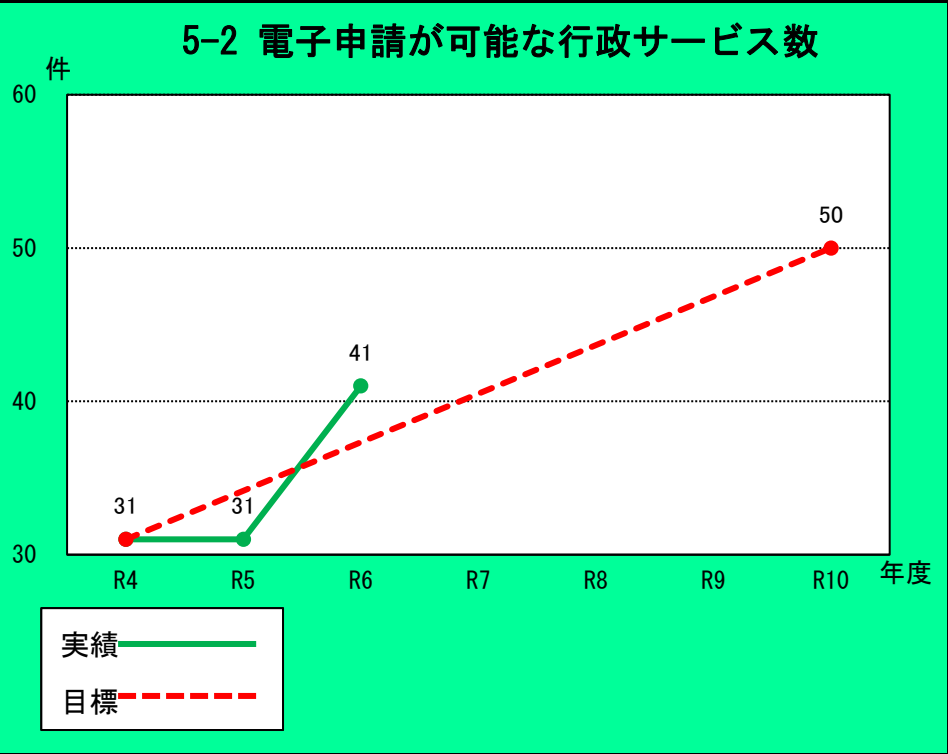
担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
21.5	↑	52.4	80.3%	60.0
R1年度 (2019)	30.9 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度は電子申請利用率が低下したが、これは、転入・転出届等の電子申請が開始され、電子申請可能な行政サービスが拡充したことから分母(窓口も含めた全体の申請数)が増えたことが原因である。 R6年度からは、町独自の取組として、LINEによる電子申請サービスの運用を始めた。町人口の半数以上に登録いただいているこのプラットフォームを活用することで、電子申請へのアクセス性を高め、利便性の向上を図っている。 今後は、LINEによる電子申請が可能な項目を増やすとともに、周知や案内を通じて申請率の向上を目指す。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

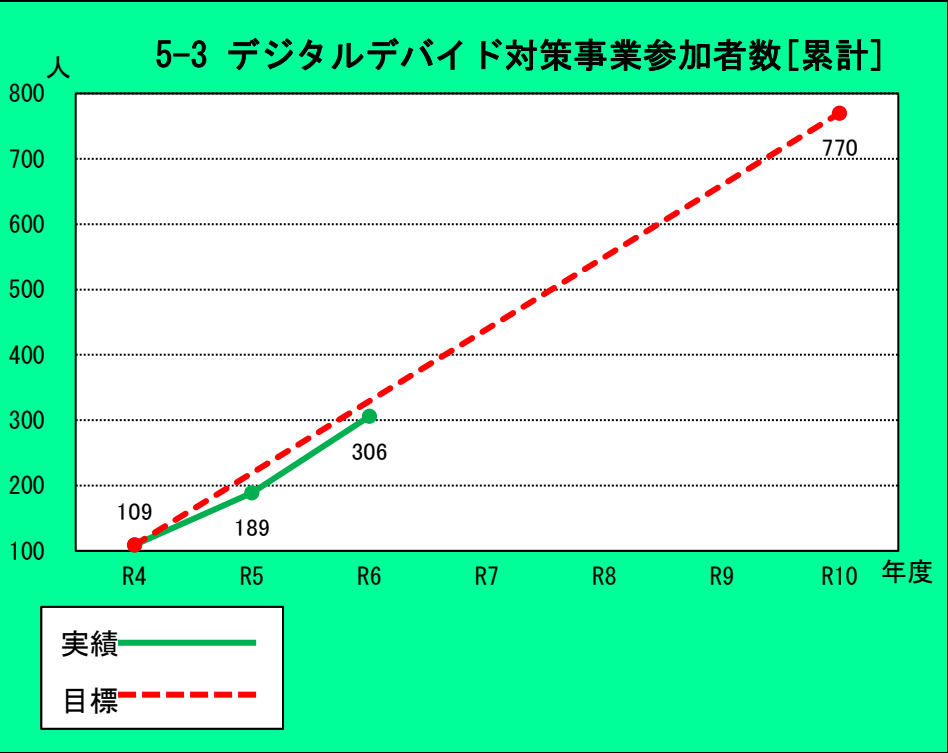
担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
31	↑	41	52.6%	50
R4年度 (2022)	10 件	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
国が提供する電子申請「ぴったりサービス」に加え、令和6年10月から町独自でLINEを活用した独自の電子申請システムを導入した。これにより、水道開閉栓予約、預かり保育の申込、粗大ごみ収集リクエストなど、住民の生活に密接した行政サービスの電子化を進展させた。 今後は、各種イベントの申込をはじめ、母子保健や施設予約など電子申請が可能な行政サービスの更なる拡充を図る。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

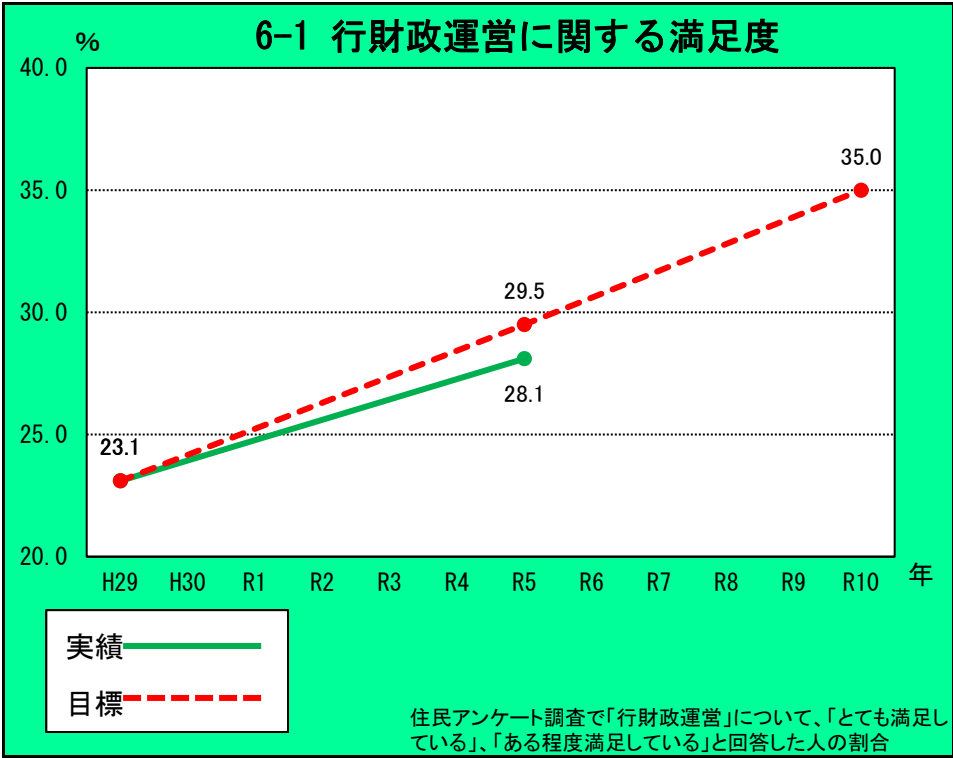
担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
109	↑	306	29.8%	770
R4年度 (2022)	197 人	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
約3ヶ月に1回、ドコモショップと連携して開催しているスマホ教室のほか、公民館でのスマホ入門を継続して開催。 R6年度で参加者の累計は、306人に達し、目標770人に対する達成率は約40%となっている。 今後は高齢者層を中心に参加促進を図るため、講座内容の多様化などに取り組む。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

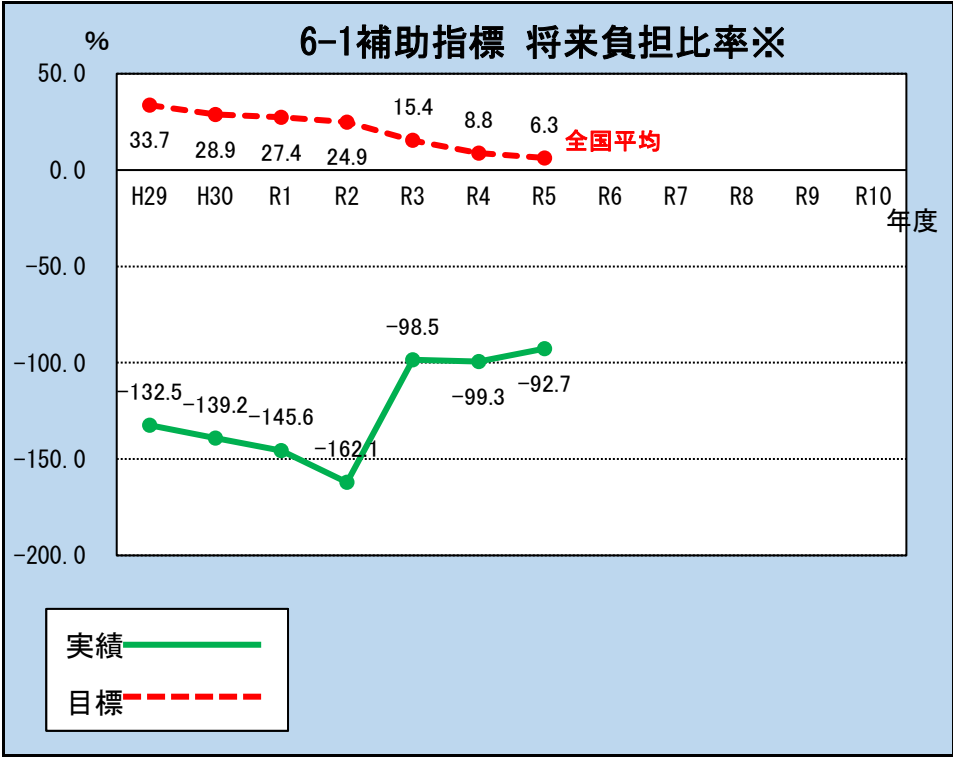
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
23.1	↑	28.1	42.0%	35.0
H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
自主財源の確保として、ふるさと納税を推進しており、R6年度の寄付額は64,378千円と、前年度比85.4%(R5年度75,412千円)となった。前年度と比較すると減少しているが、直近3年間は60,000千円超を維持し安定している。引き続き、返礼品を充実するなど、多角的な財源の確保を図る。 また、R5年4月から「DX推進室」を設けた。国の地方創生人材支援制度を活用して専門的なデジタル知識・能力を有する「デジタル人材」の登用によりオンライン申請を拡充するとともに、窓口での申請書類記入の簡素化など住民サービス向上のためのデジタル化を推進する。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

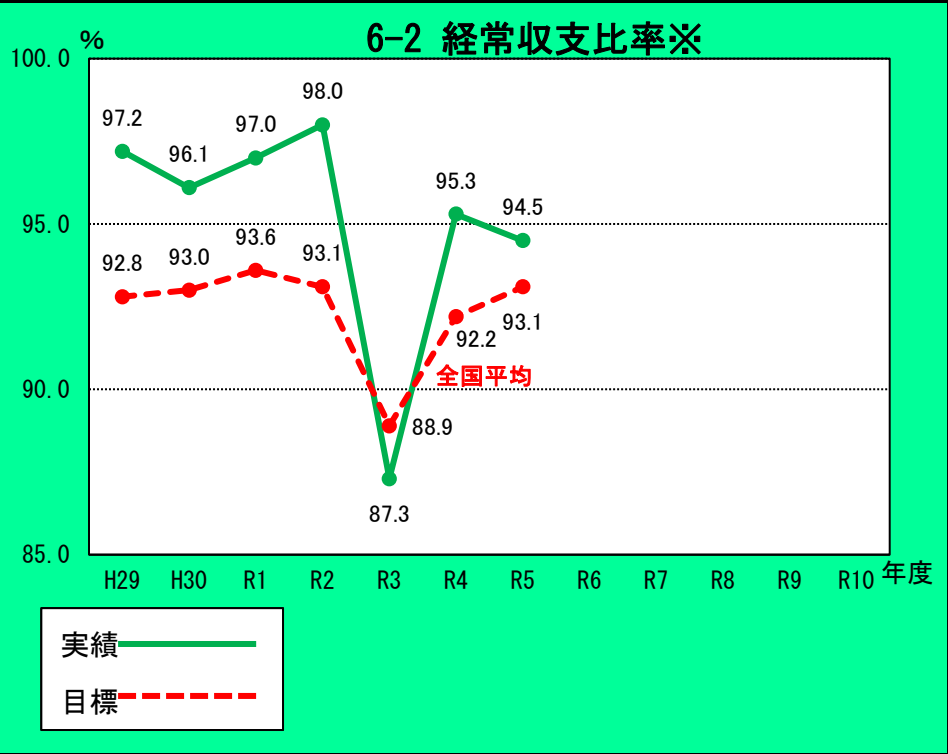
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
6.3 全国平均	↓	-92.7	—	全国平均 以下
R4年度 (2022)	-99.0 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
本町の将来負担比率は、全国平均よりも大幅に低く、健全な数値となっている。 将来負担比率が健全な数値であることは一定の安心材料とはなるが、義務教育学校の建設等による将来的な公債費負担の増に対応するため、引き続き、経常経費削減を意識した予算編成に努めるとともに、効率的な公共サービスの提供を維持していく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

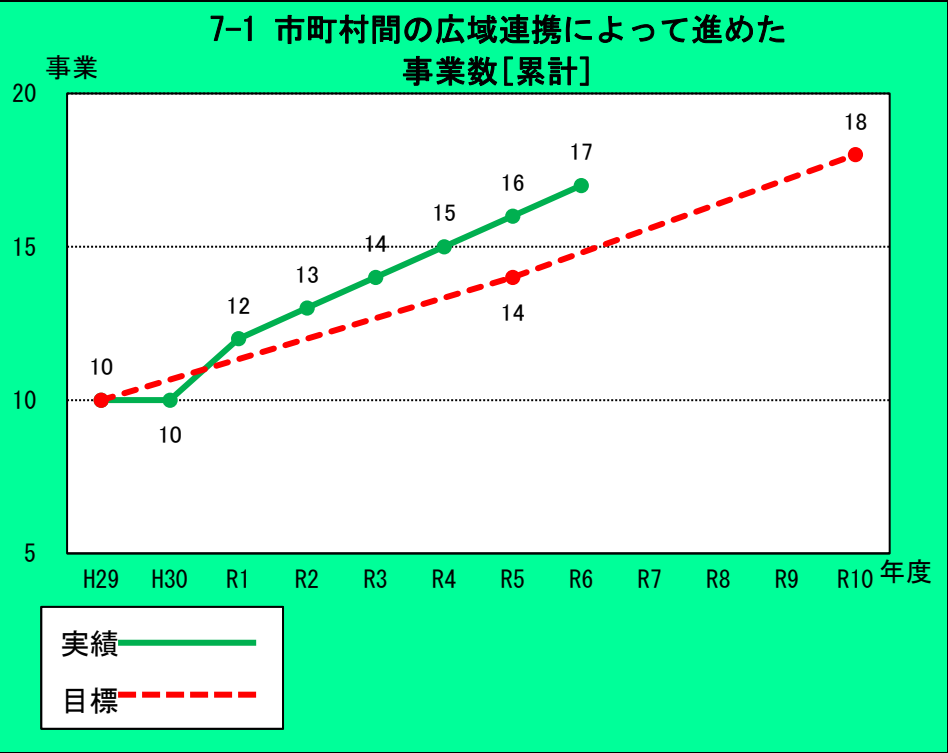
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
93.1 全国平均	↑	94.5	98.5%	全国平均 以下
R4年度 (2022)	1.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年度は、国の臨時経済対策に伴う交付税の追加交付等により、経常収支比率が極端に減少したが、それ以外の年は全国平均を上回っている。 公債費や社会保障関連費等の義務的経費も増加しており、引き続き、ふるさと納税等による財源確保を行うとともに、経常経費削減を意識した予算編成、スクラップ＆ビルドによる事業の見直し及び業務の効率化を図っていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(7) 広域連携

担当部署・指標管理責任者
総務部 秘書人事課 課長 川中 孝茂



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10	↑	17	87.5%	18
H29年度 (2017)	7 事業	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R4年度に、中和・西和の7市町が連携して、公共施設相互利用の実証実験に向けた協定を締結し、R7年10月から本格運用を開始する予定。 R5年度には鉄道遺構など近代化遺産の価値や魅力を広く普及するための活動を行う「全国近代化遺産活用連絡協議会」に加盟。 R6年度には北葛・葛城市の1市4町共同で運用する人事給与システムの契約を締結。定期的な勉強会を開催し、条例改正等の情報共有や人事評価システムの導入に向けた検証を行っていく。また、北葛4町の連携により、シェアサイクル事業の実証実験も開始した。 今後も引き続き、発災時の相互支援や観光振興に関する連携など、R10年度の目標値達成に向け、行政課題に応じた市町村間の広域連携を進めていく。				

2 快適で暮らしやすいまちづくり

数値目標

2(1) 人口の社会増（転入者数－転出者数）

K P I

具体的施策8 土地利用

- 8-1 「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図っている都市機能誘導施設
- 8-2 町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合

具体的施策9 住宅環境

- 9-1 戸建て空き家の数
- 9-2 住宅の耐震化率

具体的施策10 上下水道

- 10-1 管の直径250mm以上の基幹配水管路の耐震化率
- 10-2 下水道水洗化率

具体的施策11 道路

- 11-1 都市計画道路の整備率
- 11-2 生活道路の整備に関する満足度
- 11-2 補助指標 道路維持補修に関する住民要望対応率

具体的施策12 公共交通

- 12-1 公共交通の整備に関する満足度
- 12-1 補助指標 国道168号の拡幅に伴う新規バス停上屋設置件数[累計]
- 12-2 畠田駅～馬見丘陵公園へのバスの路線数[累計]

具体的施策13 環境保全

- 13-1 C C C活動参加団体数
- 13-2 クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量

具体的施策14 循環型社会

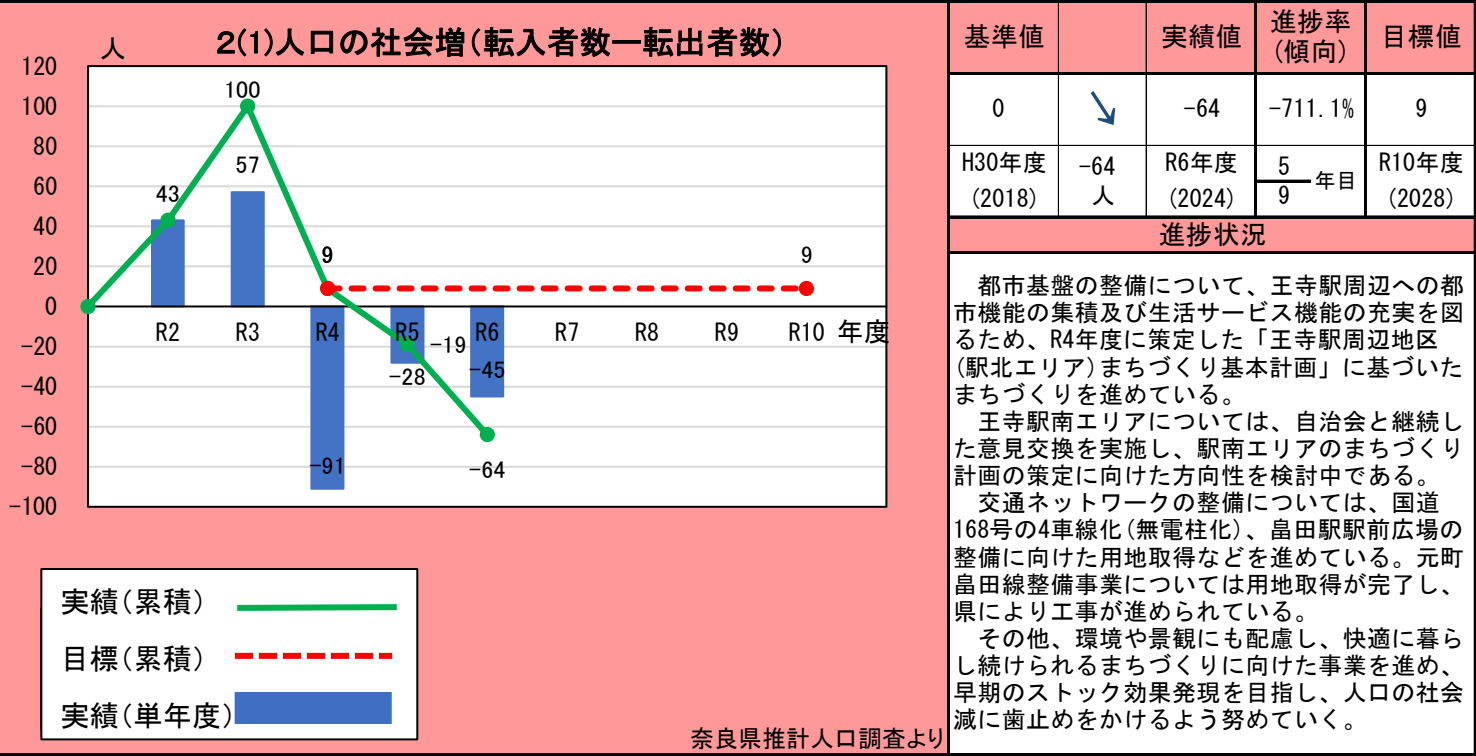
- 14-1 一般家庭における1人1日当たりの可燃ごみ排出量
- 14-2 ごみのリサイクル率

具体的施策15 都市景観

- 15-1 都市景観に関する満足度
- 15-1 補助指標 戸建て空き家の数【9-1再掲】
- 15-2 国道168号の無電柱化延長

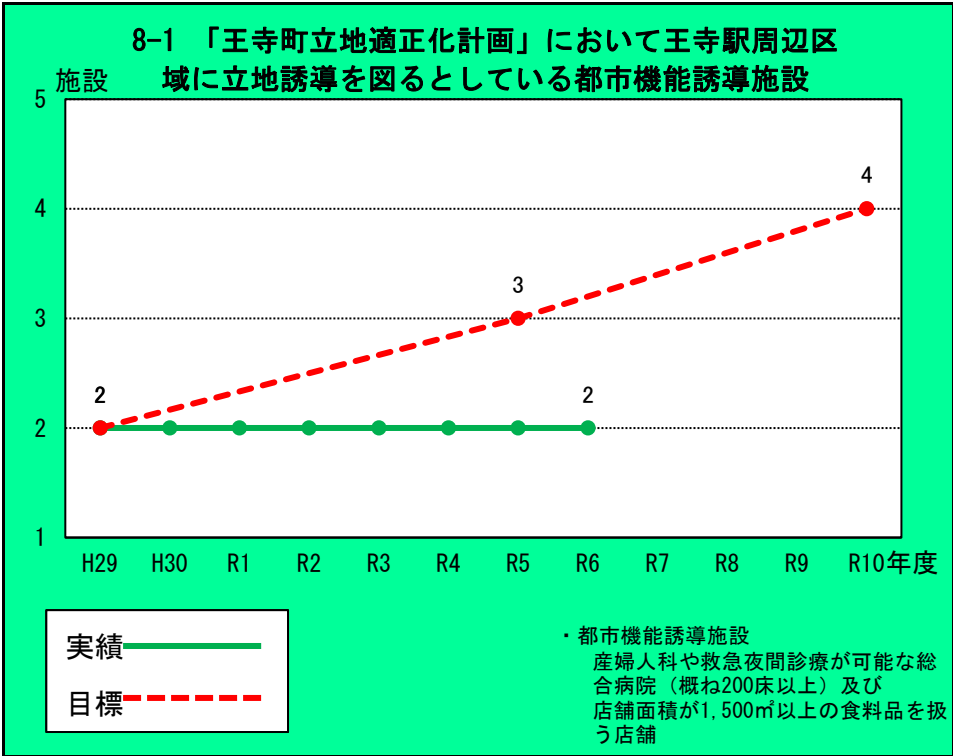
数値目標

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり	担当部署・指標管理責任者
	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる	王寺町理事 小林 秀禎



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

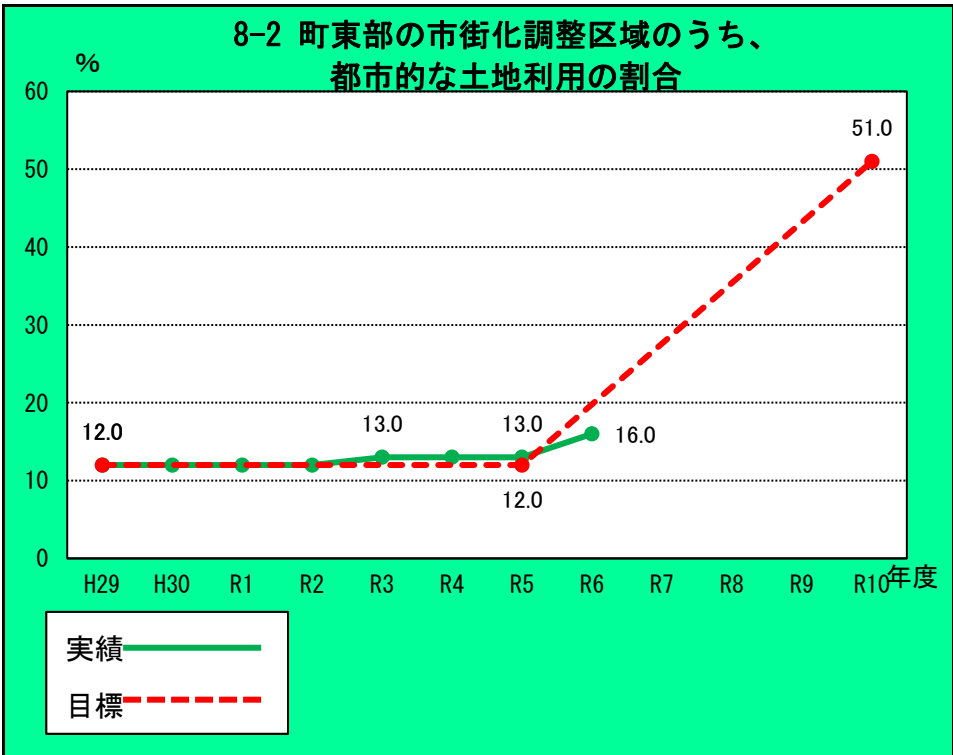
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2	→	2	0.0%	4
H29年度 (2017)	0 施設	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度末において、王寺駅周辺の都市機能誘導区域には店舗面積が1500㎡以上の食料品を扱う店舗が2店舗（西友王寺店、スーパーヤオヒコ王寺駅前店）存在する。 都市機能誘導施設については、駅周辺地区のまちづくりと連動して進めていくことで目標達成に向けた可能性が高まる。そのため、R6年度から地元自治会との話し合いを始めており、町の中心拠点である王寺駅に相応しい都市機能誘導施設を今後見極めていく。 また、R7年度には「王寺町立地適正化計画の見直し」を実施し、都市機能誘導施設の更新・見直しを行う予定。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

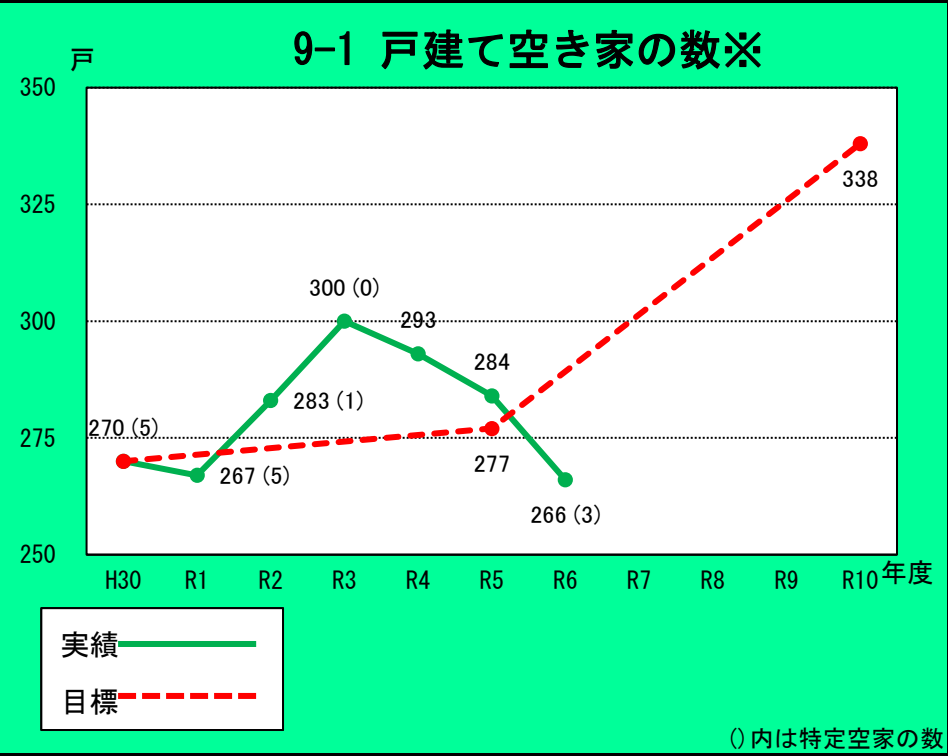
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 都市計画課 課長 池島 知



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
12.0	↑	16.0	10.3%	51.0
H29年度 (2017)	4.0 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度は既存建物の用途変更（改築）を伴う1件の開発があった。 また、当該地を含む区域区分等見直し検討業務を行い、市街化区域編入に向けた課題を整理した。 今後も引き続き、都市的土地利用を図るための取り組みを進めていく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

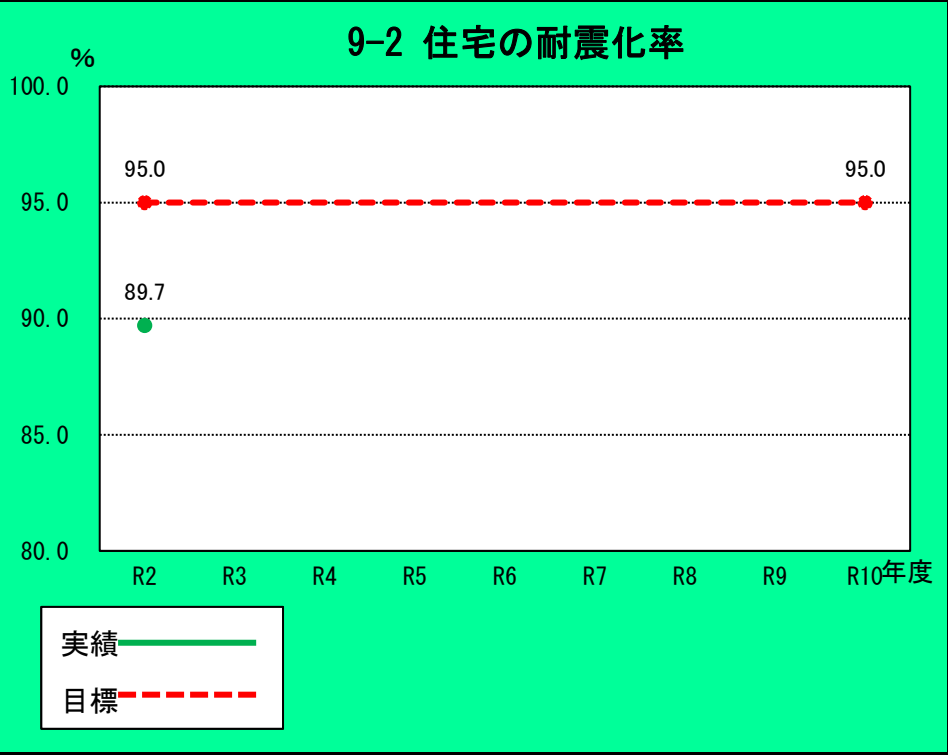
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
270	↓	266	—	338
H29年度 (2017)	-4 戸	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。 H30年から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は毎年活用実績があり、R6年度は3件の空き家が除却(5.3件/年)された。利活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。 R6年度は新たに特定空家等及び管理不全空家等を認定し、指導を行った結果、長年放置された危険な状態の空家等の内6件が除却等された。 今後も空き家の段階に応じた対策を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

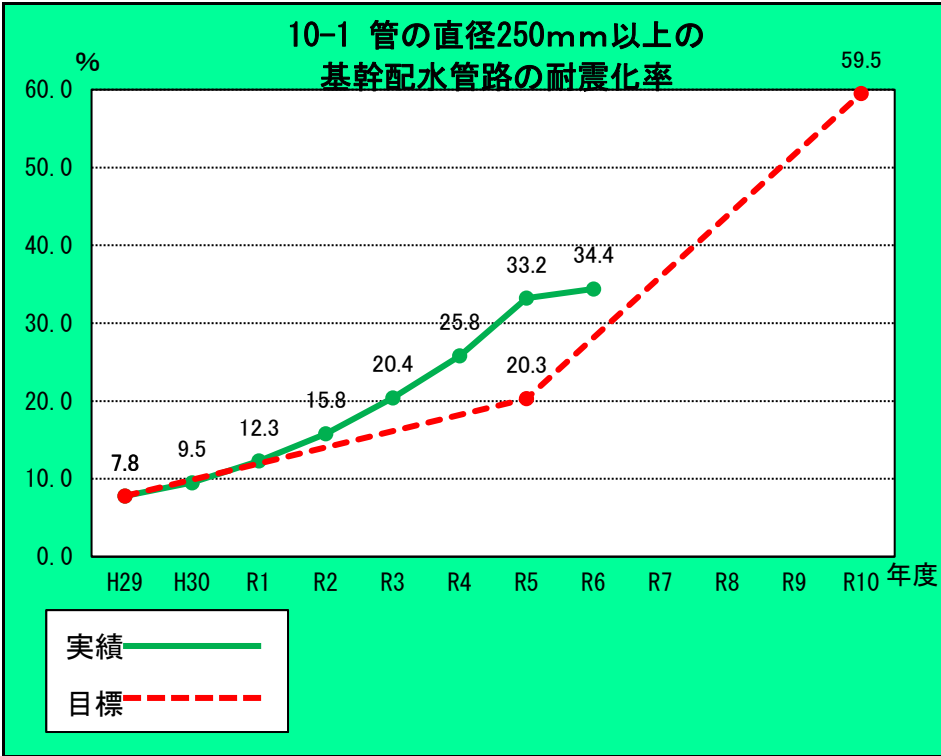
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
89.7	→	89.7	—	95.0
R2年度 (2020)	0 %	R2年度 (2020)	1 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
【町の耐震化事業】 ・木造住宅の耐震診断（無料） ・特殊建築物の耐震診断 ・耐震改修工事・耐震シェルター設置補助金 ・ブロック塀等撤去補助金 ・耐震フォーラムの開催（参加無料） ・耐震化促進リーフレットの作成・配布 町では上記の耐震化事業を「王寺町耐震改修促進計画」に基づき実施している。R6年度に実施した耐震フォーラムでは、6組の参加があり、うち1件については耐震診断を実施された。 また、過去に耐震診断を実施した方に耐震化への動向についてヒアリングを行い、家屋の耐震化を促している。 居宅を所有する者の高齢化と耐震改修費用の高騰が、耐震改修が進まない事への追い打ちとなっており、補助制度の見直しを検討している。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

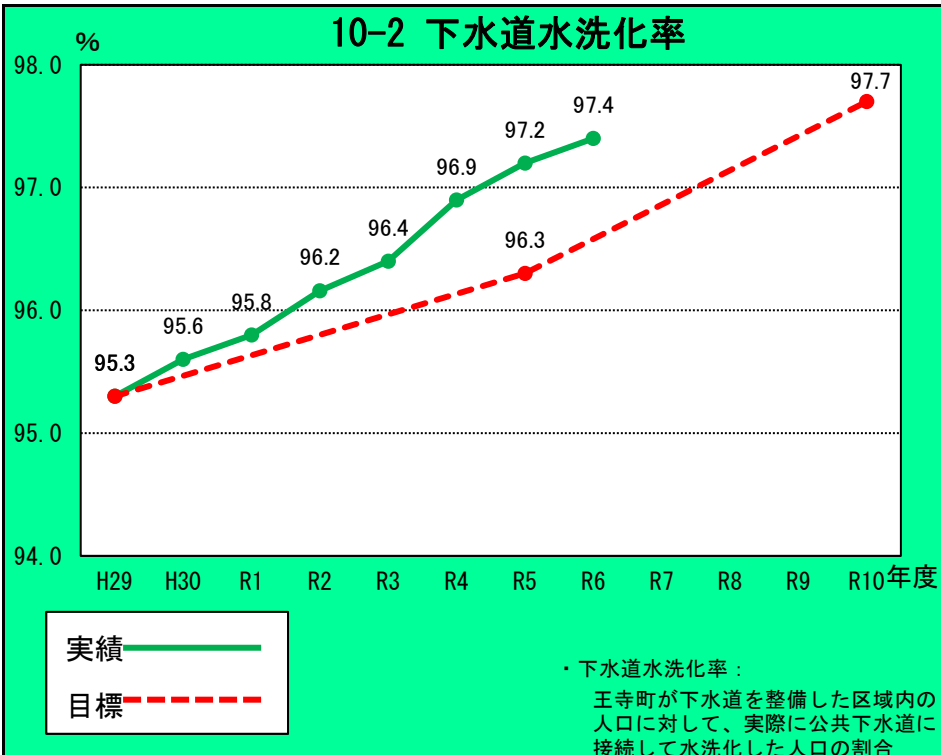
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事 源 英享



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.8	↑	34.4	51.5%	59.5
H29年度 (2017)	26.6 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
県内水道事業の統合を前に、留保資金を活用しながら水道配水管の耐用年数である40年を経過している老朽管のうち、管径250mm以上の基幹管路を中心に更新ペースを上げて耐震管への布設替えを実施している。 ○更新実績（管径250mm以上） H30年度 工事延長 L=260m R1年度 工事延長 L=410m R2年度 工事延長 L=510m R3年度 工事延長 L=665m R4年度 工事延長 L=795m R5年度 工事延長 L=1,081m R6年度 工事延長 L=184m ※管径250mm以上総延長 L=14,643m				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

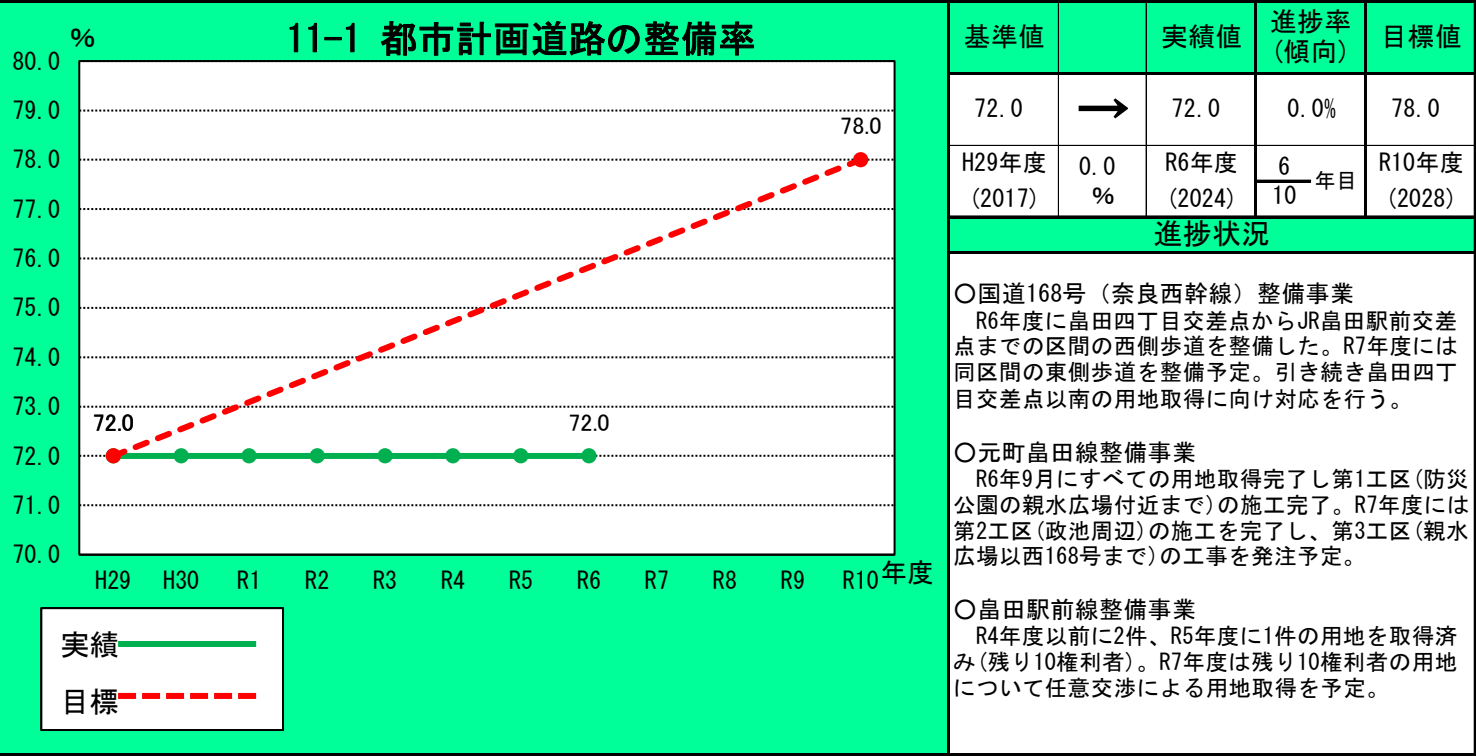
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事 源 英享



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
95.3	↑	97.4	87.5%	97.7
H29年度 (2017)	2.1 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町公式サイトを通じた水洗化に関する啓発のほか、公共下水道への未接続者に対する個別訪問を継続的に実施しており、R6年度末時点での下水道水洗化率は97.38%となりR6年度の目標値を上回った。 今後も公共下水道への接続啓発を行い、R10年度の目標値である97.7%の早期達成を目指す。				

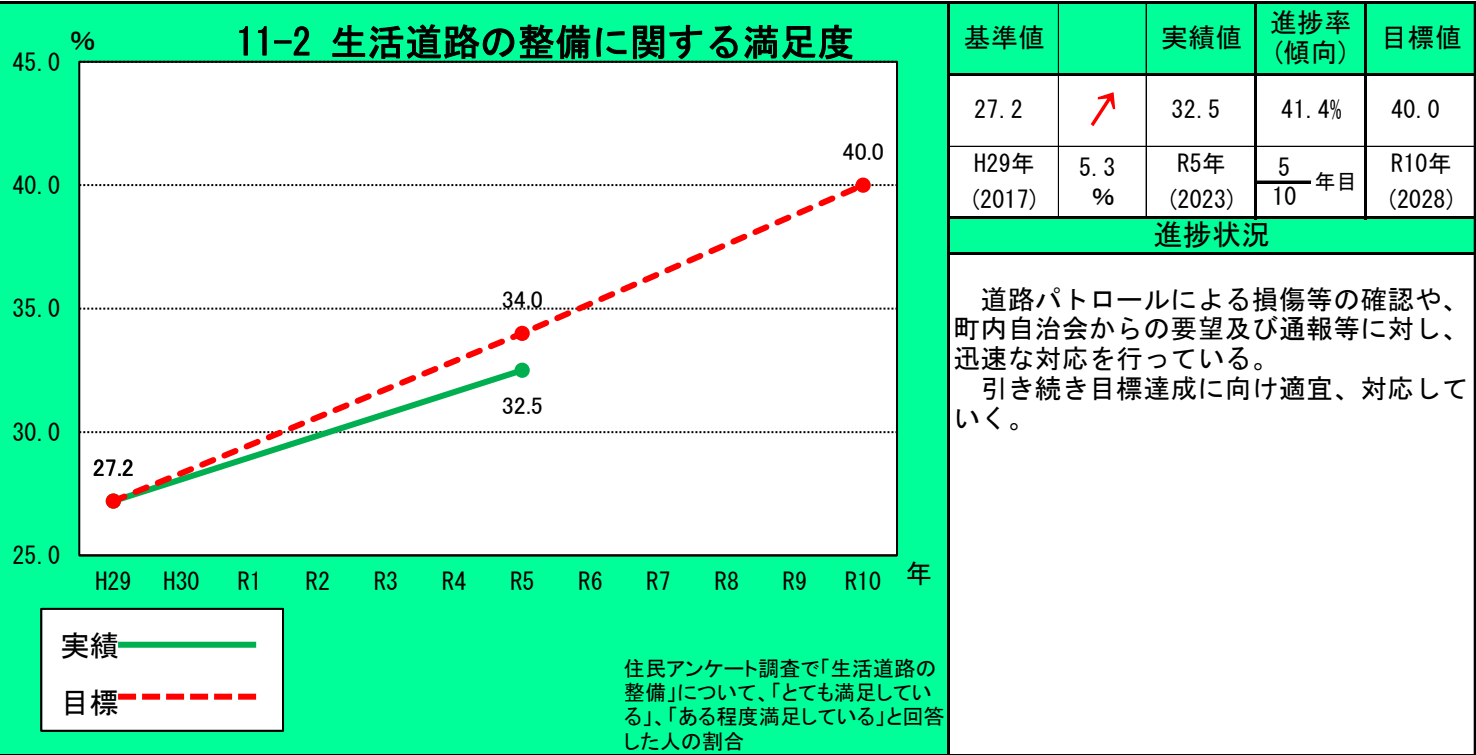
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 都市計画課 課長 池島 知



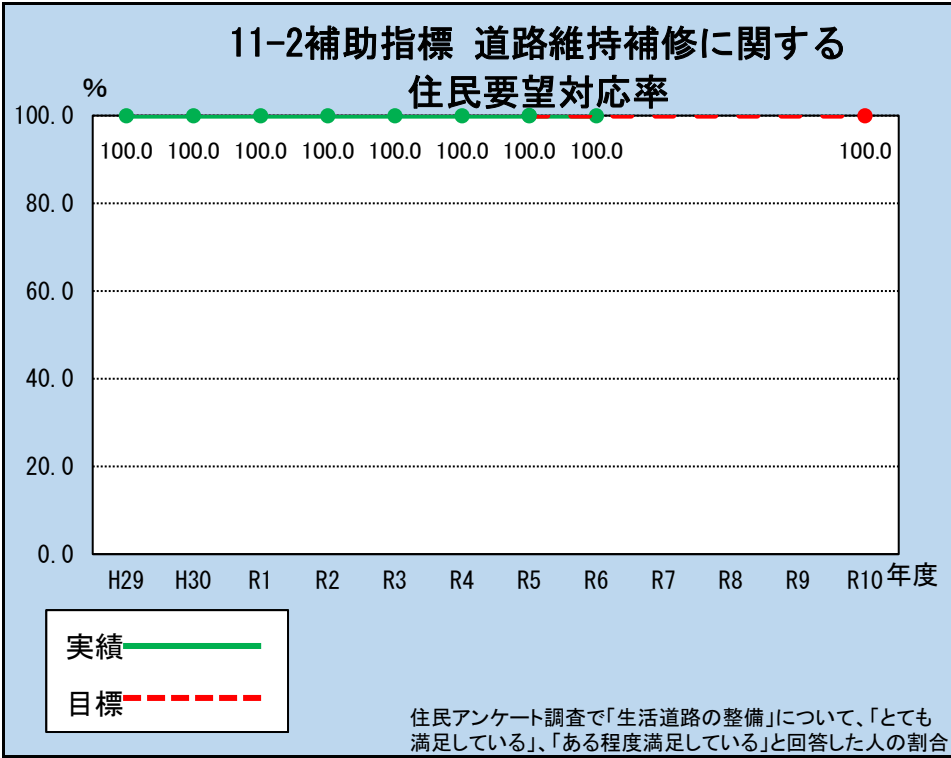
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 建設課 課長 山中 法也



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

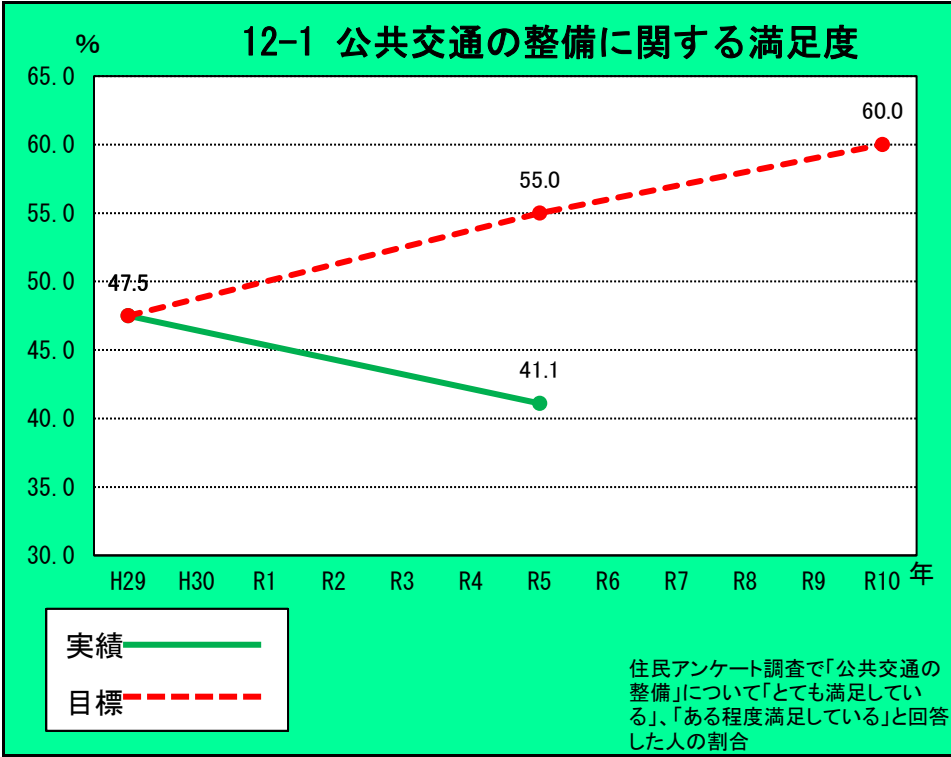
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 建設課 課長 山中 法也



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
100.0	→	100.0	100.0%	100.0
H29年度 (2017)	0.0 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
道路補修工事や舗装工事をはじめ、水路補修工事、泥上げ工事など要望を受けた土木工事は、すべて完了した。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

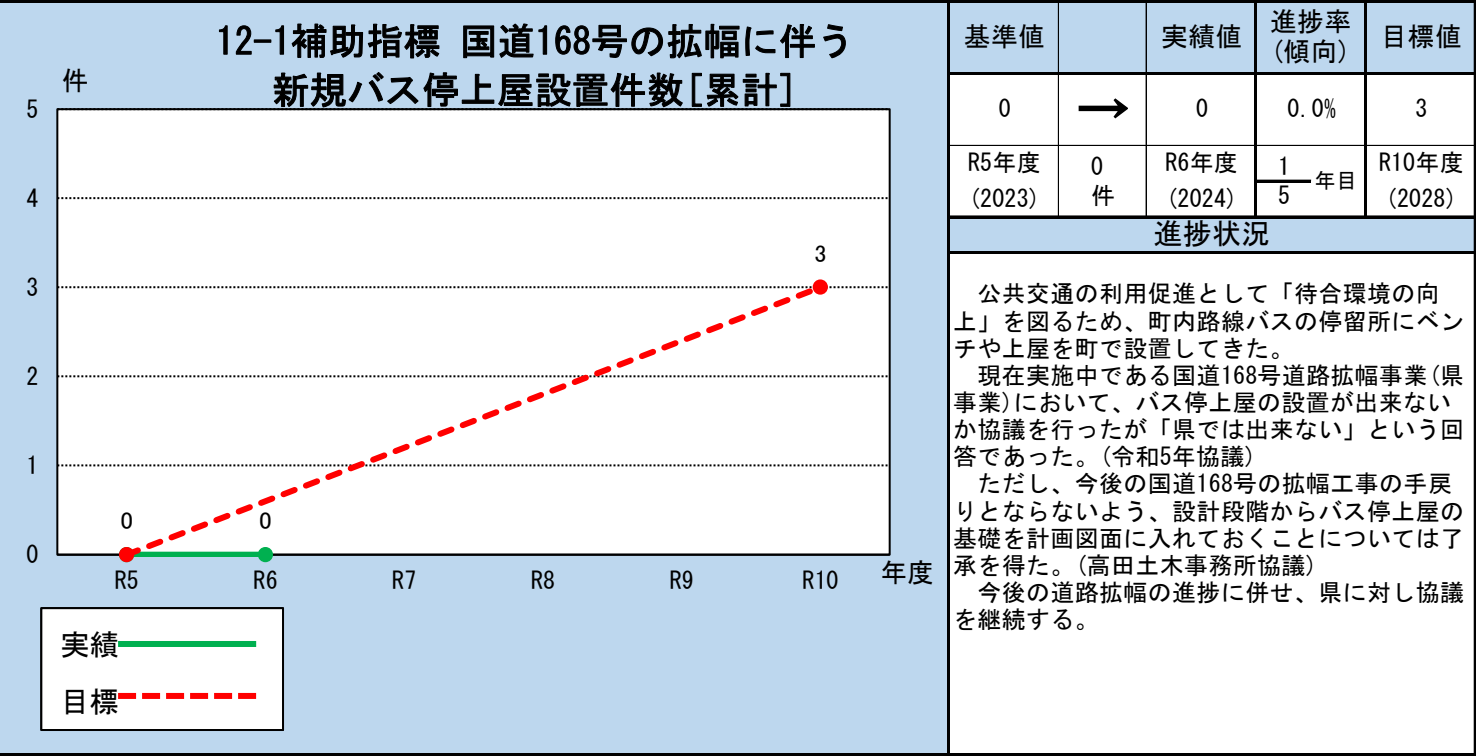
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
47.5	↓	41.1	-51.2%	60.0
H29年 (2017)	-6.4 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
王寺町は鉄道のまちとして栄え、鉄道や路線バスといった公共交通が近隣市町より充実している。しかし、コロナ禍による外出抑制で交通事業者の業績悪化が進んだ結果、運賃の値上げや減便が行われ、利用者に直接影響を与えている。全国と同様に王寺町でも「減便・値上げ→利用者減→減便・値上げ→利用者減…」という負のスパイラルが起きている。さらに、物価高騰が交通事業者へ追い打ちをかけている。そのため、王寺町ではR4年及びR5年に地域の公共交通であるタクシー事業者に対し燃料費の補助を実施した。(路線バスは県域の公共交通であるため県が実施) 今ある「公共交通サービス」が今後も継続するよう、交通事業者と共に公共交通の利用を促進していくとともに、地域の実情に合った新たな移動手段を含む公共交通政策の検討を行う。				

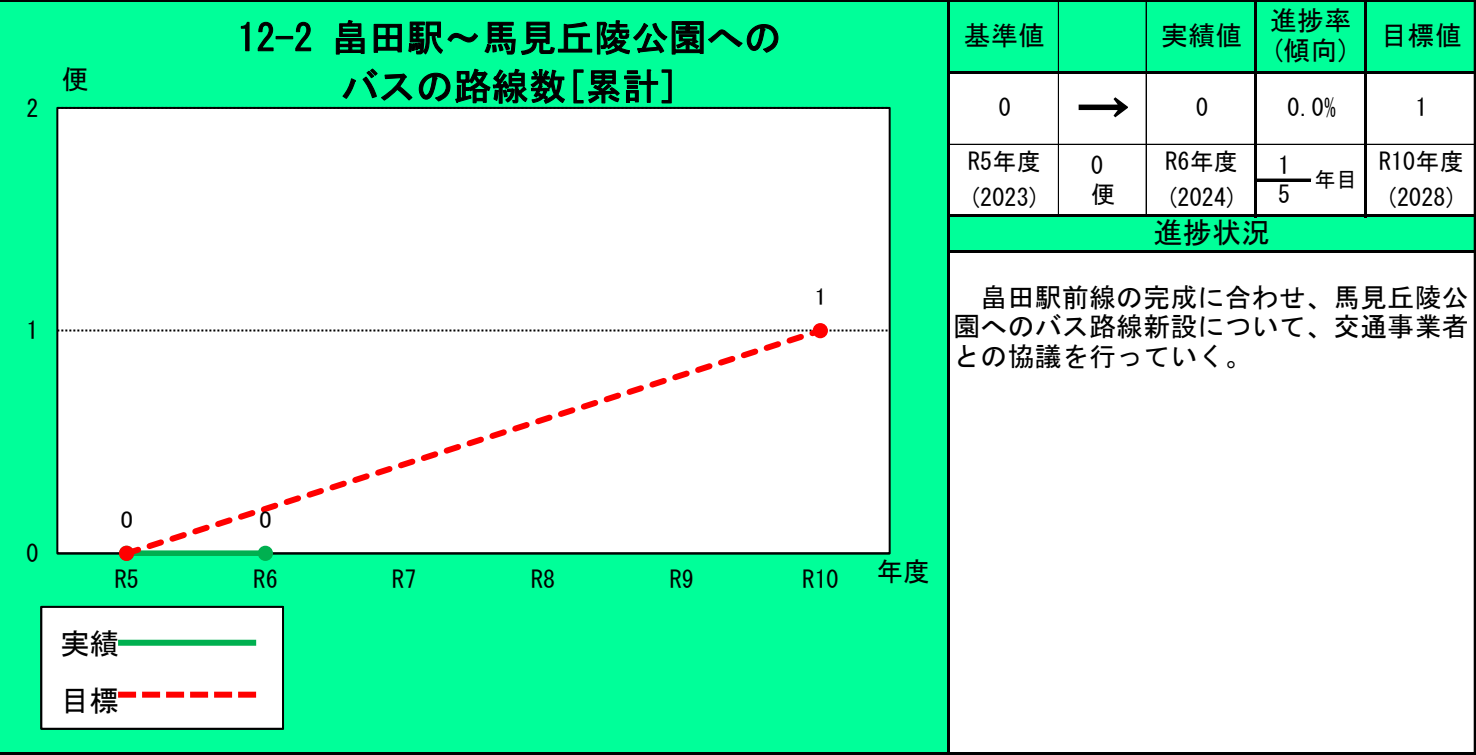
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



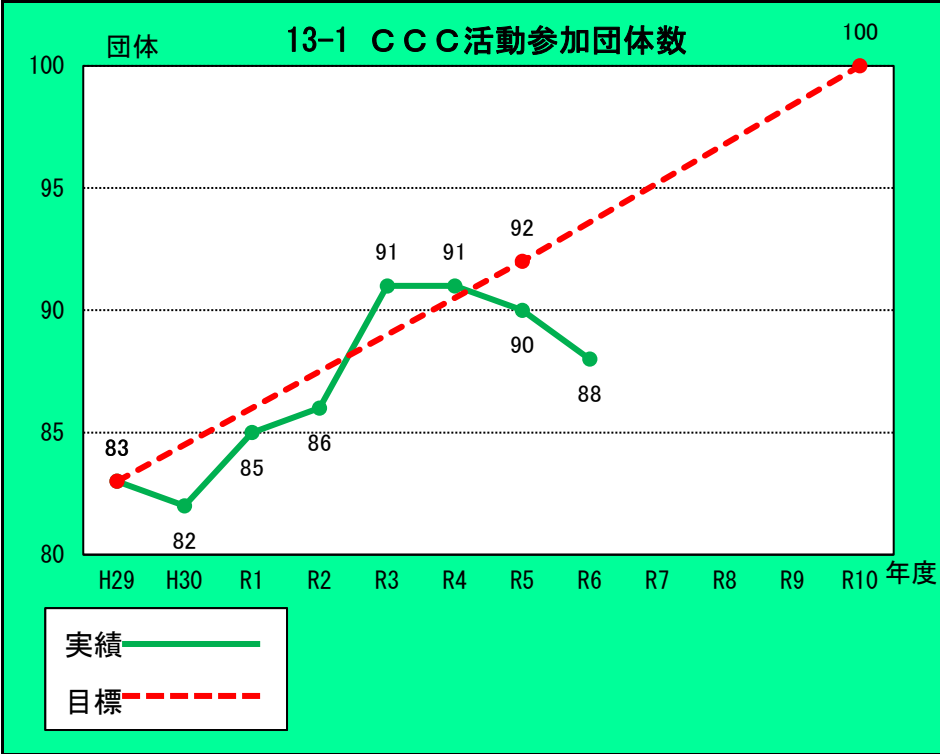
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(13) 環境保全

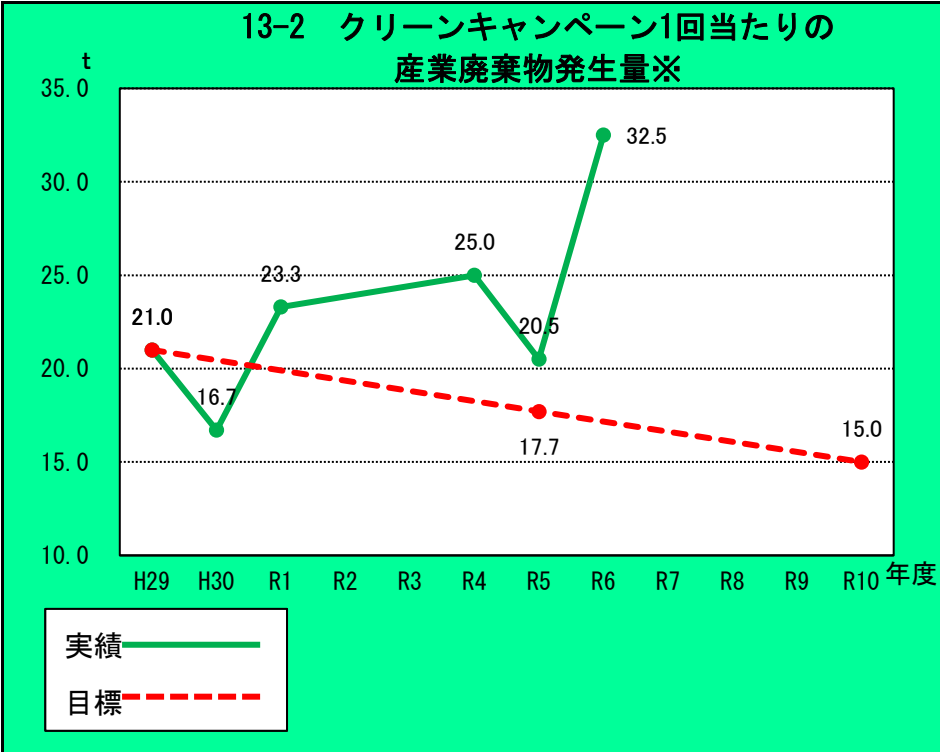
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
83	↑	88	29.4%	100
H29年度 (2017)	5 団体	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度のC C C団体数は、R5年度より2団体減少。コロナ禍のR4年度より減少の状態が続いている。 あらためてC C C活動の目的、補助制度及び活動状況を知っていただくための広報を行い、町内の団体や企業からの新規参加を促進する。 〇C C C活動延べ人数 ・ R6年度 20,794人(R5年度 21,546人)				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(13) 環境保全

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大

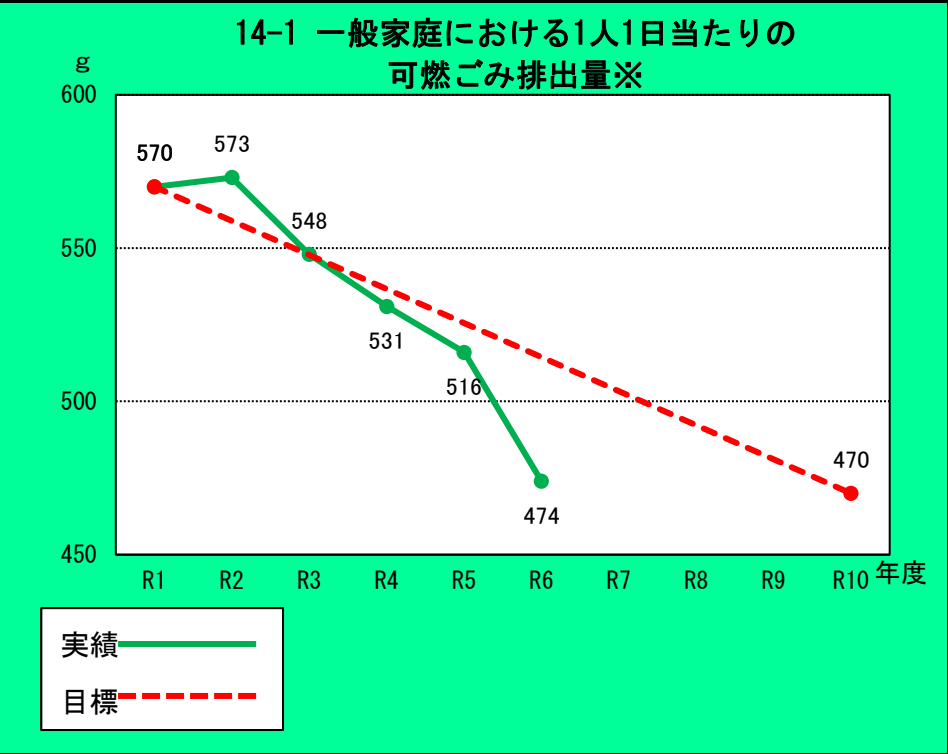


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
21.0	↑	32.5	-191.7%	15.0
H29年度 (2017)	11.5 t	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度は年4回のクリーンキャンペーンのうち、2回のみ開催となった。開催当日に回収した産業廃棄物の総量は、4回開催であったR5年度を下回っているものの、開催1回当たりの回収量は増加した。 〇R6年度クリーンキャンペーン ・ 実施回数 2回(R5年度 4回) ・ 産業廃棄物発生量 65t(R5年度 82t)				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(14) 循環型社会

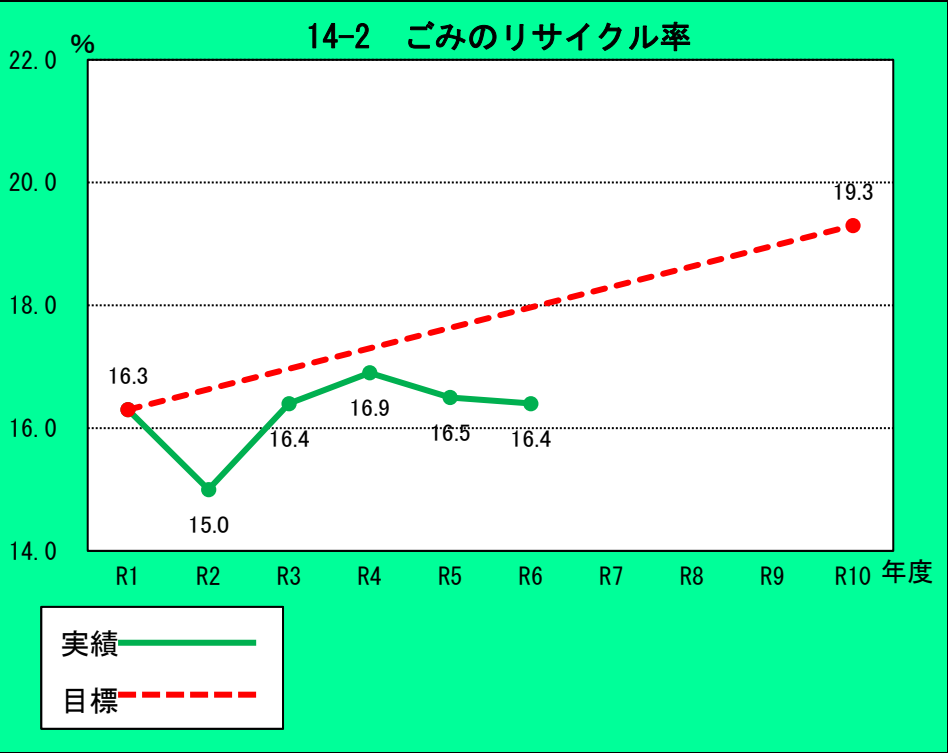
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
570	↓	474	96.0%	470
R1年度 (2019)	-96 g	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、『雑がみ回収袋』の全戸配布を行ったほか、R4年4月には町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置した。 さらにR6年9月には、サイズをひと回り大きくして、より利便性を高めた『雑がみ保管袋』を、再度全戸配布した。 その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R6年度でプロジェクト開始前より96 g 減少している。 今後もプロジェクトの目標でもある「可燃ごみ1人1日当たりマイナス100 g」の達成に向けた取組を進めていく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(14) 循環型社会

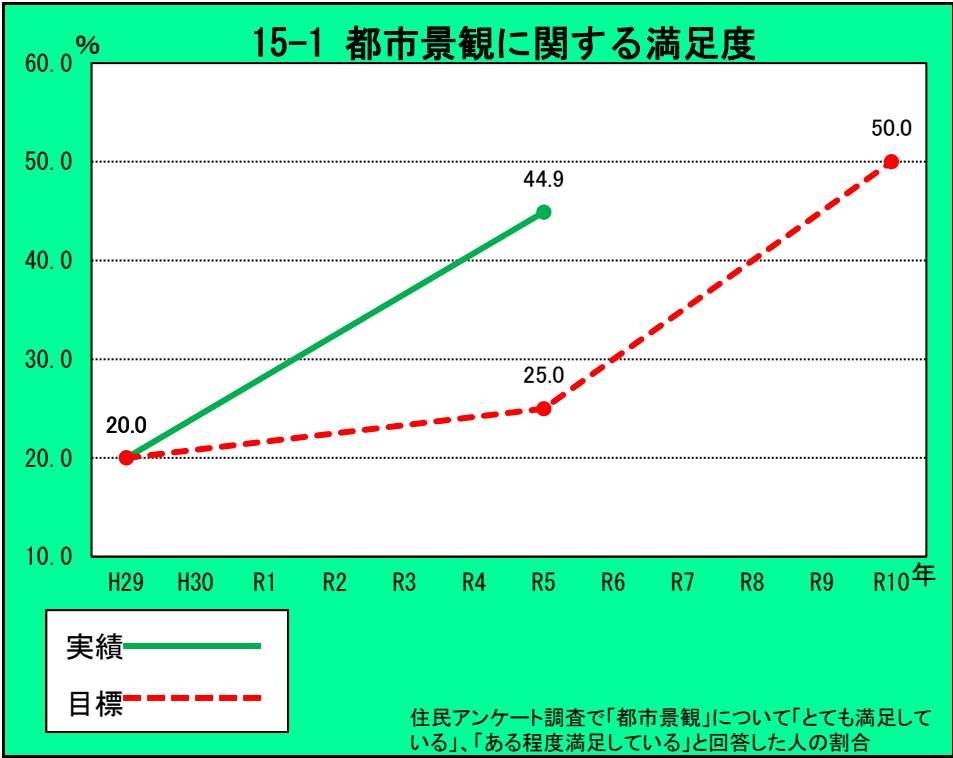
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
16.3	→	16.4	3.3%	19.3
R1年度 (2019)	0.1 %	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、雑がみ回収袋の全戸配布や町内4カ所の資源ごみ回収ステーションの設置などを行った。その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R6年度末時点でプロジェクト開始前より96 g 減少した。 その一方で、リサイクル率は、ほぼ横ばい状態にあることから、R7年度では、資源ごみ回収ステーションの利用促進のための周知・広報を徹底し、リサイクル推進を図る。				
OR6年度実績 ・ 資源ごみ 864,253kg (対前年度△9.6%) ・ 資源化率 16.4% (対前年度△0.1ポイント)				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

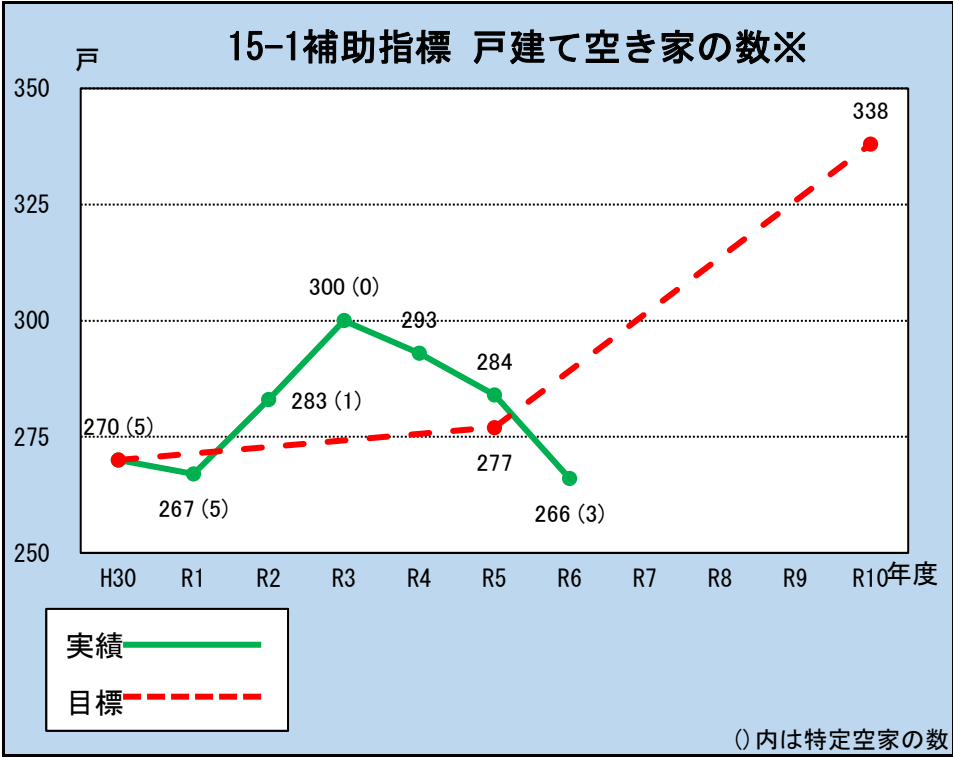
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 都市計画課 課長 池島 知



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.0	↑	44.9	83.0%	50.0
H29年 (2017)	24.9 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
景観法に基づく届出対象となる行為の意見聴取についてR6年度は1件の照会があり、景観に配慮した計画であった。 今後も、良好な景観形成を図るため、適切に対応していく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

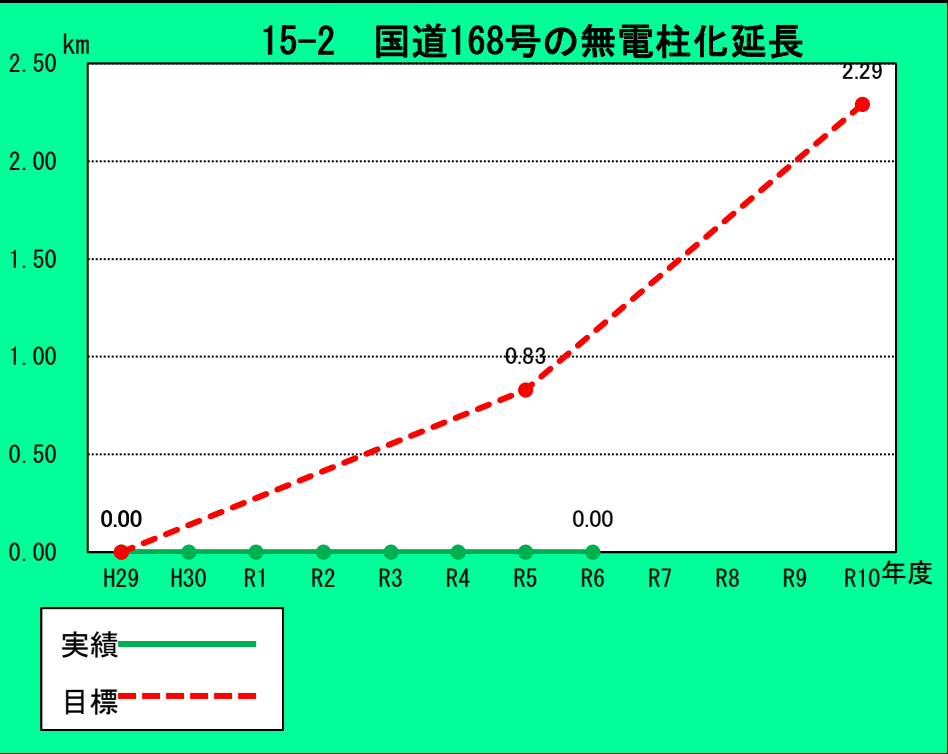
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
270	↓	266	—	338
H29年度 (2017)	-4 戸	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。 H30年から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は毎年活用実績があり、R6年度は3件の空き家が除却(5.3件/年)された。利活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。 R6年度は新たに特定空家等及び管理不全空家等を認定し、指導を行った結果、長年放置された危険な状態の空家等の内6件が除却等された。 今後も空き家の段階に応じた対策を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 都市計画課 課長 池島 知



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0.0	→	0.00	0.0%	2.29
H29年度 (2017)	0.00 km	R6年度 (2024)	$\frac{6}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
○国道168号(奈良西幹線)整備事業 本町一丁目交差点以南640m(4車線化事業済み区間)の無電柱化については、電気事業者との協議を順次実施中。 上記区間より南(4車線化事業中区間)の無電柱化については、畠田四丁目交差点からJR畠田駅前交差点までの歩道整備とともに電線共同溝をR6年度より着工。 R6年度は西側歩道整備とともに電線共同溝を設置済み。R7年度は東側を着工予定。				

3 安全で安心に暮らせるまちづくり

数値目標

3(1) 防災訓練を実施している自主防災組織の数

3(2) 防災士資格者数

K P I

具体的施策16 防災体制

16-1 「王寺町安全・安心メール」及び「LINE 公式アカウント」登録者数

具体的施策17 避難行動支援

17-1 「個別計画」を作成した団体数[累計]

具体的施策18 消防・救急体制

18-1 王寺町消防団の定員に対する充足率

18-2 救命講習会の年間受講者数

具体的施策19 防犯・交通安全

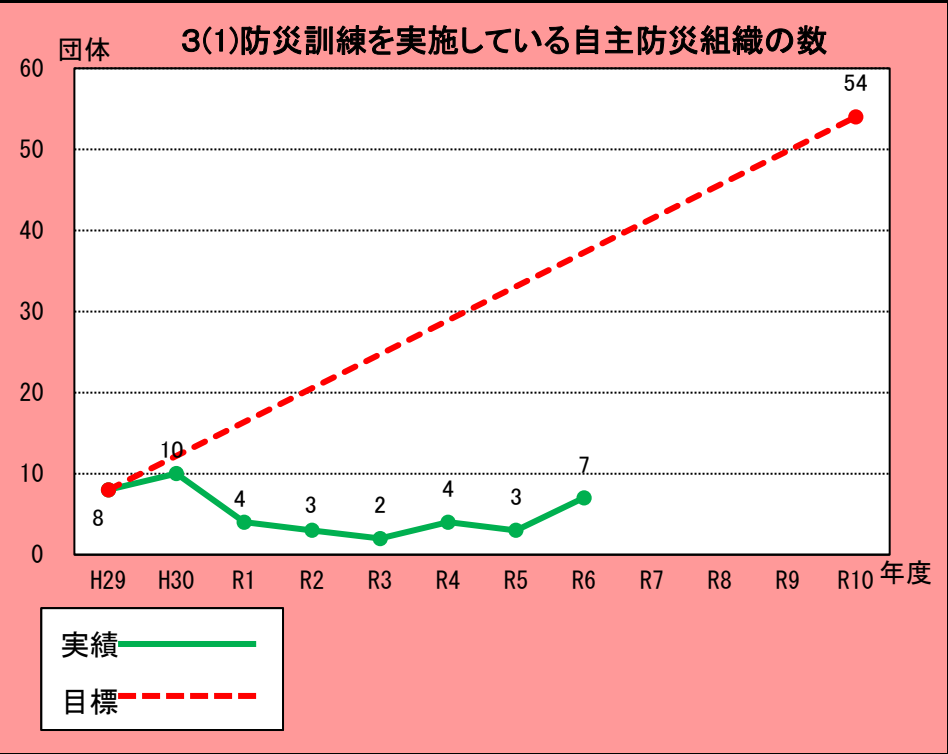
19-1 刑法犯年間認知件数（延べ）

19-2 町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合

数値目標

基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

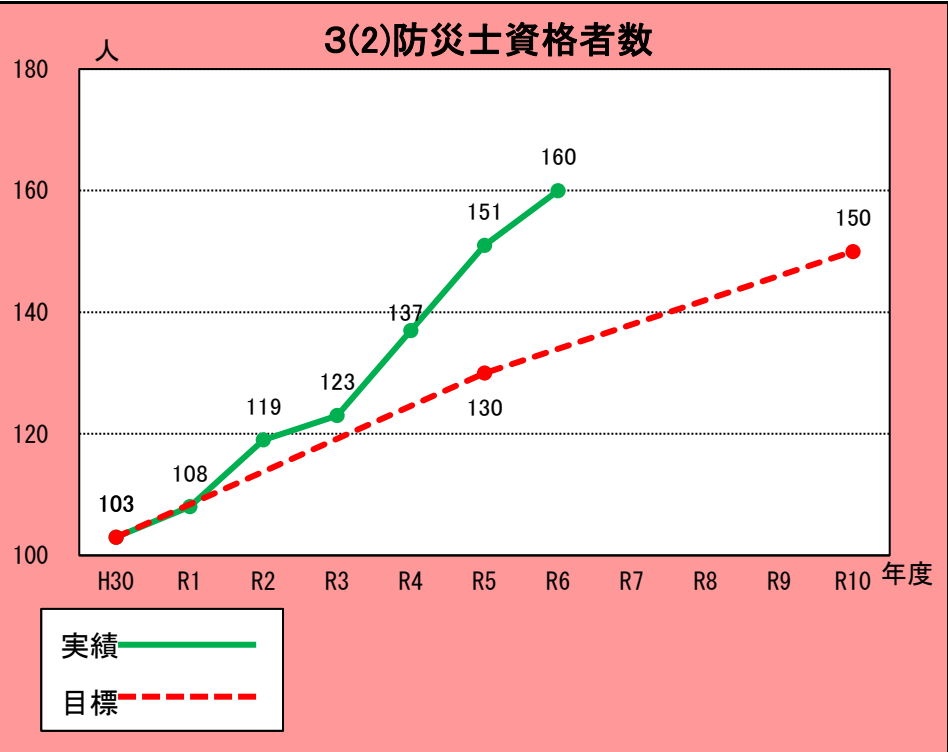
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
8	↓	7	-2.2%	54
H29年度 (2017)	-1 団体	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
能登半島地震が発生し、防災意識が高まったことにより、多くの地域で防災訓練が実施された。 また、地区防災計画についても、作成済・着手している自治会が40.07% (22/54自治会中) と、地域で訓練を実施する基盤ができあがりつつある。 今後も地区での訓練や避難所単位での訓練実施のサポートを推進していく。				

基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

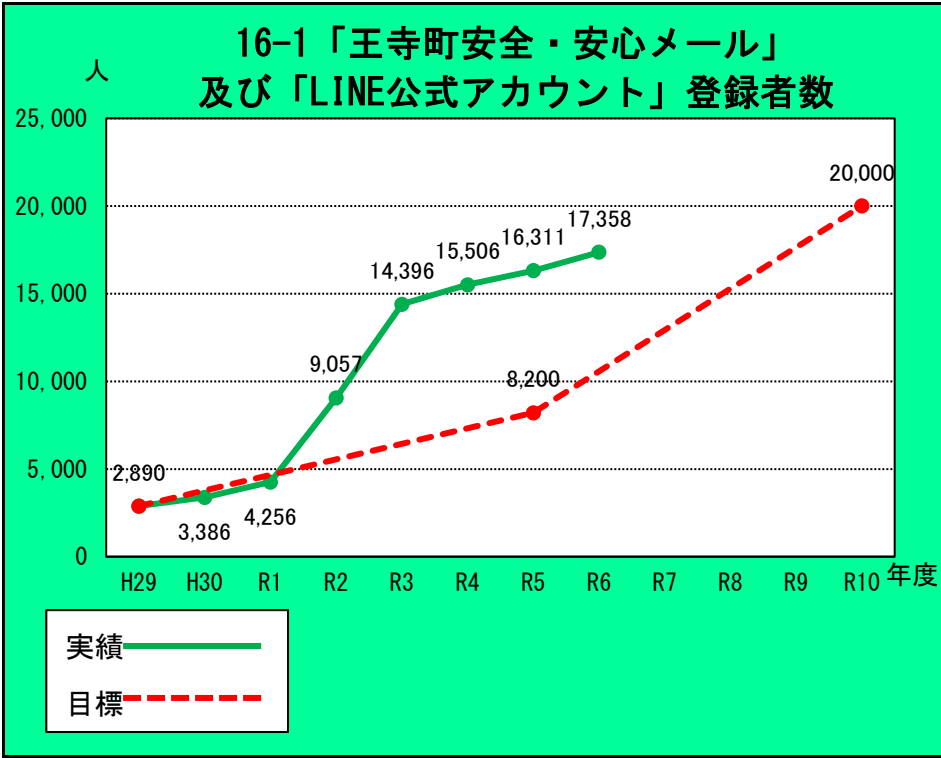
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
103	↑	160	121.3%	150
H30年度 (2018)	57 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
目標値を上回っているが防災士研修の案内や、防災士資格取得に係る補助制度の啓発を実施していく。 今後も、資格取得者に対し、王寺町防災士ネットワークへの加入を進めるとともにフォローアップ研修を行い、地域で活躍する防災士を育成していく。				
OR7年5月末時防災士ネットワーク加入率 52.5% (84人/160人)				

目標	3 安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(16) 防災体制

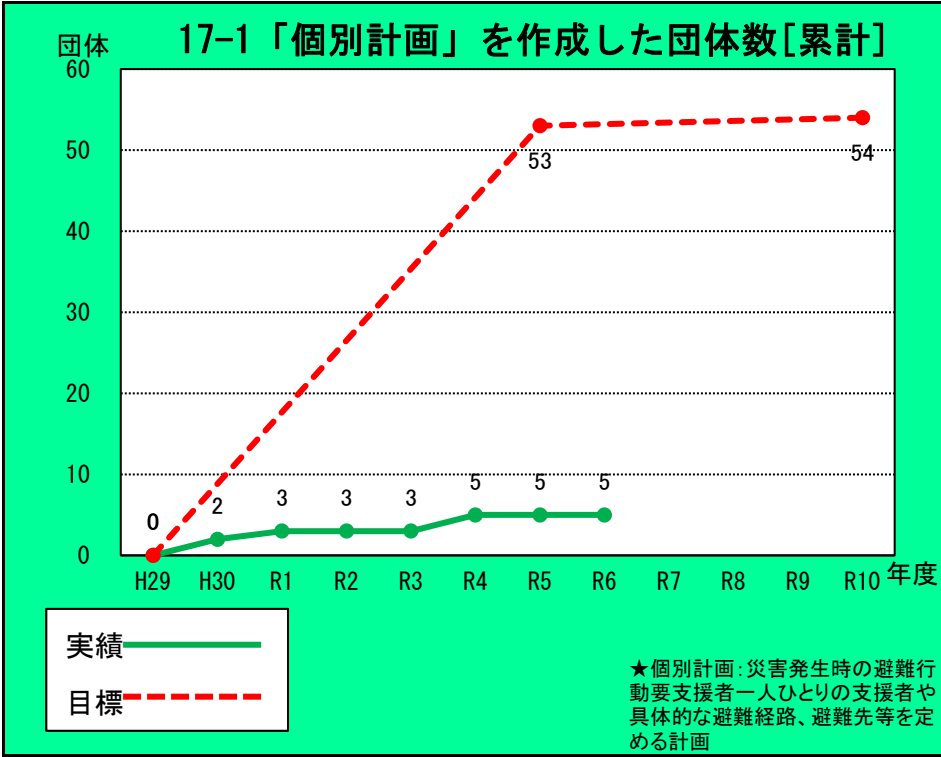
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2,890	↑	17,358	84.6%	20,000
H29年度 (2017)	14,468 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
広報紙等で登録の啓発を行い、登録者数の増加に繋げることができている。今後も窓口に来庁される方等への呼びかけを行い、更なる登録者の増加を目指す。 OR7年5月末時点登録者数 安全安心メール 5,185人 LINE 12,185人 合計 17,370人				

目標	3 安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(17) 避難行動支援

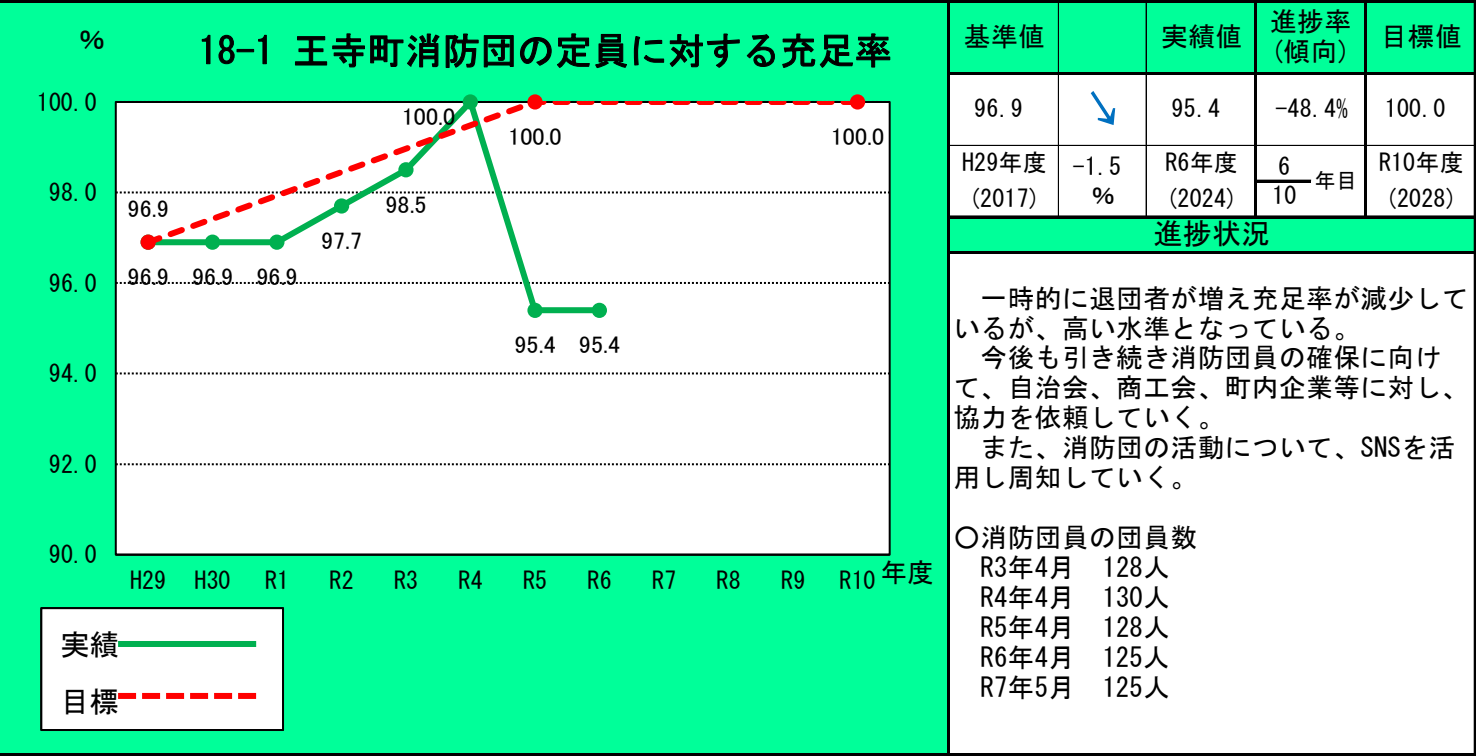
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	5	9.3%	54
H29年度 (2017)	5 団体	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
計画の作成は、避難行動要支援者本人の同意が必要なうえ、個人情報取り扱いへの不安や既に独自の名簿で運用しているという理由から、平常時の名簿提供を希望する自治会数が伸びていないのが現状である。引き続き、自治会や防災会に対し個別に説明を行うとともに計画の作成を依頼するとともに、専門職等と地域調整会議を実施し、支援体制を確立する。 また、R7年度より災害リスクにより、優先順位をつけてケアマネ、専門職を交えて個別避難計画の策定を進める。 OR7年5月末時点 5団体 156人分				

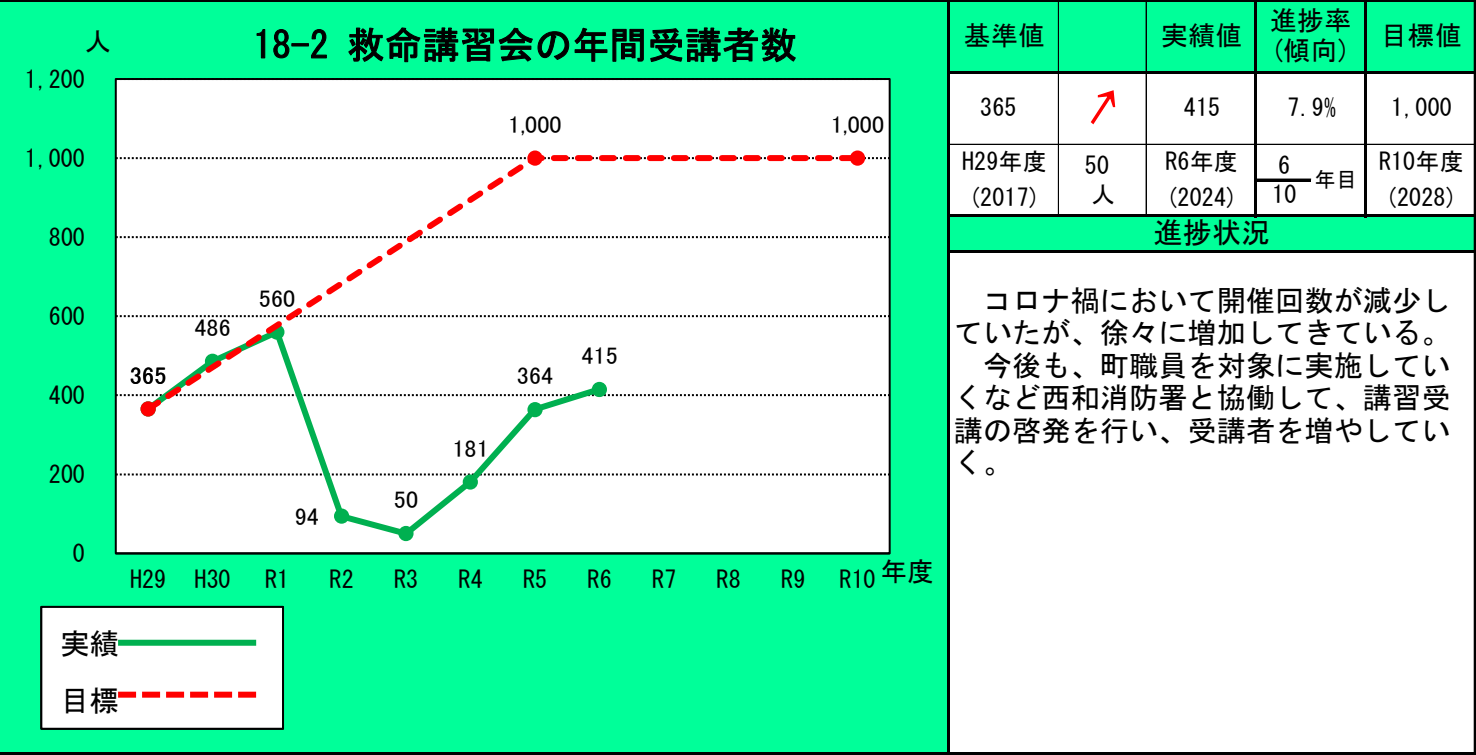
目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



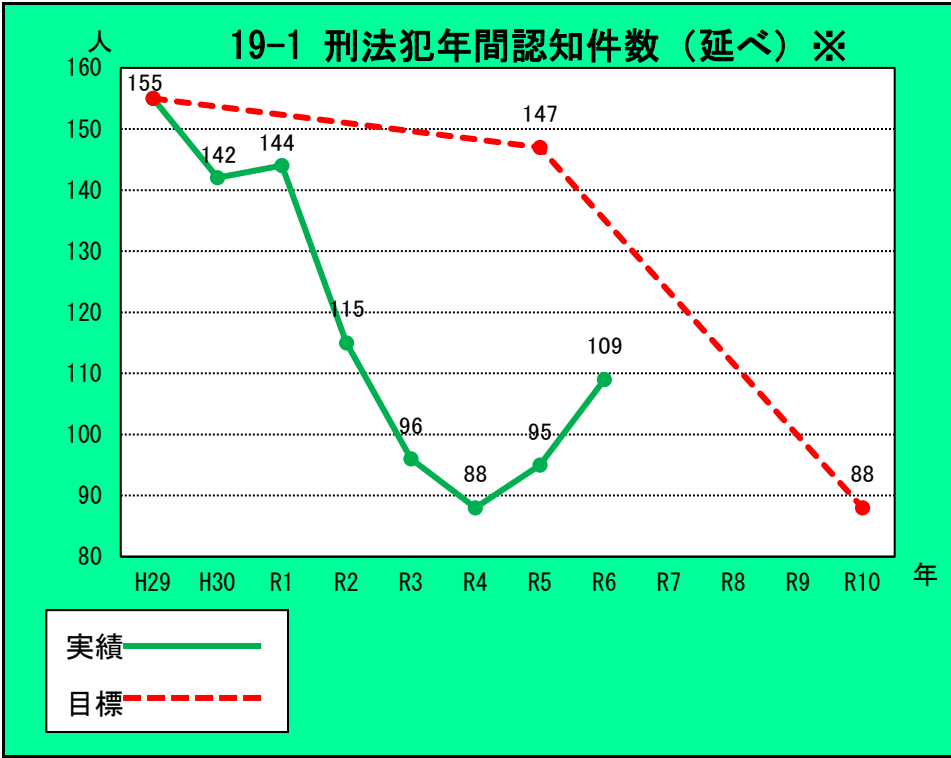
目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

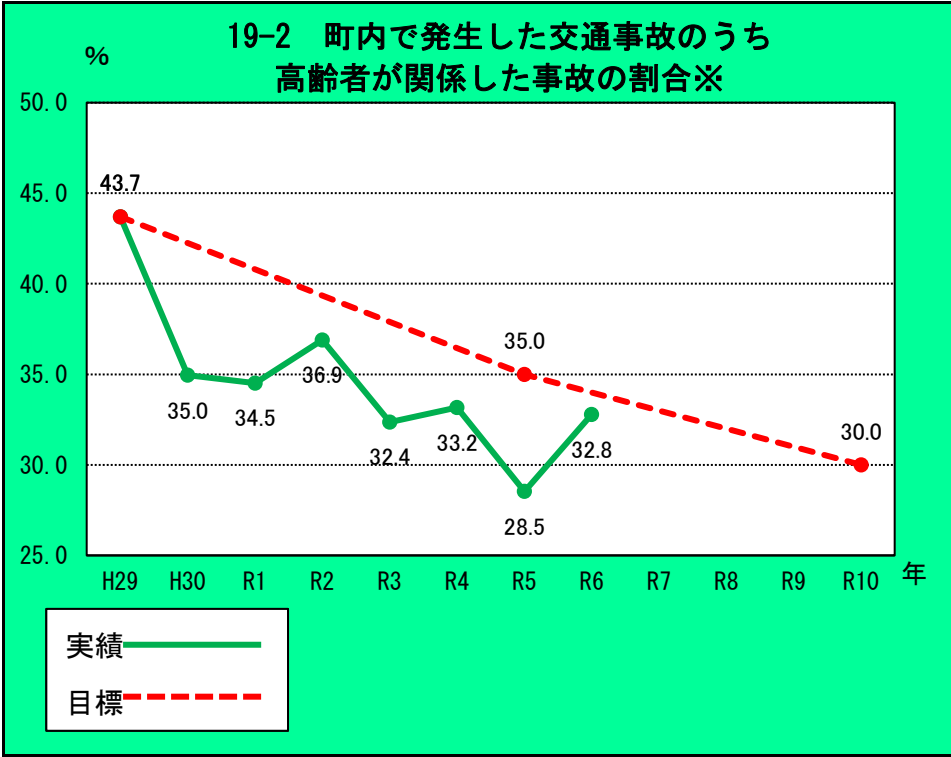
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
155	↓	109	68.7%	88
H29年 (2017)	-46 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
刑法犯年間認知件数について、増加の主な要因は「オートバイ・自転車盗難」「車上・部品ねらい」の増加である。引き続き警察と連携を強化し、防犯啓発活動を実施するとともに、犯罪抑止に効果的な防犯カメラの設置を推進する。なおR7年度より自治会に対する防犯カメラの設置補助の要件を1/3から2/3に引き上げている。 ○防犯カメラ設置補助 R4年度 実績なし R5年度 つくし自治会（1か所） R6年度 泉ヶ丘自治会（4か所）				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
43.7	↓	32.8	79.7%	30.0
H29年 (2017)	-10.9 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
今後も、高齢者の交通事故件数を減少させるため、引き続き警察と連携し、交通安全団体による反射材クツズ配布等といった啓発活動や、主要幹線道路のカーブミラー清掃等を行う。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

4 健やかに暮らせるまちづくり

数値目標

- 4(1) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔男性〕
- 4(2) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔女性〕

K P I

具体的施策20 高齢者福祉

- 20-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合
- 20-2 認知症サポーター養成講座年間受講者数

具体的施策21 介護保険

- 21-1 各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）
- 21-2 65歳以上（介護保険第1号被保険者）の要支援・要介護認定者の割合

具体的施策22 障がい者福祉

- 22-1 福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数
- 22-2 障がいに関わる一般相談の件数
- 22-3 手話奉仕員登録者数

具体的施策23 健康づくり

- 23-1 [マイアセスメント調査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】
- 23-1 補助指標 [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】
- 23-2 [マイアセスメント調査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】
- 23-2 補助指標 [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】
- 23-3 がん検診の受診率（胃）
- 23-4 がん検診の受診率（肺）
- 23-5 がん検診の受診率（大腸）
- 23-6 がん検診の受診率（子宮）
- 23-7 がん検診の受診率（乳）

具体的施策24 地域福祉

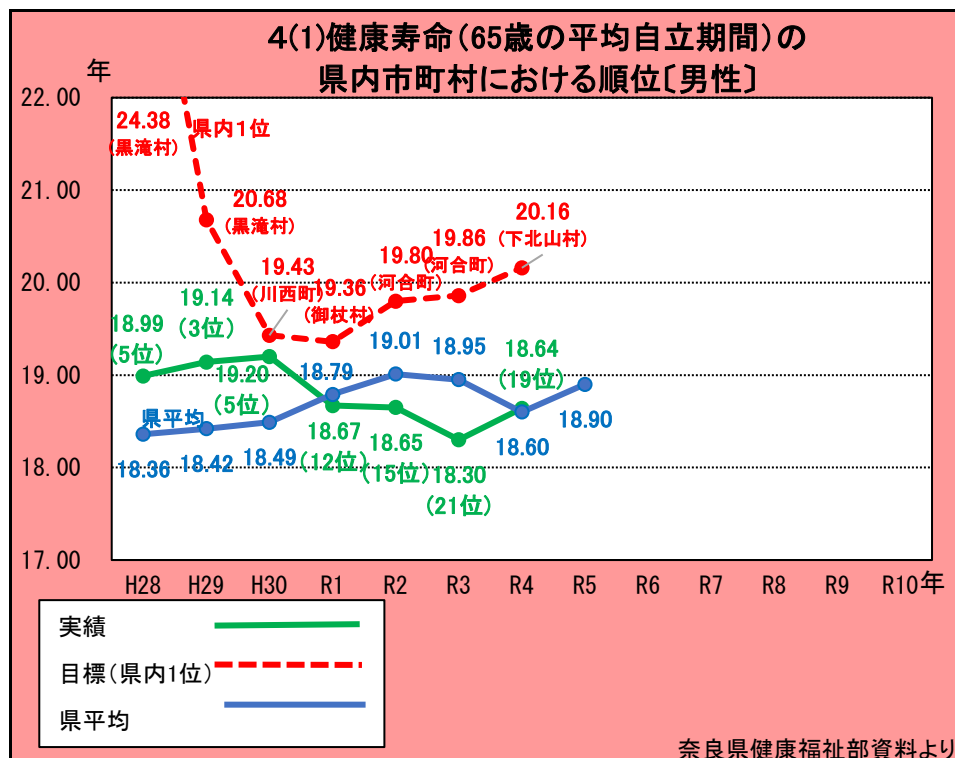
- 24-1 サロンの箇所数
- 24-1 補助指標 社協主催のサロン参加者数
- 24-2 介護（生活支援）ボランティア登録者数

具体的施策25 国民健康保険

- 25-1 国民健康保険被保険者の年間1人当たり医療費
- 25-2 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

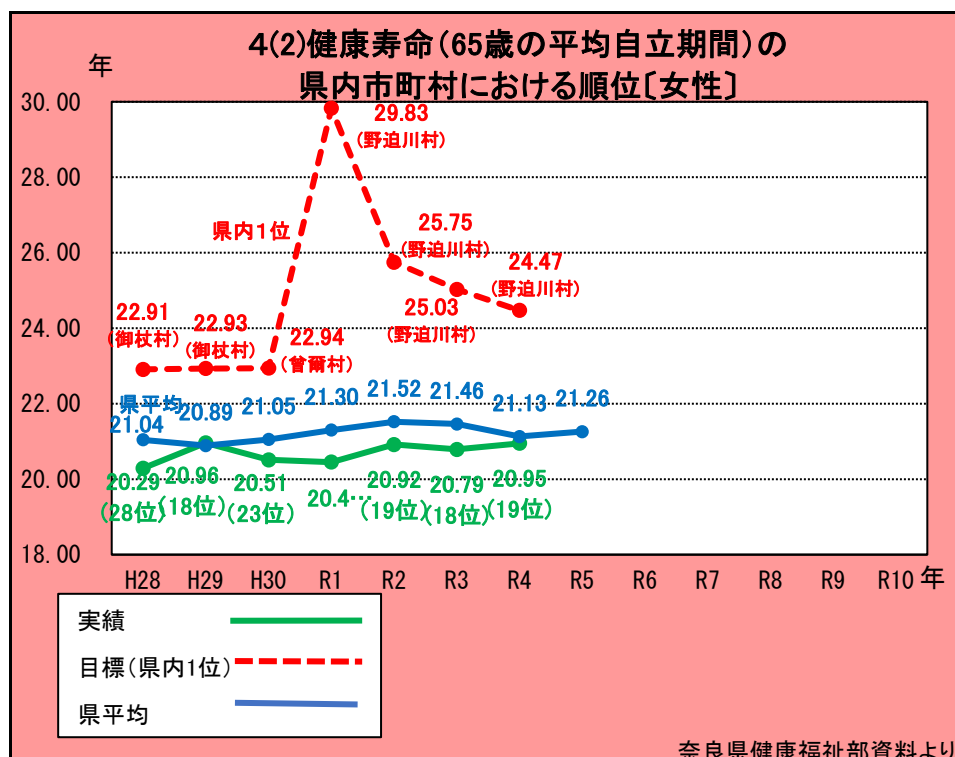
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
18.99 (5位)	↓	18.64 (19位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	-0.69 年	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
前年より順位(19位)・数値とも改善し、県平均を上回る数字まで改善した。コロナ禍の外出控え等が改善されたことが影響しているものと考えられる。(R4年度：R3～R5年の3か年平均値で算出) R5年度より開始した町健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進している。また、R4年度よりヘルスアップ教室開催時に男性優先回を実施して男性も参加しやすい健康づくりの機会を確保している。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

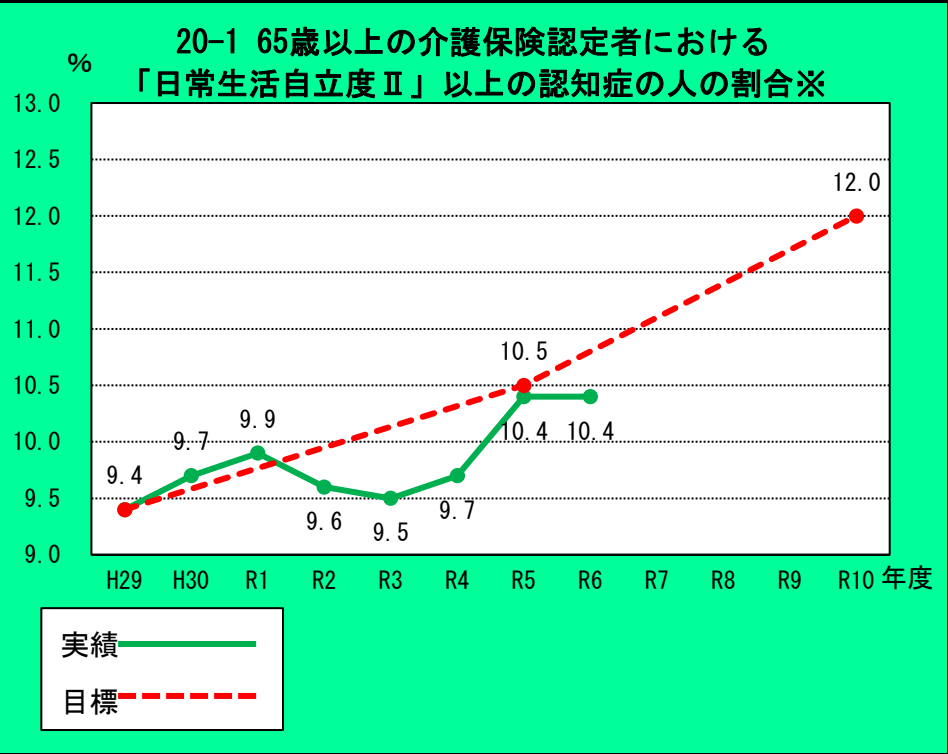
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.29 (28位)	↑	20.95 (19位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	0.50 年	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
前年より数値は改善しているものの、順位は一つ下がり19位となった。コロナ禍の外出控え等が改善されたと考えられるが、なかなか大きな改善に結び付かない。(R4年度：R3～R5年の3か年平均値で算出) R5年度より開始した町健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進している。今後も健康ステーションや健康サロン等で、自宅や日常生活で簡単に取り組むことができる運動を紹介するなど支援していく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(20) 高齢者福祉

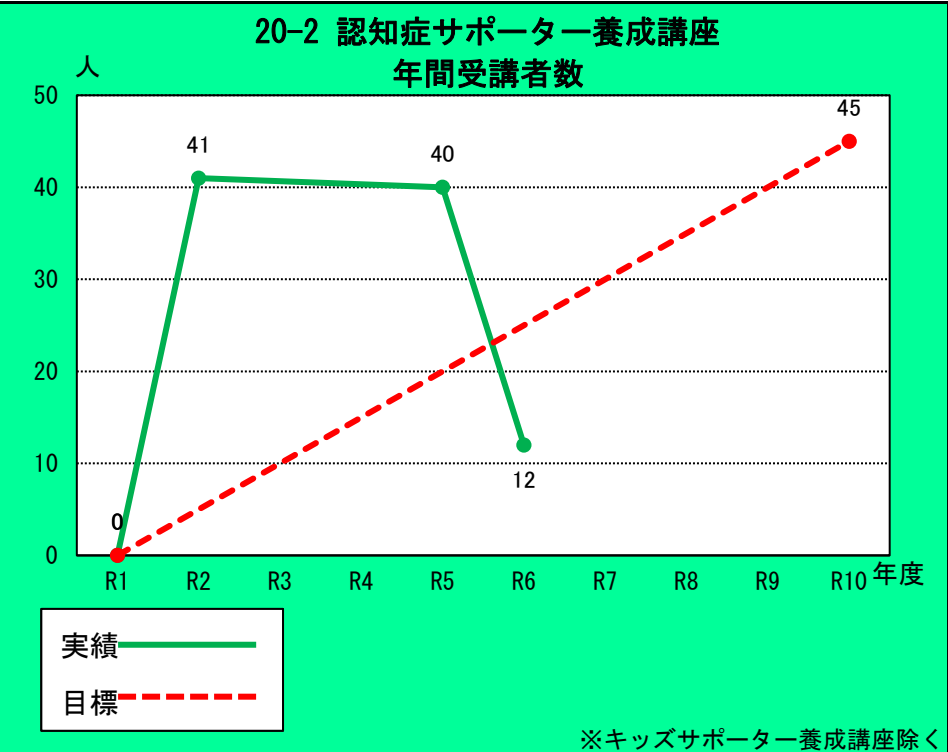
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
9.4	↑	10.4	115.4%	12.0
H29年度 (2013)	1.0 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
65歳以上の介護保険認定者のうち「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合は、前年度と同値であった。 対策として、R7年度より、介護付き有料老人ホームだるま苑の介護予防教室をリニューアルし毎月2回開催する。 また引き続き、認知症カフェの開催や、サロンなどの「通いの場」に専門職を派遣するなど、認知症に関する相談の受付を行っていく。 万が一、認知症の人が行方不明になった場合に早期発見につながる「QRコードシールの配布」(携帯電話で読み取ると西和警察署等の連絡先が表示される)の利用促進を図る。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(20) 高齢者福祉

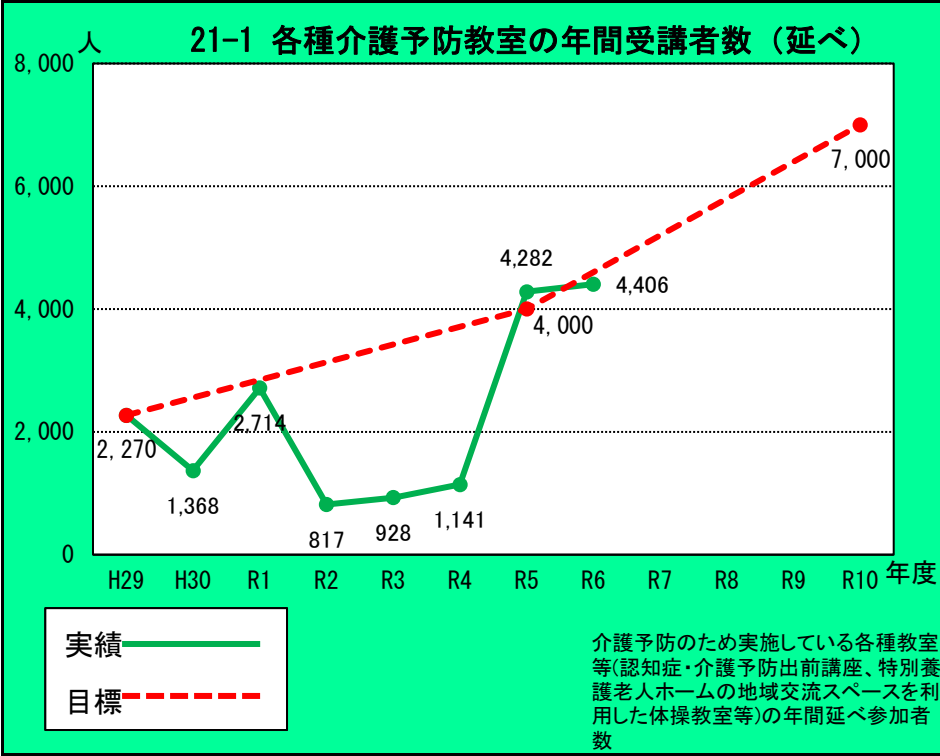
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	12	26.7%	45
R1年度 (2019)	12 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
各種団体からの依頼や「認知症カフェ」において、認知症サポーター養成講座を開催しているが、R6年度は各種団体からの依頼がなかったため、年間受講者数(修了者数)はR5年度より大幅に減少した。 今後も各種団体への呼びかけや王伸・LINE等で、広報を工夫し、受講者数の増加を図る。				
※キッズサポーター養成講座除く				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(21) 介護保険

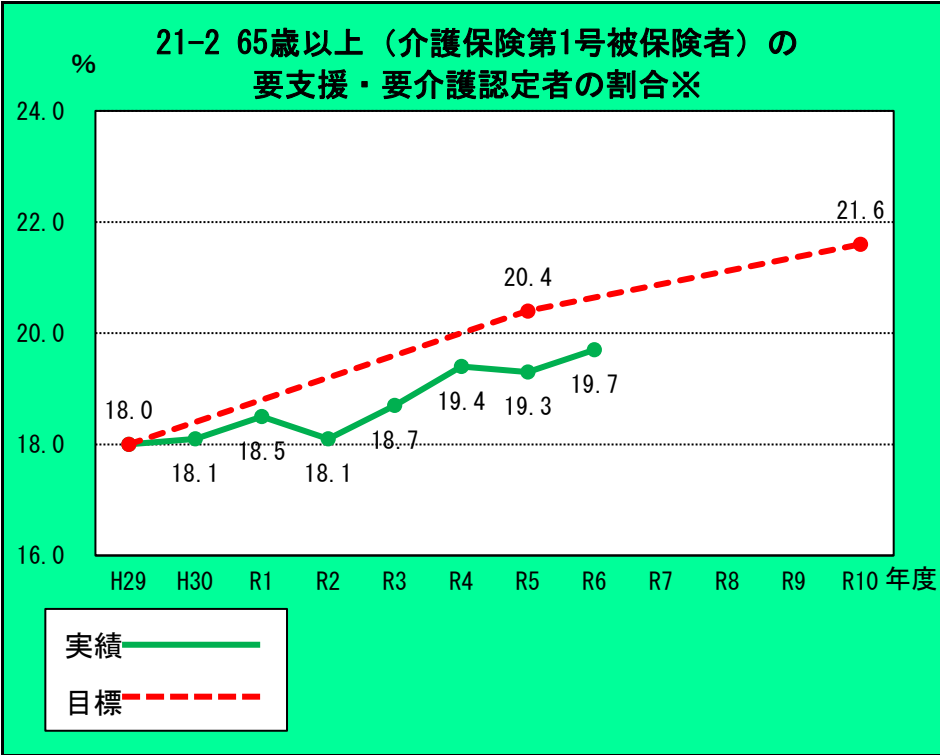
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2,270	↑	4,406	45.2%	7,000
H29年度 (2017)	2,136 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度は、介護施設等町内3か所での介護予防教室の開催や出前講座等積極的に取り組んだ結果、前年度の年間延べ受講者数より124人増加した。R7年度も介護予防教室をリニューアルするなど、受講者数の更なる増加を図る。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(21) 介護保険

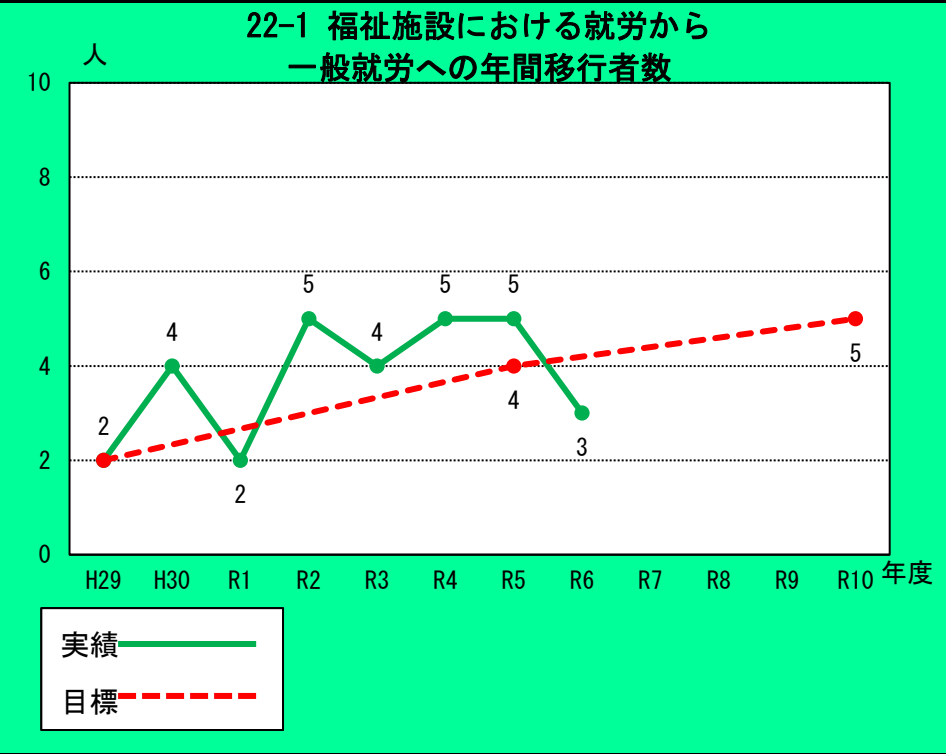
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
18.0	↑	19.7	109.6%	21.6
H29年度 (2013)	1.7 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
要支援・要介護認定者の割合は、前年度より0.4ポイント増加した。 R5年度に全国の大学や国立研究所等の研究者が集う日本老年学的評価研究機構(JAGES)に、王寺町の介護予防事業の効果測定を依頼したところ、介護予防教室等で実施している専門職によるエビデンスに基づいた体操が効果的であるとされたことから、R6年度では介護予防教室の開催場所を増設し、高齢者が教室に参加して体操できる機会を増やした。今後も介護予防教室をリニューアルするなど、要支援・要介護認定者が増加しないように取り組んでいく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

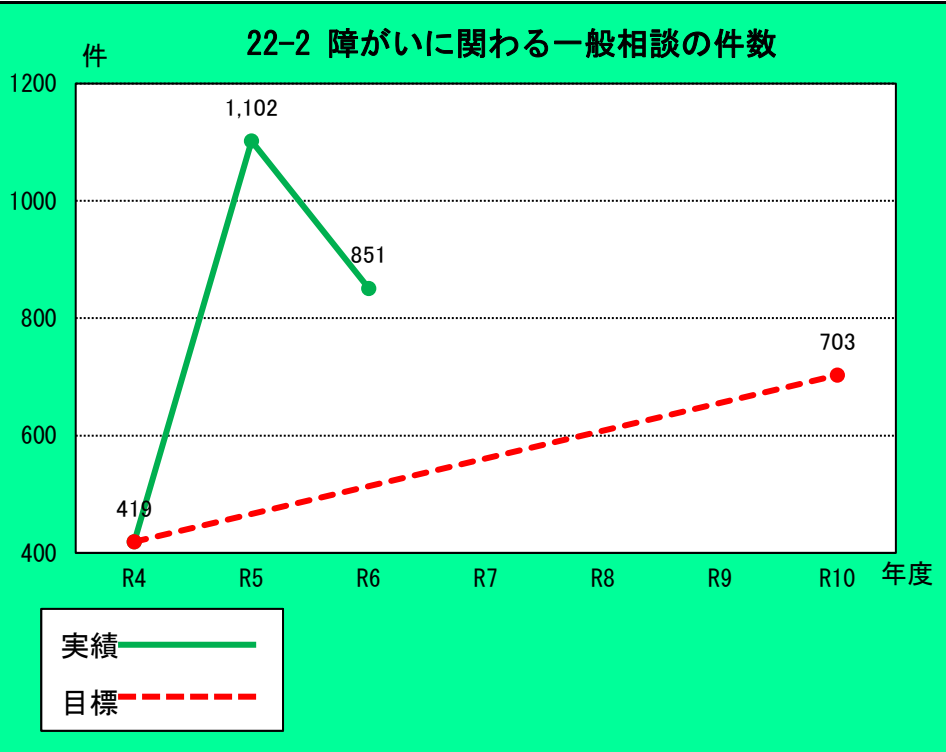
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2	↑	3	33.3%	5
H29年度 (2017)	1人	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度はR5年度より2人減少したが、今後も、窓口や電話等で障がい者本人の意向や能力を把握し、その人に応じた障がい者支援事業所への接続や、ハローワーク等との連携により、一般就労への移行者数の増加を図る。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

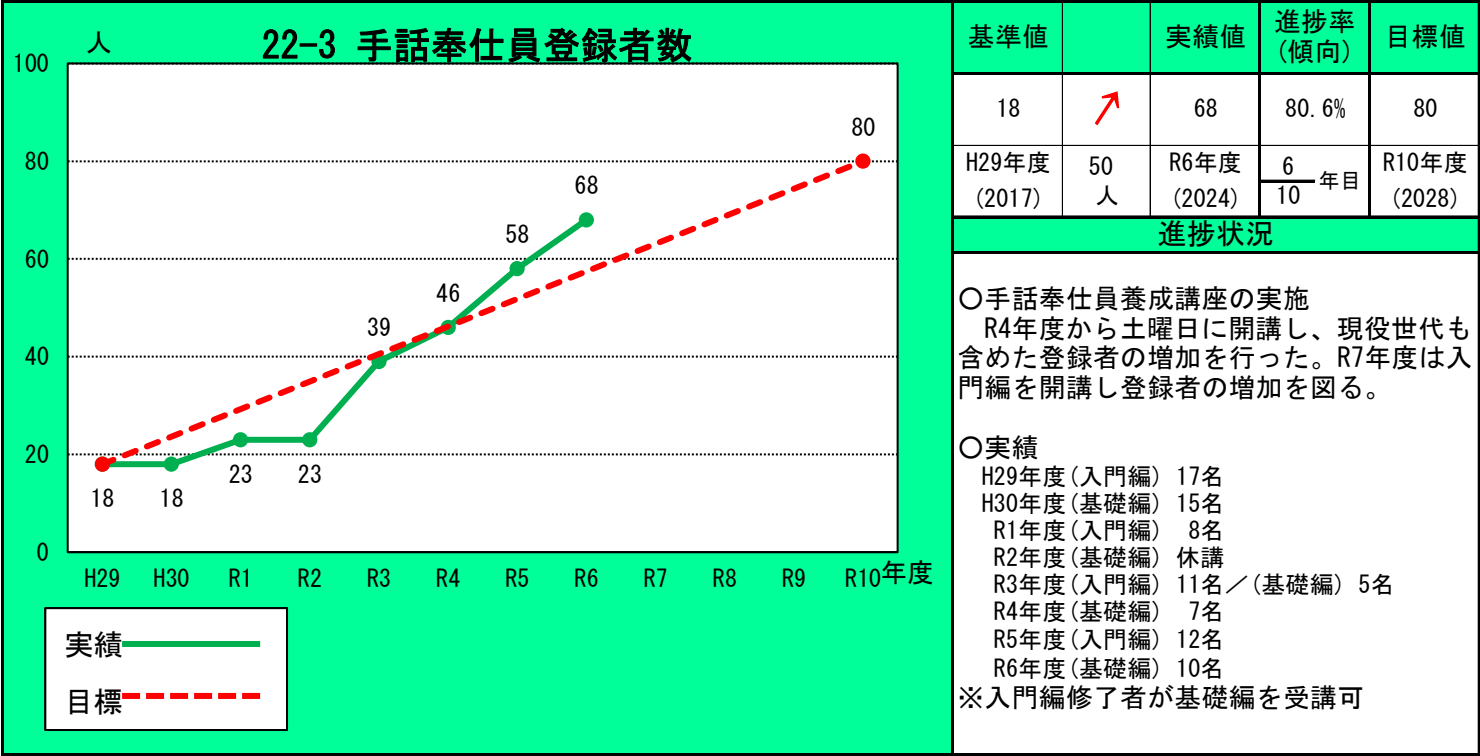
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 安川 彰子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
419	↑	851	152.1%	703
H29年度 (2017)	432件	R6年度 (2024)	1/5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
一般相談は下記の2法人に委託して実施しているが、R6年度の相談件数は851件と前年度より251件減少した。 その主な要因は、生活上の不安についての頻繁な電話相談を受けた件数が減少したことが挙げられる。 ○電話相談件数 950件(R5)→732件(R6) 前年度比▲218件 今後も相談を受ける事業者との情報連携を密にし、障がいのある人のニーズに応じたサービスの案内を行っていく。 <障がい者一般相談事業 委託先> 「おはな」(上牧町内) 社会福祉法人 在友会 ⇒身体・知的 「ぼると・ベル」(斑鳩町内) 社会福祉法人 萌 ⇒精神				

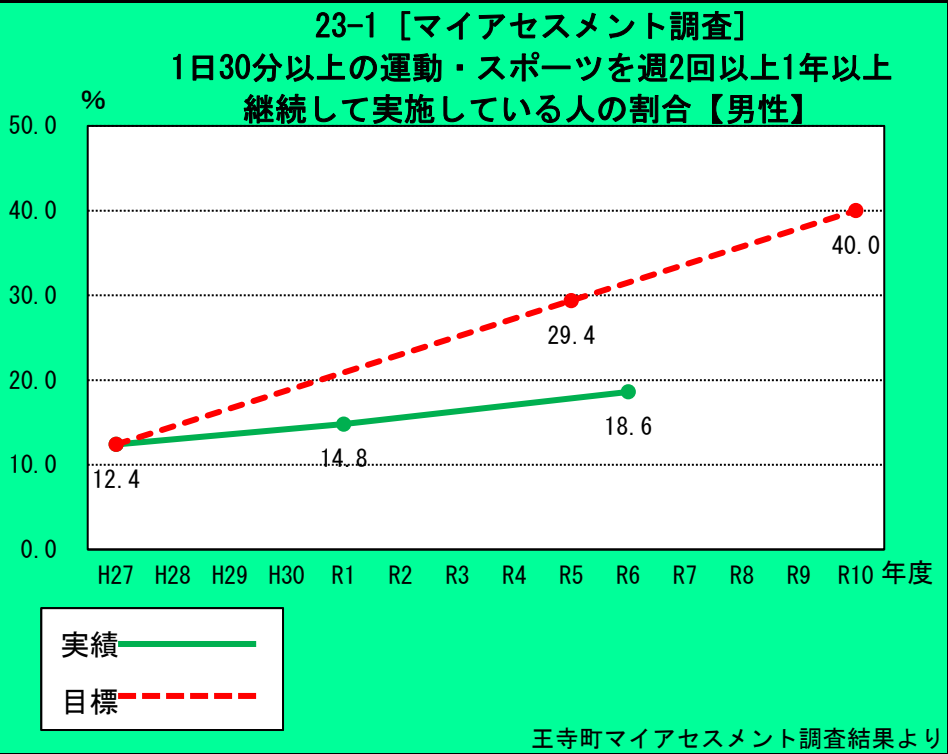
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11) 障がい者支援の充実
具体的施策	(22) 障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

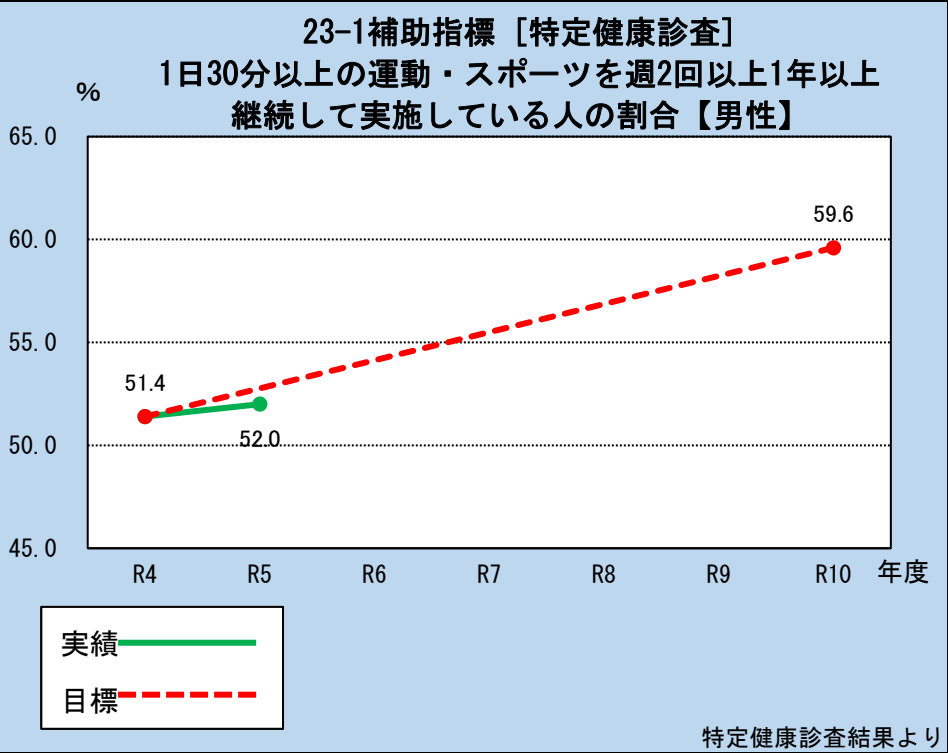
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
12.4	↑	18.6	22.5%	40.0
H27年度 (2015)	6.2 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある男性の割合は増加傾向にある。活動量計の販売やウォーキングロードの整備など歩く健康づくり施策も功を奏したと考えられる。 歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ(DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター)を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行っている。 引き続き、DX推進に関するワーキンググループと連携し、利用可能なツールの情報収集を行う。R7年度は第5次健康づくり計画の策定を予定しており、運動を実施・継続できる取組を検討する。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

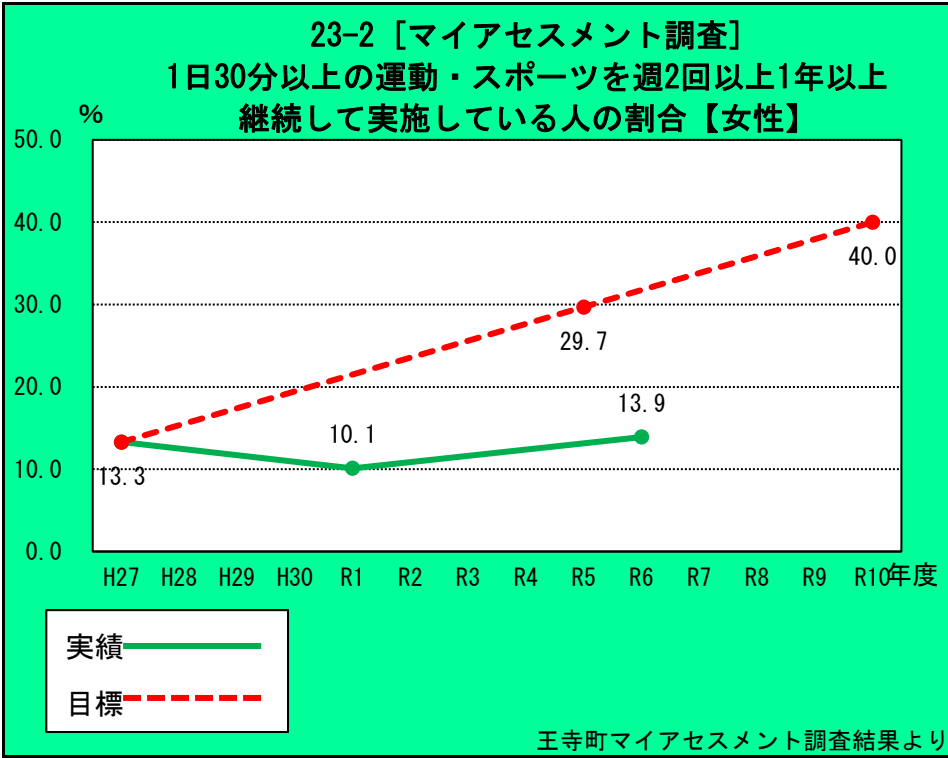
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
51.4	↑	52.0	7.3%	59.6
R4年度 (2022)	0.6 %	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある男性の割合は増加傾向にある。 運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについて広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。ヘルスアップ教室では、今後も男性優先日を設ける等、男性が参加しやすい環境づくりに務めていく。				
※基準値が誤っていたため修正しています。 誤54.2% (R4)→正51.4% (R4)				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

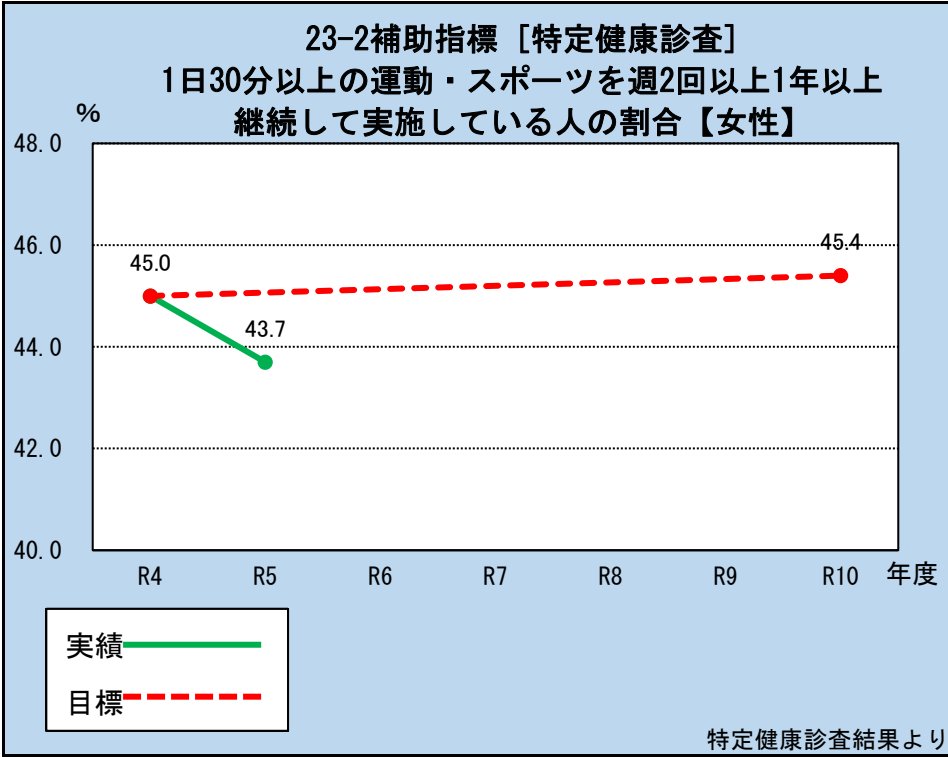
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
13.3	↑	13.9	2.2%	40.0
H29年度 (2017)	0.6 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある女性の割合は、男性より低く、減少傾向にあったが、R6年度では増加している。 歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ（DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター）を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行っている。 引き続き、DX推進に関するワーキンググループと連携し、利用可能なツールの情報収集を行う。R7年度は第5次健康づくり計画の策定を予定しており、運動を実施・継続できる取組を検討する。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

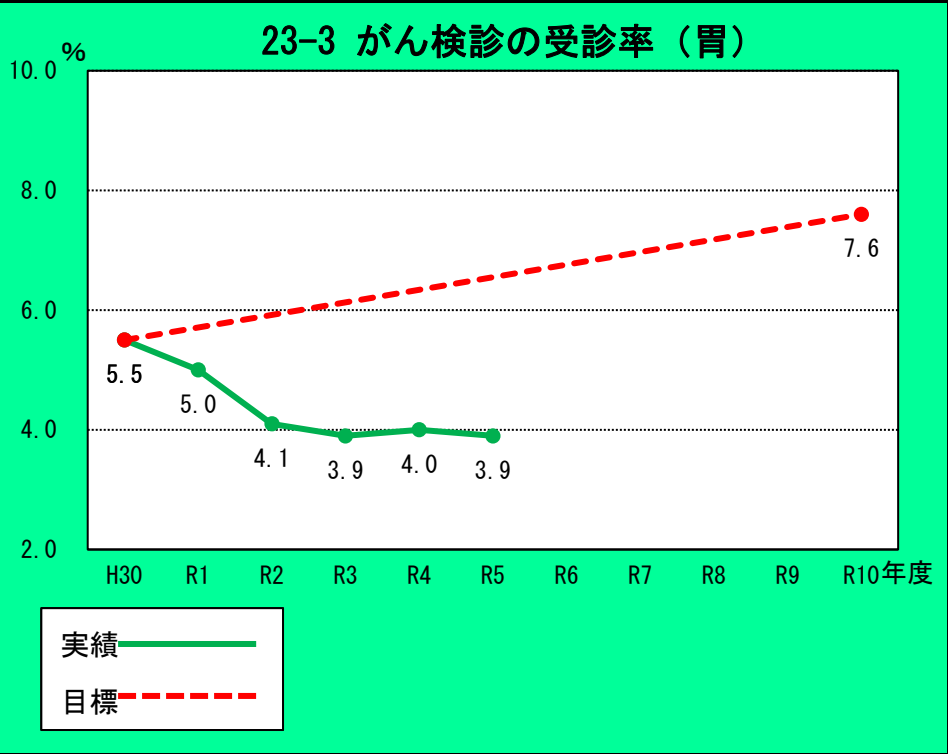
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
45.0	↓	43.7	-325.0%	45.4
R4年度 (2022)	-1.3 %	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある女性の割合は、減少している。 R10年度の目標達成に向けて、運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについて広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。 ※基準値が誤っていたため修正しています。 誤41.3% (R4) → 正45.0% (R4)				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

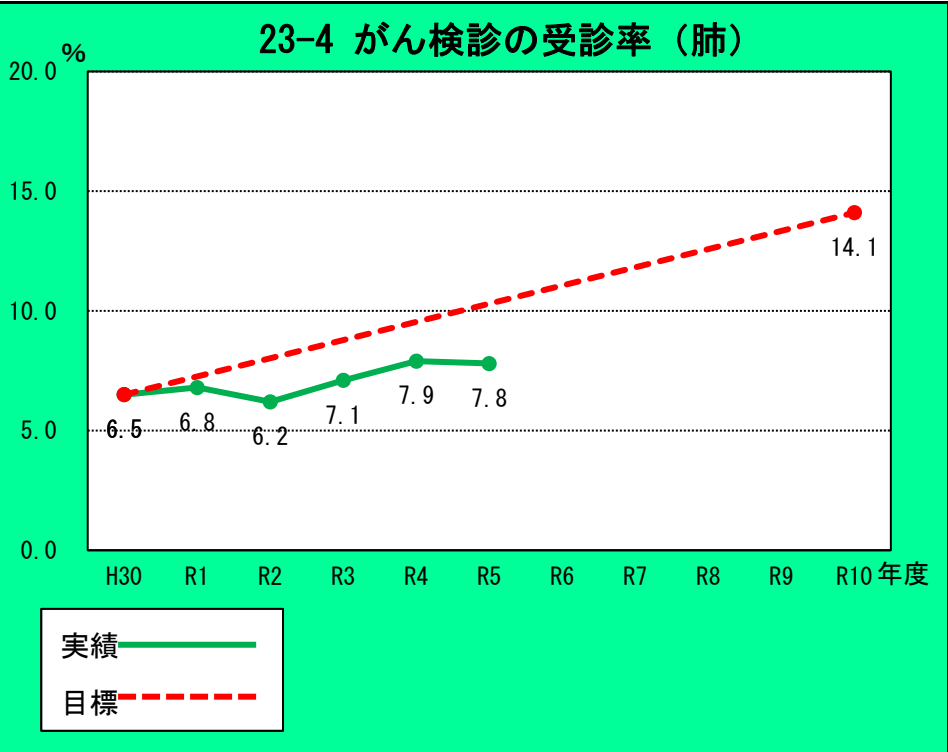
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
5.5	↓	3.9	-76.2%	7.6
H30年度 (2018)	-1.6 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率は減少傾向にあったが、R2年度から横ばい傾向となっている。その理由として、胃がん検診はバリウム又は胃カメラを選択できるが、どちらにしても身体的負担が大きいことやコロナ禍からの受診控えの影響も考えられる。また、胃カメラを受けると次年度はバリウムも胃カメラも受けることができないことも理由と考えられる。 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。				
※受診率＝(町検診前年度受診者+当該年度受診者-前年度・当該年度の2年連続受診者)/当該年度の40歳以上の住民×100 ※参考：R5年度県平均…4.4%				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

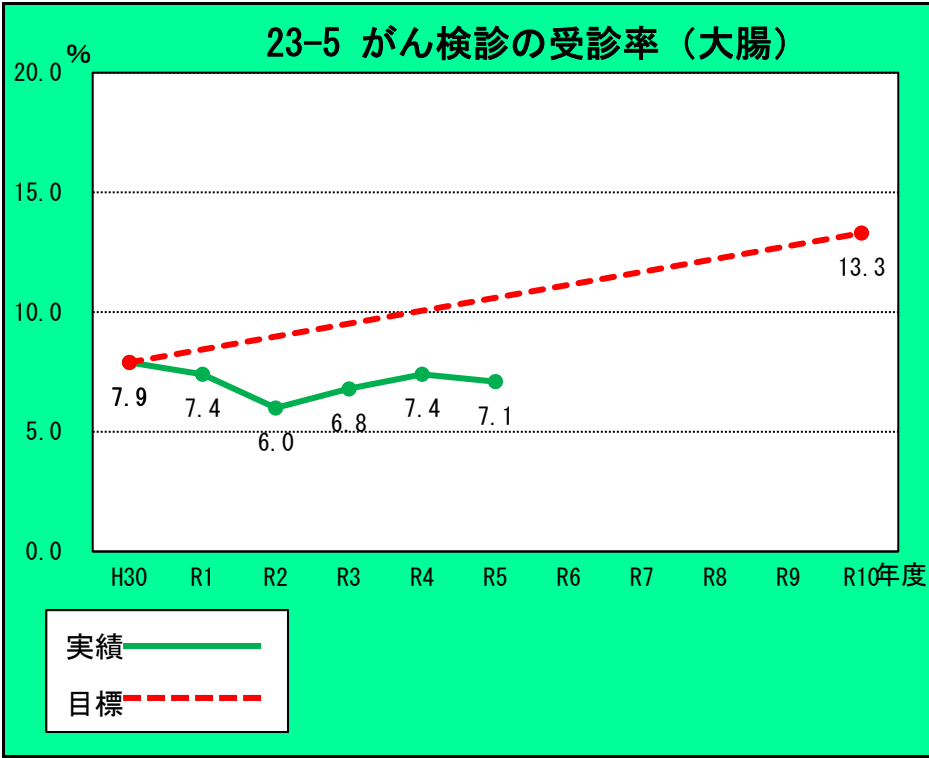
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
6.5	↑	7.8	17.1%	14.1
H30年度 (2018)	1.3 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率はR5年度はR4年度と比べてほぼ横ばいとなっているが、H30年度からは増加傾向にある。 その理由として、H30年度から肺がん健診のコールリコール事業を実施していることが一因と考える。王寺町の死因第1位は悪性新生物で、中でも「気管、気管支及び肺」が最も多いため対象としている。(出典：第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画) 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。				
※受診率＝町検診受診者/40歳以上の住民×100 ※参考：R5年度県平均…4.4%				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

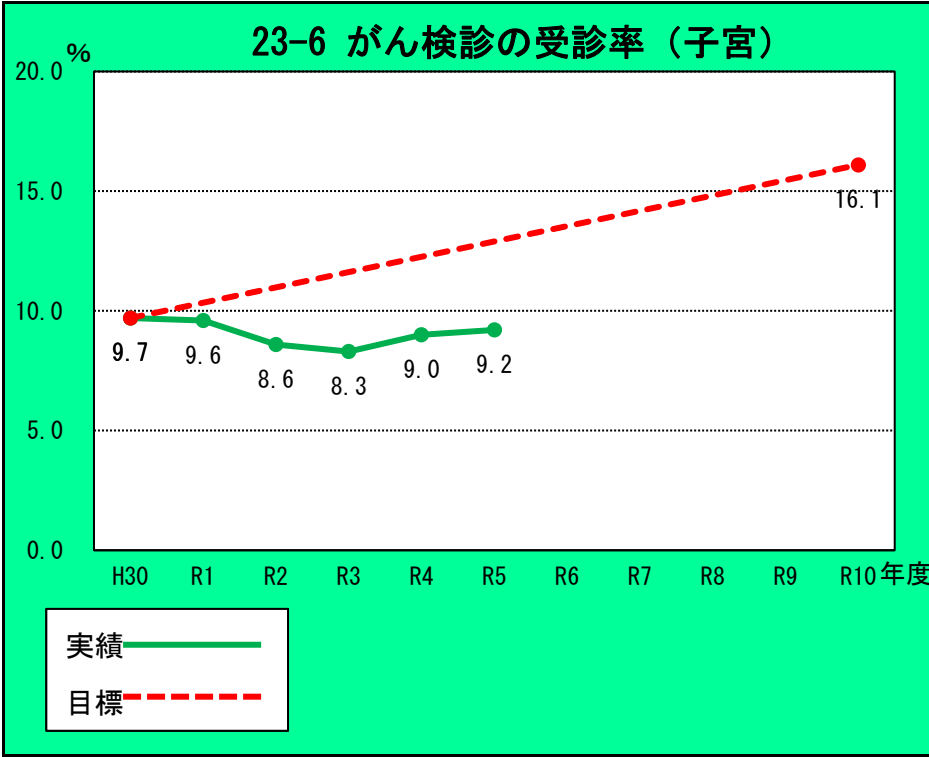
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.9	↓	7.1	-14.8%	13.3
H30年度 (2018)	-0.8 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率はR2年度までは減少傾向となっているが、その後回復し、R5年度はR4年度と比べて微減している。 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。 ※受診率＝町検診受診者/40歳以上の住民×100 ※参考：R5年度県平均…9.2%				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

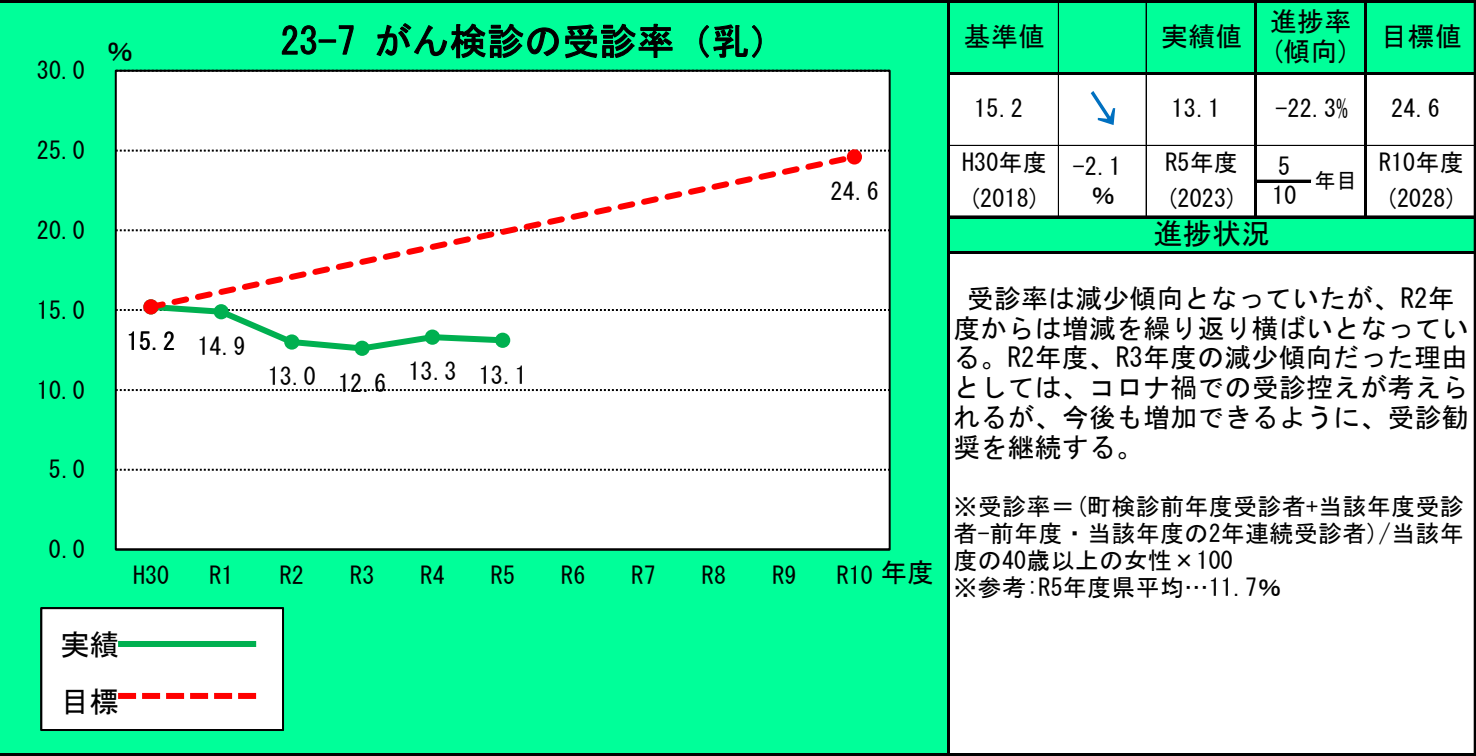
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
9.7	↓	9.2	-7.8%	16.1
H30年度 (2018)	-0.5 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率は減少傾向となっていたが、R4年度以降は増加している。R2年度、R3年度の減少傾向だった理由としては、コロナ禍での受診控えが考えられるが、今後も増加傾向が維持できるように、受診勧奨を継続する。 ※受診率＝(町検診前年度受診者+当該年度受診者-前年度・当該年度の2年連続受診者)/当該年度の20歳以上の女性×100 ※参考：R5年度県平均…10.9%				

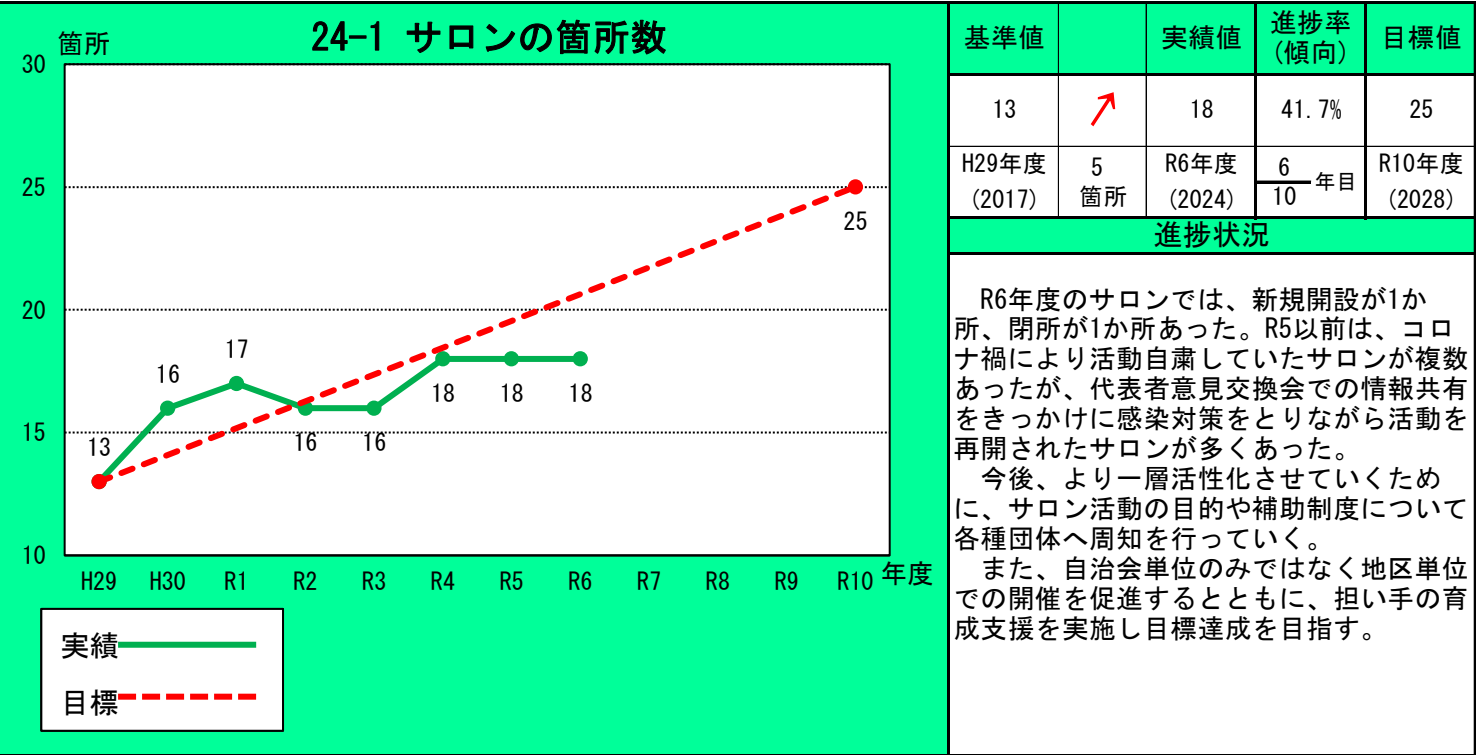
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



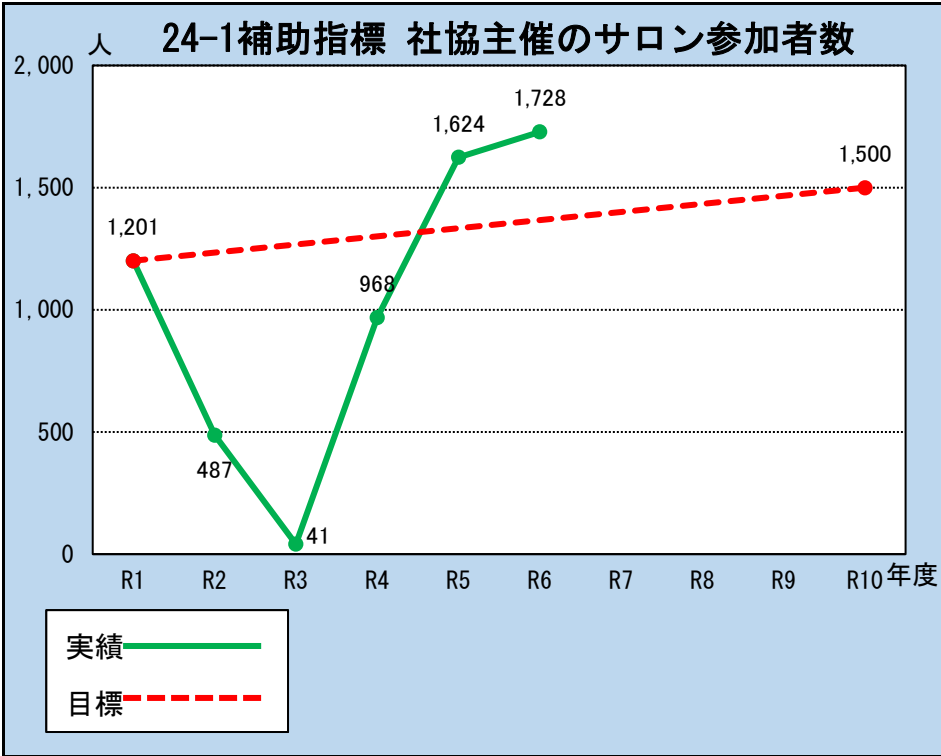
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

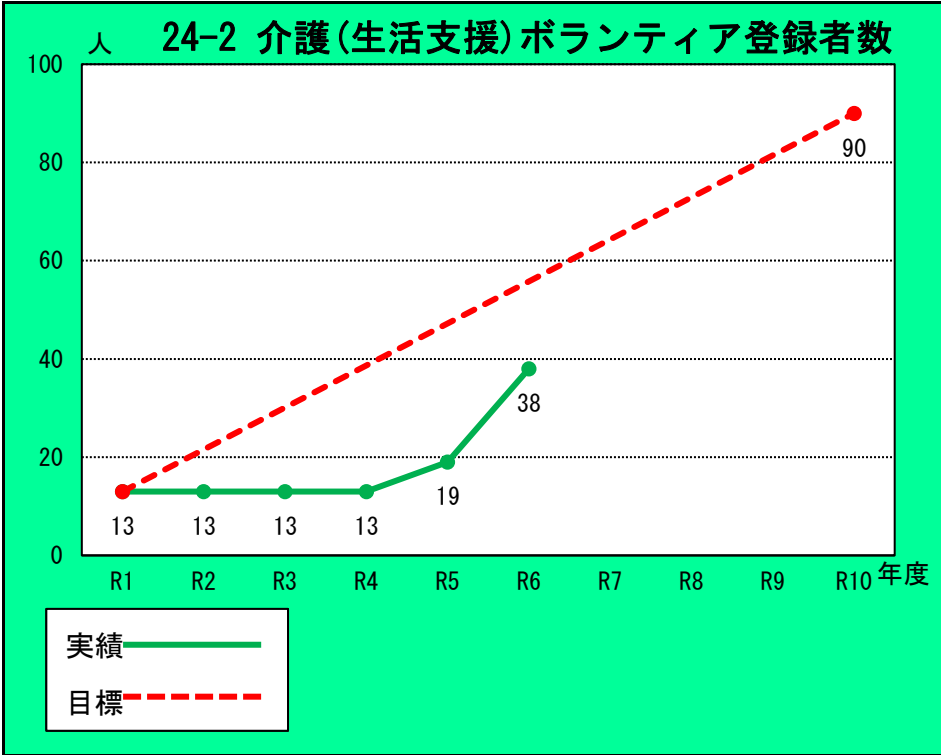
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
1,201	↑	1,728	176.3%	1,500
R1年度 (2019)	527 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
○社協主催サロン（サロンやすらぎ）の参加者数				
R1年度 1,201人 R2年度 487人				
R3年度 41人 R4年度 968人				
R5年度 1,628人 R6年度 1,728人				
○参考：サロン活動参加者数(延べ)				
H29年度 5,818人 H30年度 5,550人				
R1年度 5,482人 R2年度 1,056人※				
R3年度 495人※ R4年度 2,624人				
R5年度 4,856人 R6年度 4,762人				
※コロナ禍に伴い、R2年度は8箇所(半年間)、R3年度は5箇所の開催であった。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

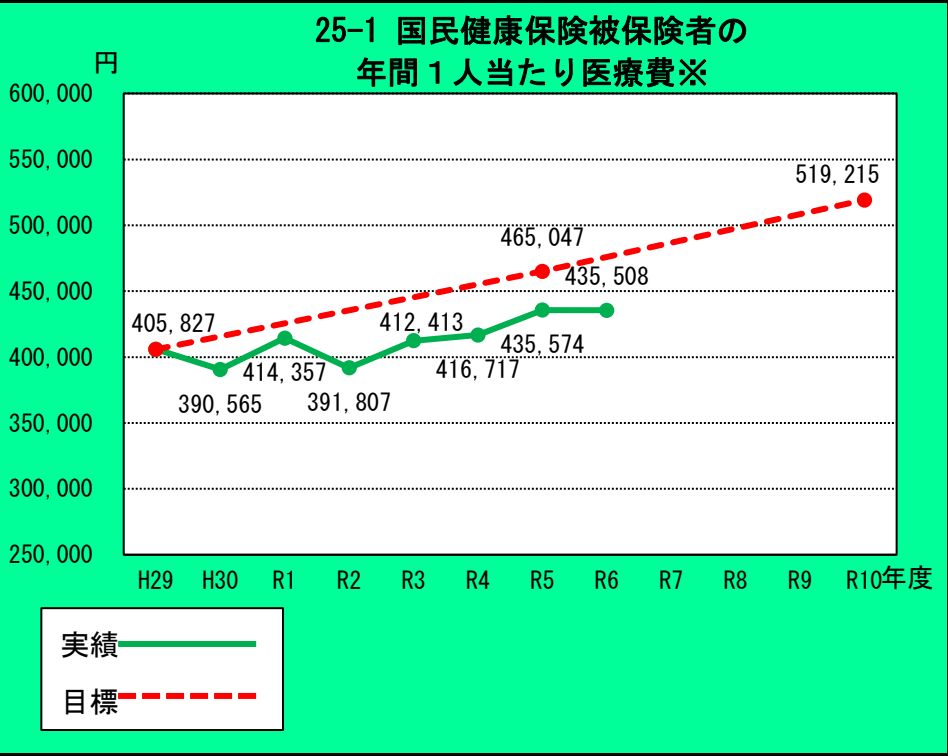
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
13	↑	38	32.5%	90
R1年度 (2019)	25 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
介護(生活支援ボランティア)養成講座は、R2～4年度はコロナ禍により休講したが、R5年度から再開し、R5年度に6名の参加があった。				
R6年度には傾聴ボランティア入門講座を実施し、19名が受講された。R7年度も継続して開講予定。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25) 国民健康保険

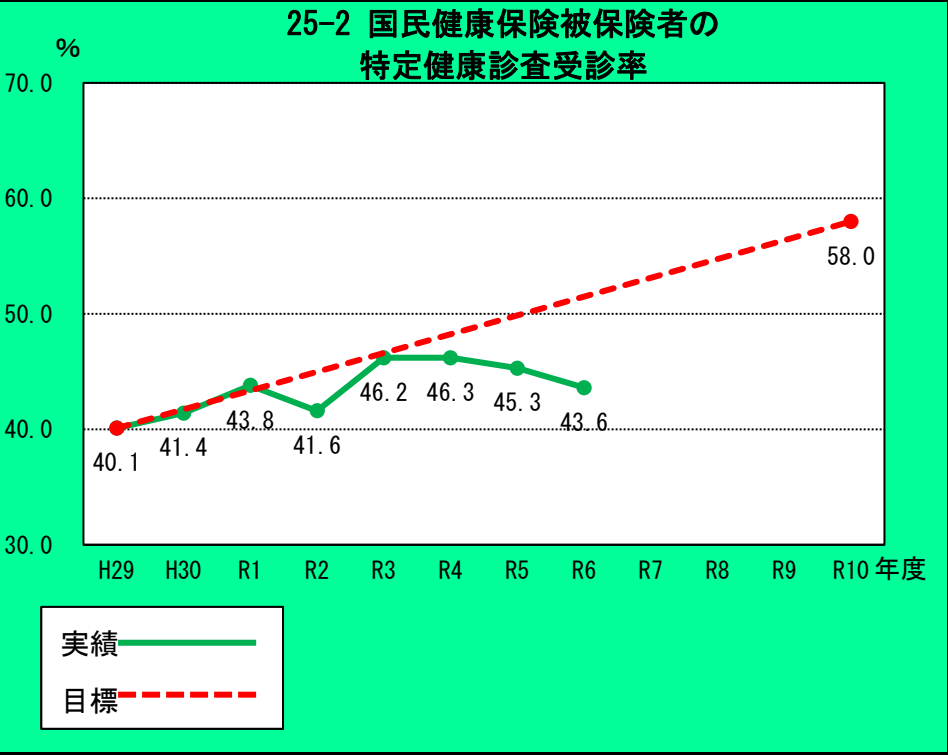
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 大崎 真由美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
405,827	↑	435,508	119.2%	519,215
H29年度 (2017)	29,681 円	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
国民健康保険被保険者の年間1人当たりの医療費は、昨年度よりわずかであるが減少した。 引き続き第3期データヘルス計画の期間 (R6～R11年度の6年間) において、糖尿病性腎症重症化予防事業やジェネリック医薬品の利用促進、重複・多剤投薬者への注意喚起を継続して実施することで、被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を図っていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25) 国民健康保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 大崎 真由美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
40.1	↑	43.6	19.6%	58.0
H29年度 (2017)	3.5 %	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の受診率(暫定値)は43.6%で、前年度同時期の暫定値と比較して、1ポイント減少した。R2年度のコロナ禍での受診控えからR3年度に回復し上昇がみられたが、R5年度からは減少傾向となっている。大きな要因は、受診率の高い高齢の被保険者が後期高齢者医療へ移行したことにあるが、若年層の受診率向上も課題である。 R6年度からは、人間ドック費用の一部助成の対象年齢を40歳以上から35歳以上に引き下げ、助成額を拡大した。(補助率1/2→10/10、上限2万円。※35歳から70歳までの5歳刻みでの節目年齢の方は上限3万円) 今後も受診勧奨やPRを強化し、受診率向上に努めていく。				

5 人を育みみんなが学べるまちづくり

数値目標

5(1) 合計特殊出生率

K P I

具体的施策26 子育て支援

- 26-1 子育て広場の年間利用者数(延べ)
- 26-2 補助指標「日常の育児の相談相手」がいない保護者の割合【乳幼児健診】
- 26-3 「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【義務教育学校1～6年生(小学生)児童を持つ保護者】

具体的施策27 母子保健

- 27-1 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【4か月児の親】
- 27-2 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【3歳6か月児の親】
- 27-3 夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合

具体的施策28 保育環境

- 28-1 保育園入所待機児童数
- 28-2 保育サービスに関する満足度
- 28-2 補助指標 保育サービスに関する満足度【3歳6か月児健診時アンケート】

具体的施策29 就学前教育

- 29-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合
- 29-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合

具体的施策30 学校教育

- 30-1 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【国語】
- 30-2 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【数学】
- 30-3 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【英語】

30-3 補助指標 総合学力調査(9年生(中3))

IRT 平均到達スコア【英語】

30-4 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))の「規範意識」

30-5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【男子】

30-6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【女子】

具体的施策31 生涯学習

- 31-1 生涯学習施設の利用者数
- 31-2 住民1人当たりの図書貸出冊数

具体的施策32 青少年健全育成

- 32-1 青少年リーダー(中高生)の登録者数
- 32-2 地域の行事に参加している6年生の割合
- 32-3 地域の行事に参加している9年生の割合

具体的施策33 文化財

- 33-1 国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数
- 33-2 観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数

具体的施策34 芸術・文化活動

- 34-1 町主催の文化事業の来場者数
- 34-2 「音楽のあるまちづくり」団体加入者数

具体的施策35

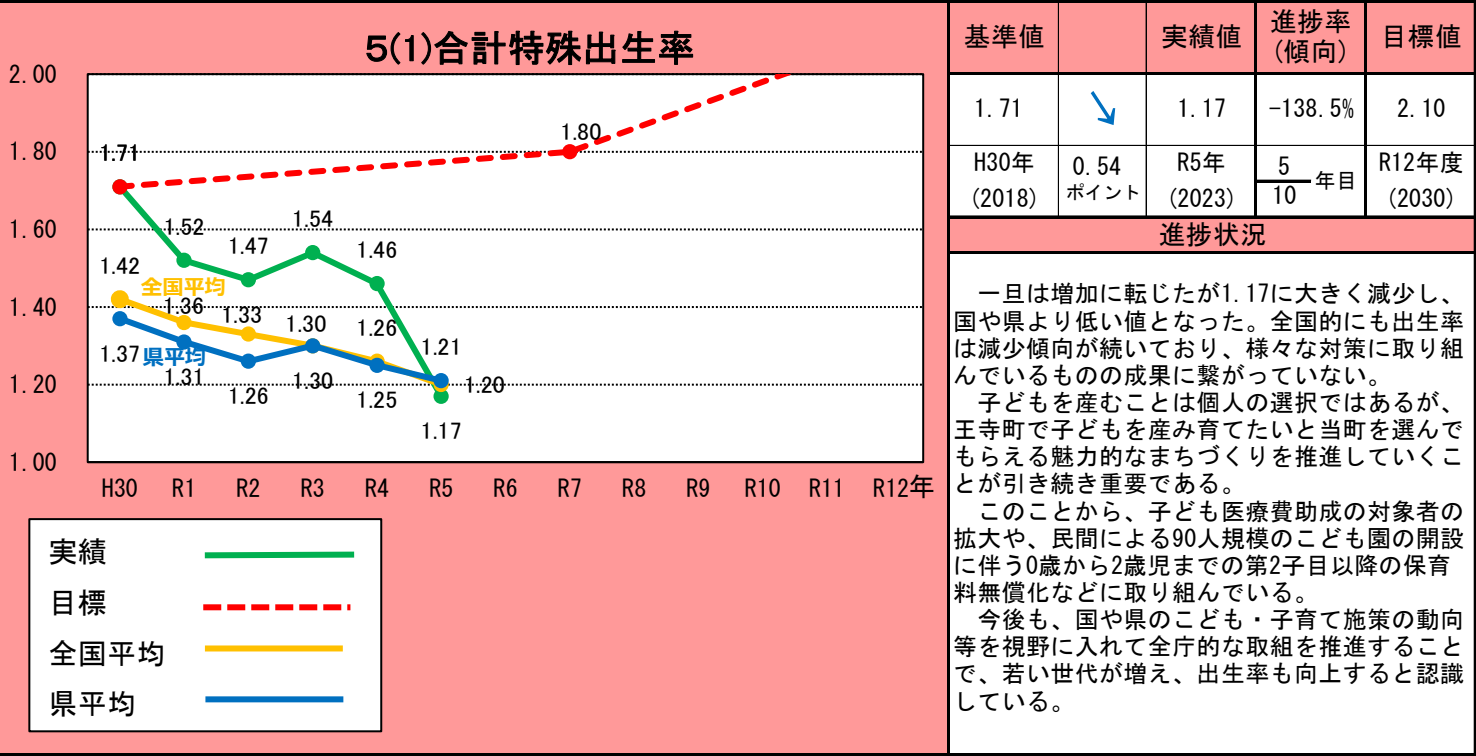
スポーツ・レクリエーション

- 35-1 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数
- 35-2 町内体育施設の年間利用者数

数値目標

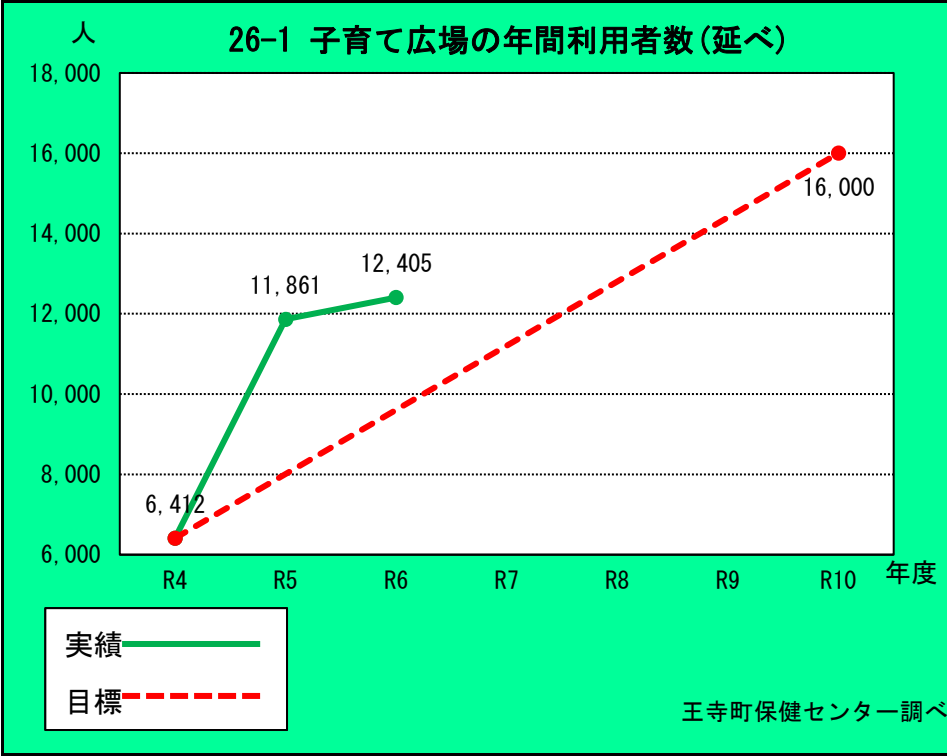
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

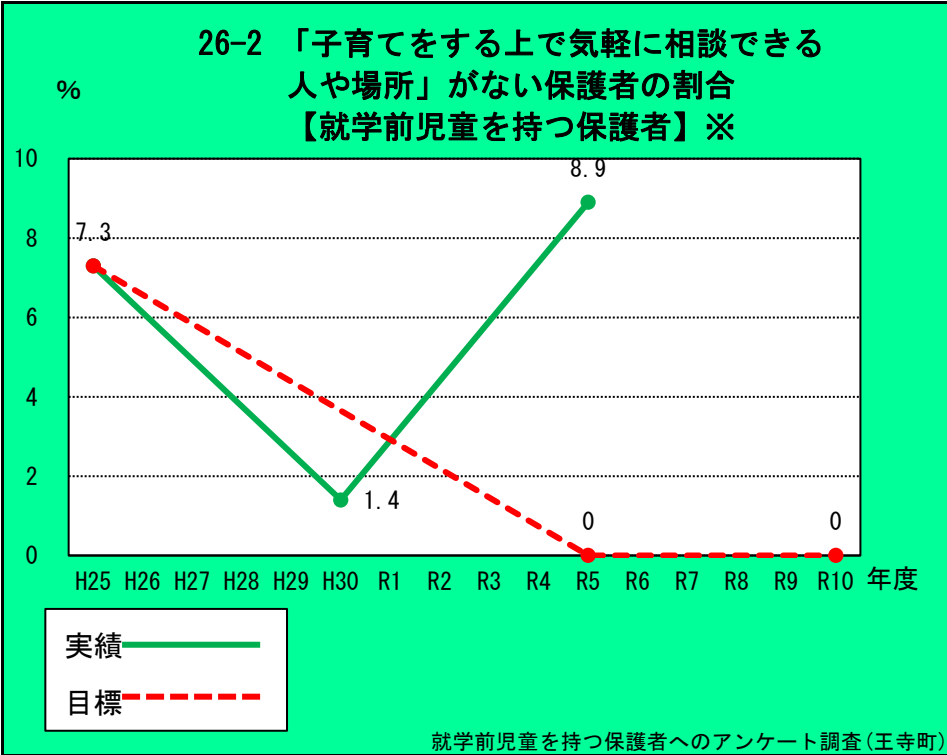
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
6,412	↑	12,405	62.5%	16,000
R4年度 (2022)	5,993 人	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍を脱し、R5年度より定員を拡大した。R6年度からはさらに定員を拡大し8月からは予約制も廃止したため利用者は増加傾向にある。お誕生日会や「作ってあそぼう」「絵本のひろば」も実施しており、利用者は楽しんで参加されている。 また、保健師や専門職による子育て相談等を随時実施している。個別相談が必要な親子には、広場以外でも保健師等から積極的に電話や訪問をして対応している。 ○R4年度の子育て広場中止状況 ・R4年1月20日～R4年5月22日の間 ・R4年7月23日～9月19日の間				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康・子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子

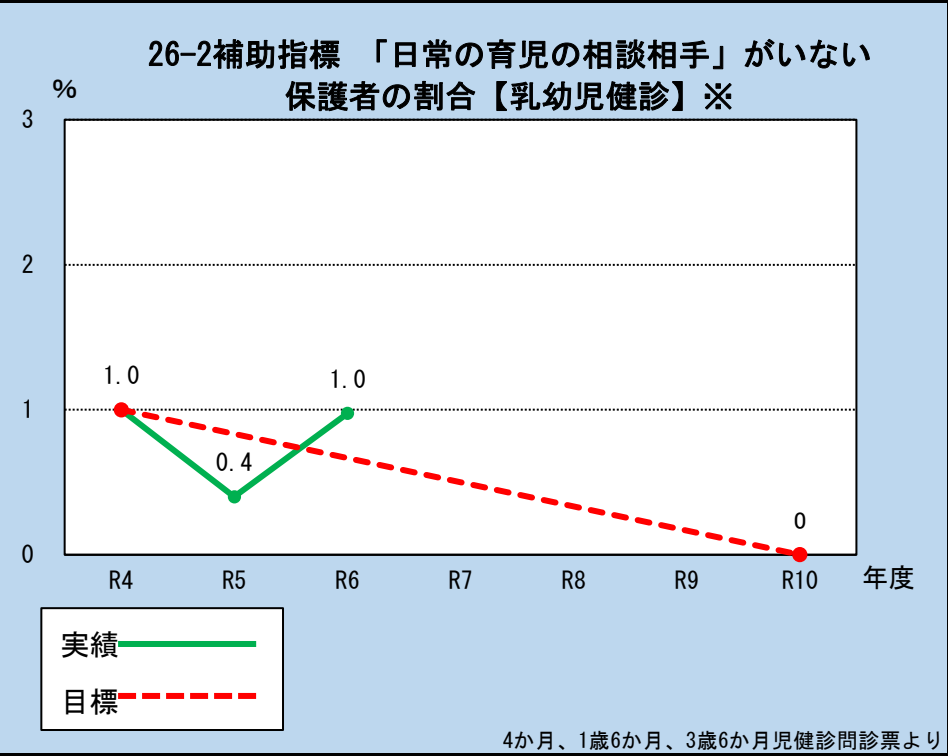


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.3	↑	8.9	-21.9%	0
H25年度 (2013)	1.6 %	R5年度 (2023)	$\frac{5}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度のこども・子育てに関するニーズ調査結果では、前回より、相談できる人や場所のない保護者の割合が増加した。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。 R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して一体的に相談支援を実施する、こども家庭センターを新たに開設し、子育てに困難を抱える家庭等を支援している。また、保健センターで実施している子育て広場(すくすく広場)においても、引き続き子育て相談を実施し、「相談先がない」人を減らせるよう取り組んでいく。				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

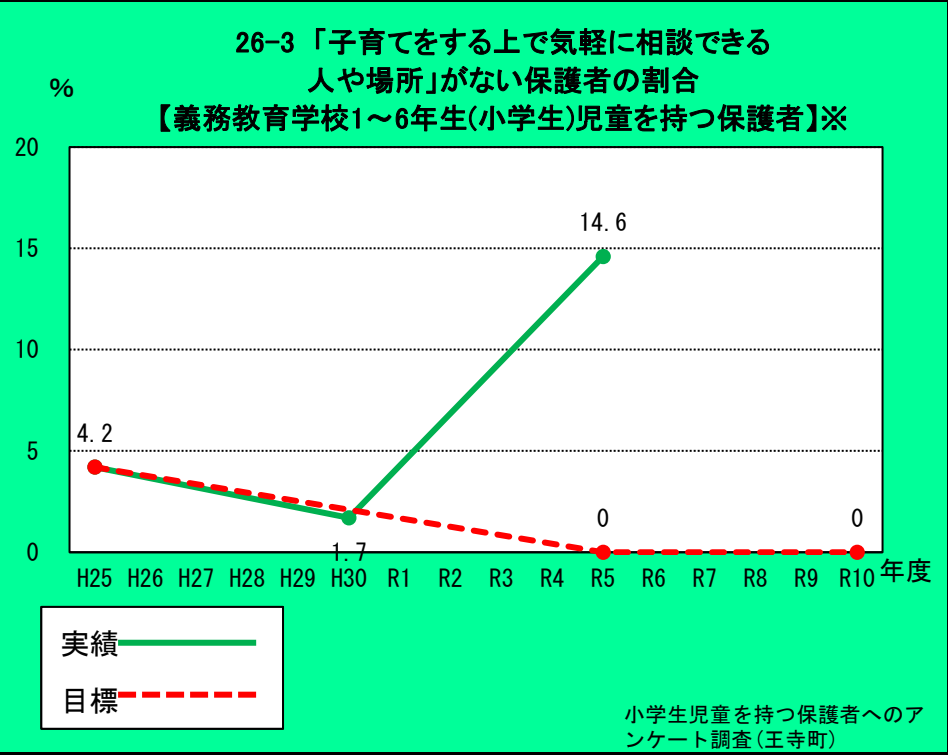
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
1.0	→	1.0	2.5%	0
R4年度 (2012)	0.0 %	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
日常の育児の相談相手がない保護者の割合は、ほぼ0%とも言える低い水準を保っており、R5年度は減少したが、R6年は微増した。 保健センターの事業(子育て広場や子育て教室など)が交流の場となっているほか、妊娠初期からも継続的な関わりを提供しており、気軽に子育てについて相談できる関係性を構築している。 今後も妊娠期からの切れ目ない支援を継続し、必要な子育て支援策を提案していく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

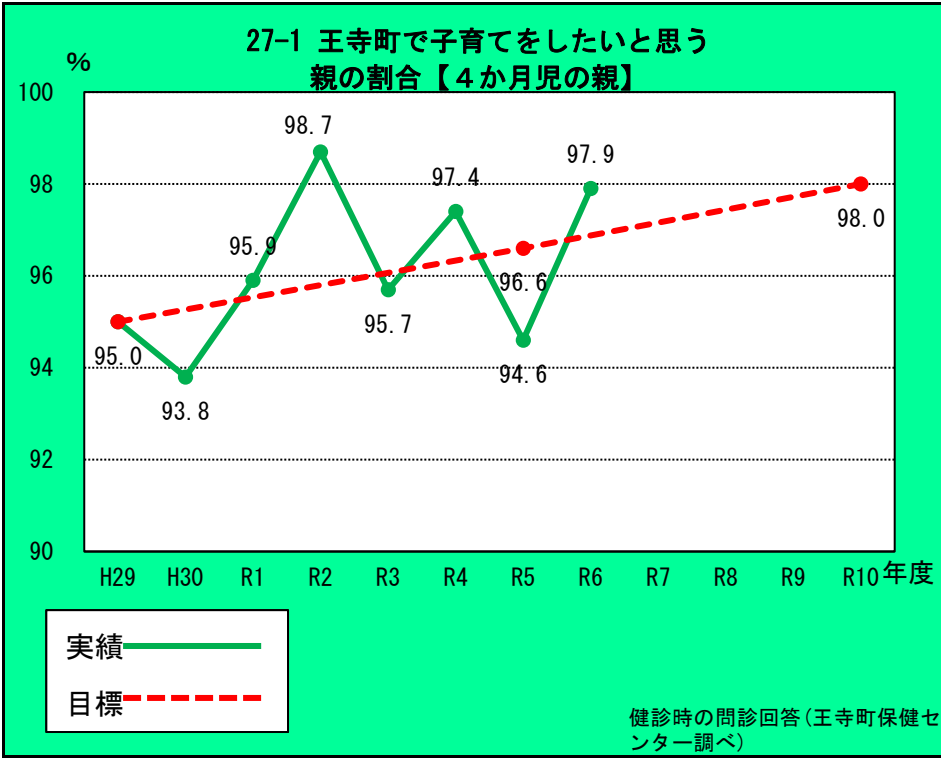
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
4.2	↑	14.6	-247.6%	0
H25年度 (2013)	10.4 %	R5年度 (2023)	$\frac{5}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度のこども・子育てに関するニーズ調査結果では、前回より、相談できる人や場所のない保護者の割合が増加した。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。 R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して一体的に相談支援を実施する、こども家庭センターを新たに開設し、子育てに困難を抱える家庭等を支援している。また、保健センターで実施している子育て広場(すくすく広場)においても、引き続き子育て相談を実施し、「相談先がない」人を減らせるよう取り組んでいく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

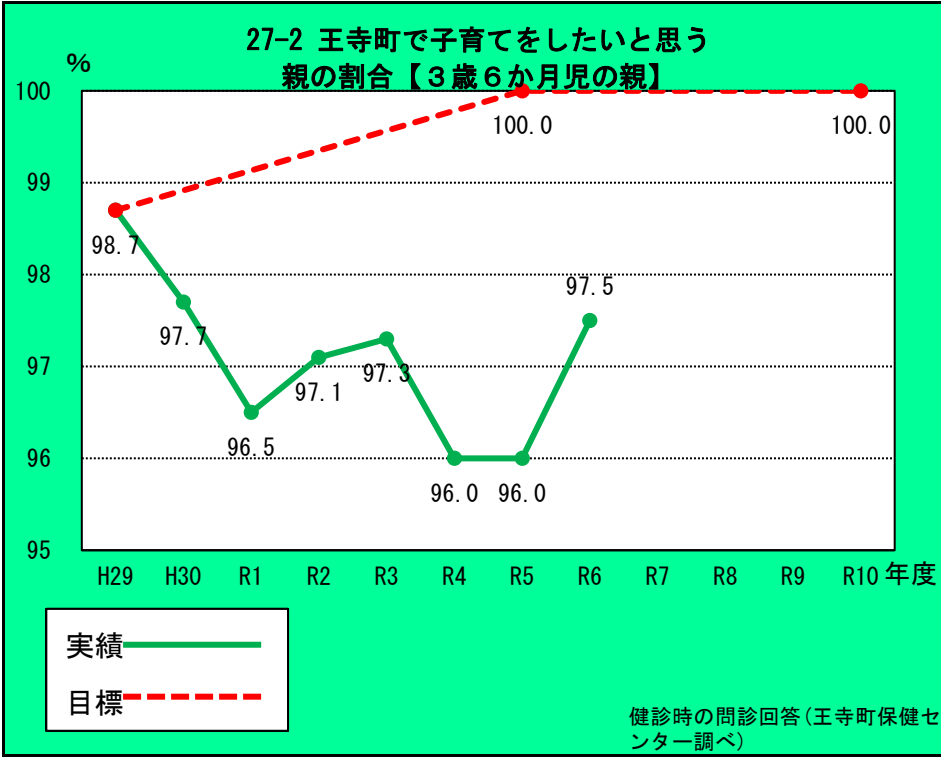
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
95.0	↑	97.9	96.7%	98.0
H29年度(2017)	2.9%	R6年度(2024)	6/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は、多少の増減はあるものの、高い水準を保っており、R6年度はR5年度より増加している。 保健センターで実施している事業(任意接種費用助成[おたふくかぜ・子どもインフルエンザ]、不育治療費助成等)だけでなく、在園第2子目の保育料減免(R7年度からは第2子目以降の保育料完全無償化)や町立幼稚園の預かり保育の実施等、子育て施策を推進してきた結果と考える。 今後も現状値が維持できるよう、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

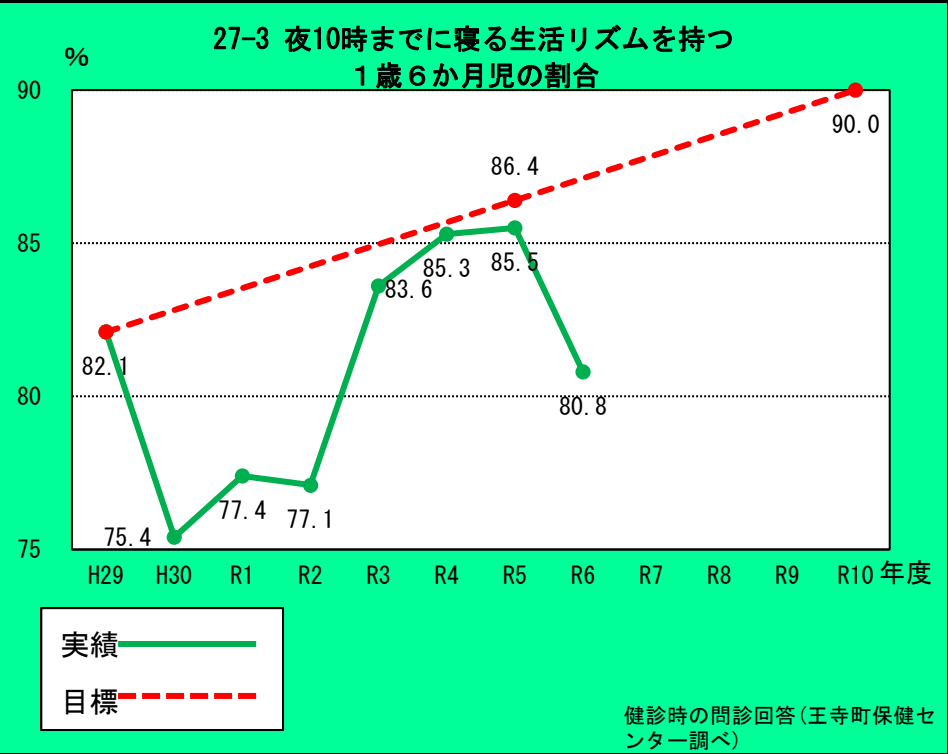
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
98.7	↓	97.5	-92.3%	100
H29年度(2017)	-1.2%	R6年度(2024)	6/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は非常に高く、H29年度より減少したもののかかなり高い水準となっており、R6年度はR5年度より増加している。 保健センターで実施している事業だけでなく、町全体で実施している子育て施策を推進してきた結果と考える。 子どもが成長するに伴い子育ての悩み等も多様化していくため、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

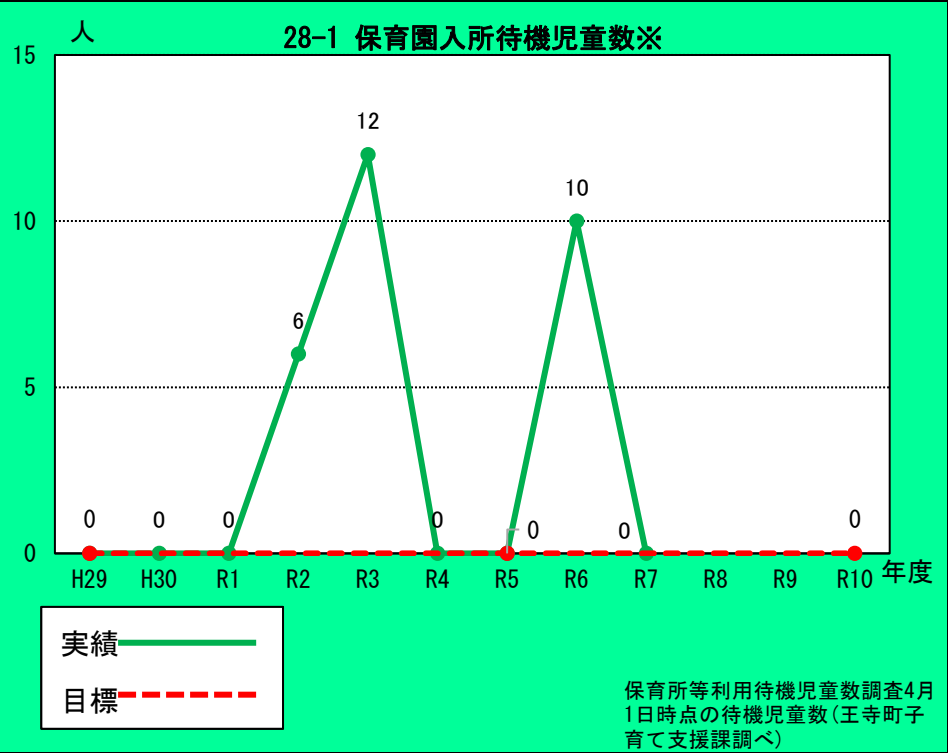
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
82.1	↓	80.8	-16.5%	90.0
H29年度 (2017)	-1.3 %	R6年度 (2024)	$\frac{6}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
夜10時までに寝る生活リズムを持つ子どもの割合は近年増加傾向にあったが、R6年度は減少している。 減少した背景には、共働きの増加により保育園等からの帰宅が遅くなると、夕食や入浴時間が遅くなり、その結果就寝時間も遅くなる傾向があると考えられる。 正しい生活リズムは子どもの発育・発達にとって重要であるため、今後も、乳幼児健診や母子教室の機会を通して、子どもの成長には規則正しい生活リズムが大切であることに加え、幼児期の生活リズムは親が形成していくものであることを含めて啓発を続けていきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子

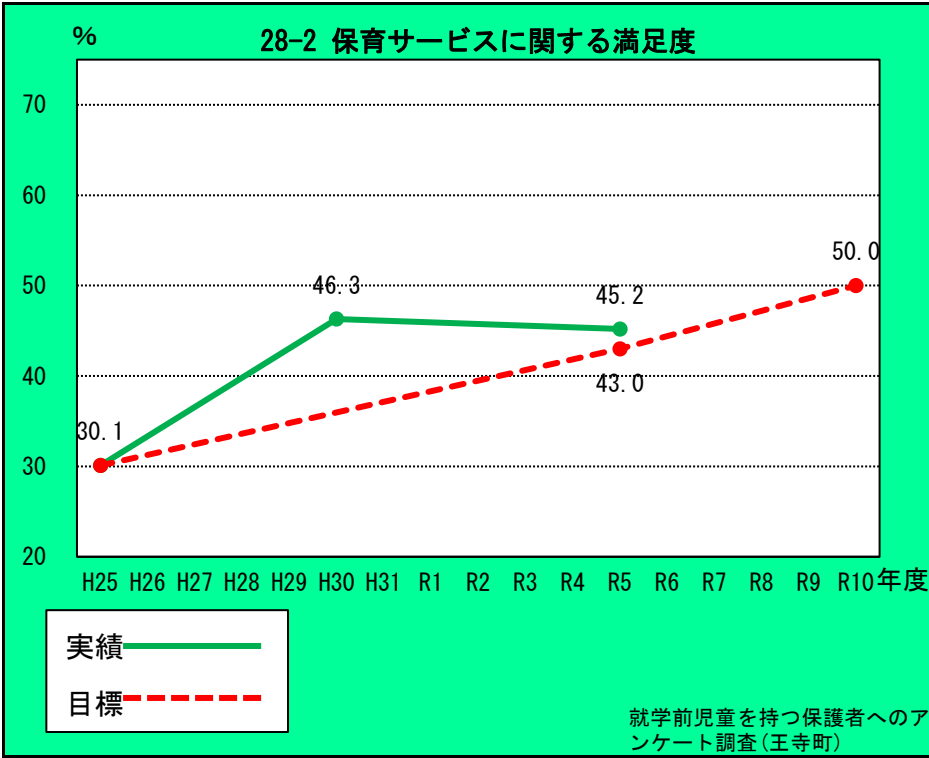


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	→	0	—	0
H29年度 (2017)	0 人	R7年度 (2025)	$\frac{7}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R7年度は待機児童数は0人となった。 国のこども・子育て政策の強化(加速化プラン)や女性の就業率の増加による保育ニーズの増加に対応するため、R7年4月に定員90人の民間の認定こども園を開園したことが大きな要因である。 引き続き、待機児童を出さないよう町内の私立保育所等と園児の受入等について連携する。 また、保育士確保対策として、民間保育所等の常勤保育士への処遇改善(給与加算)をR6年度から実施しており、引き続き待機児童対策に取り組んでいく。				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

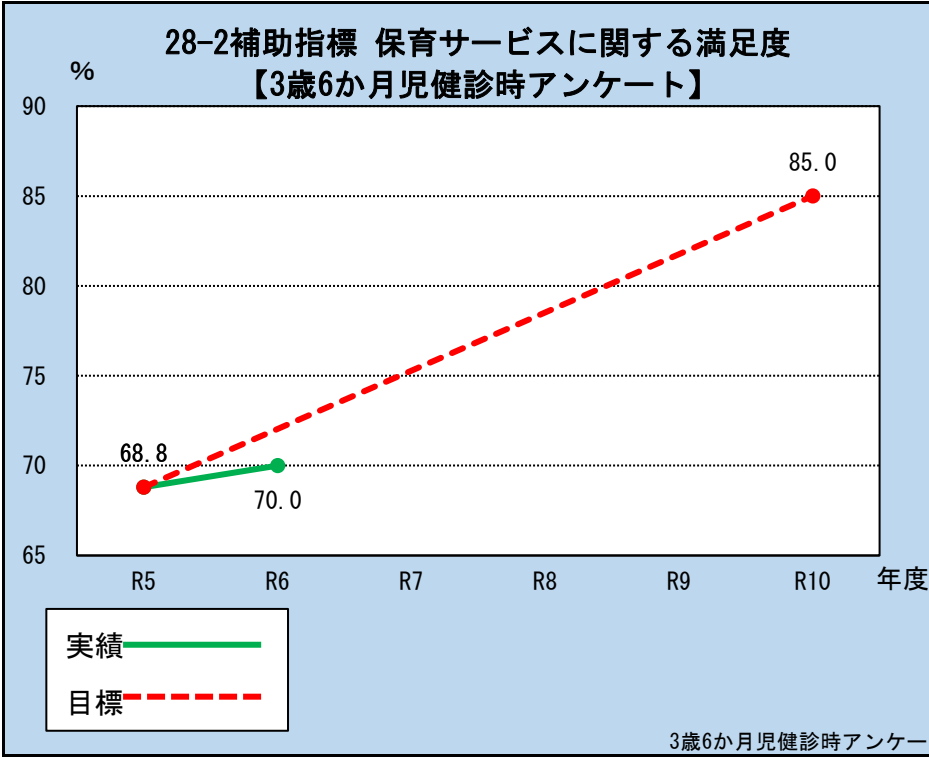
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
30.1	↑	45.2	75.9%	50.0
H25年度 (2013)	15.1 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
前回調査時の満足度と比較すると、少し減少しているが、R5年度の目標値はクリアできている。 補助指標として実施している3歳6か月児健診時の保育サービスに関する満足度のアンケート結果では、70.0%(R6年度)となっている。 R7年4月には民間の認定こども園の開園と、それに合わせて第2子目以降(0~2歳児)の保育料完全無償化、病児保育の委託先(ぽっぽ)の追加を行いサービスの拡充を図っている。R7年10月からは町立学童保育の民間委託も予定しており、更なるサービスの向上を目指している。 引き続き、満足度の向上に向けて取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

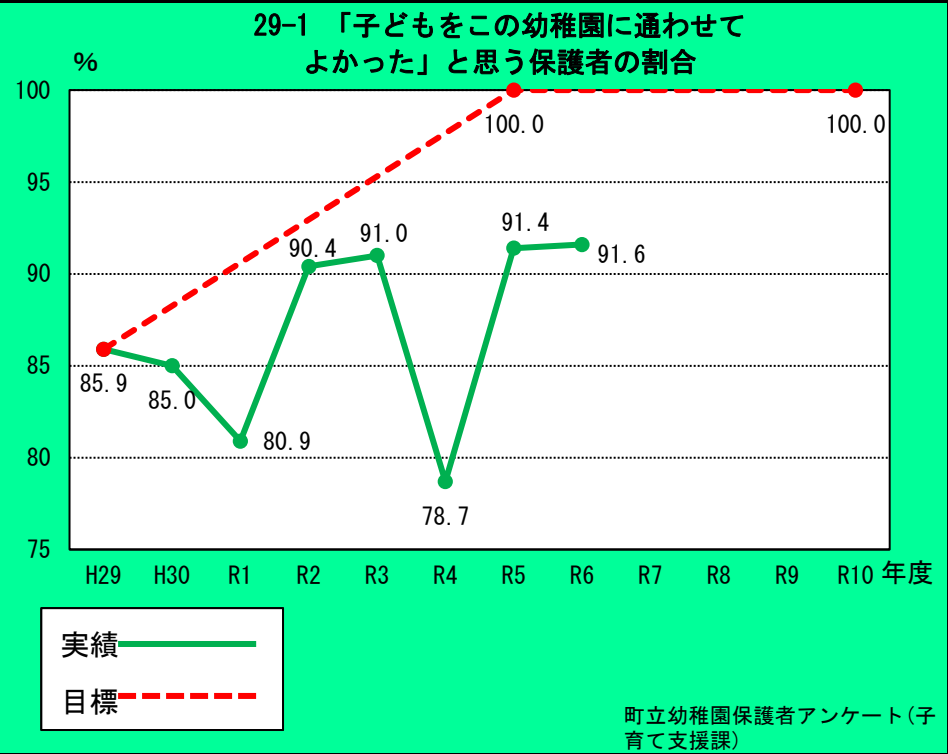
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
68.8	↑	70.0	7.4%	85.0
R5年度 (2023)	1.2 %	R6年度 (2024)	1 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の満足度は70.0%で、前年度より1.2ポイント上昇したが、目標値の達成にはならなかった。 R7年4月には民間の認定こども園の開園と、それに合わせて第2子目以降(0~2歳児)の保育料完全無償化、病児保育の委託先(ぽっぽ)の追加を行いサービスの拡充を図っている。R7年10月からは町立学童保育の民間委託も予定しており、更なるサービスの向上を目指す。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(29) 就学前教育

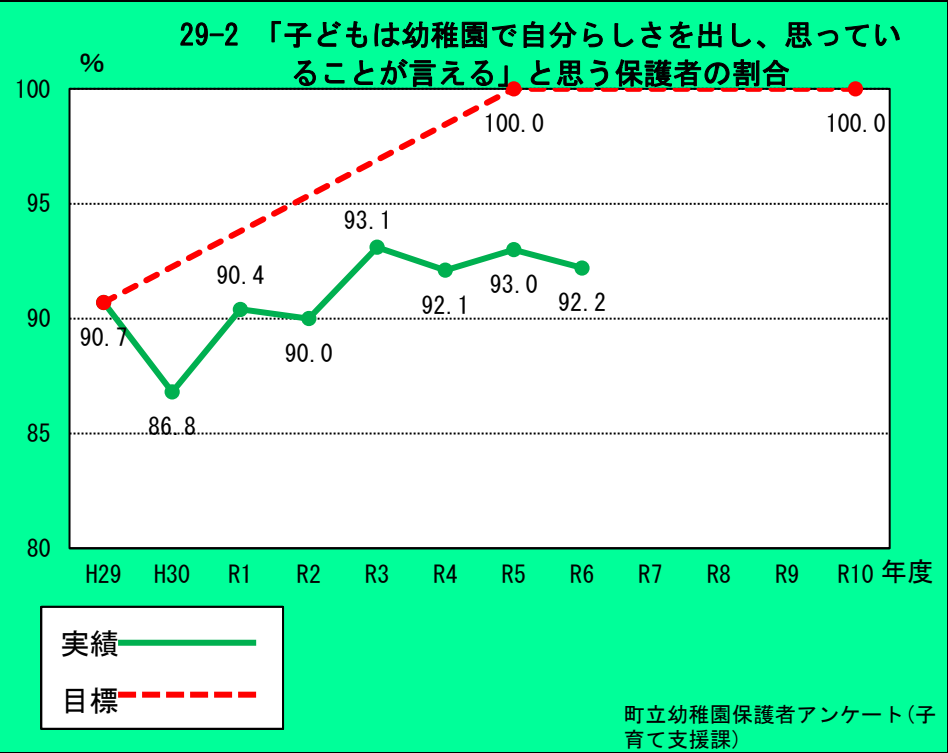
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
85.9	↑	91.6	40.4%	100
H29年度(2017)	5.7%	R6年度(2023)	6/10 年目	R10年度(2028)
進捗状況				
昨年度と比較すると0.2ポイント上昇したが、ほぼ横ばいで推移している。 幼児一人ひとりの姿を園全体で把握することを丁寧に行って幼児理解を深め、幼児が安心して自己発揮できる環境を職員一丸となって整えてきたこと等により、保護者が信頼し、安心して通園させることに繋がった。 引き続き、家庭や地域との連携を図り、信頼される園づくりに努め、目標値の達成に向け取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(29) 就学前教育

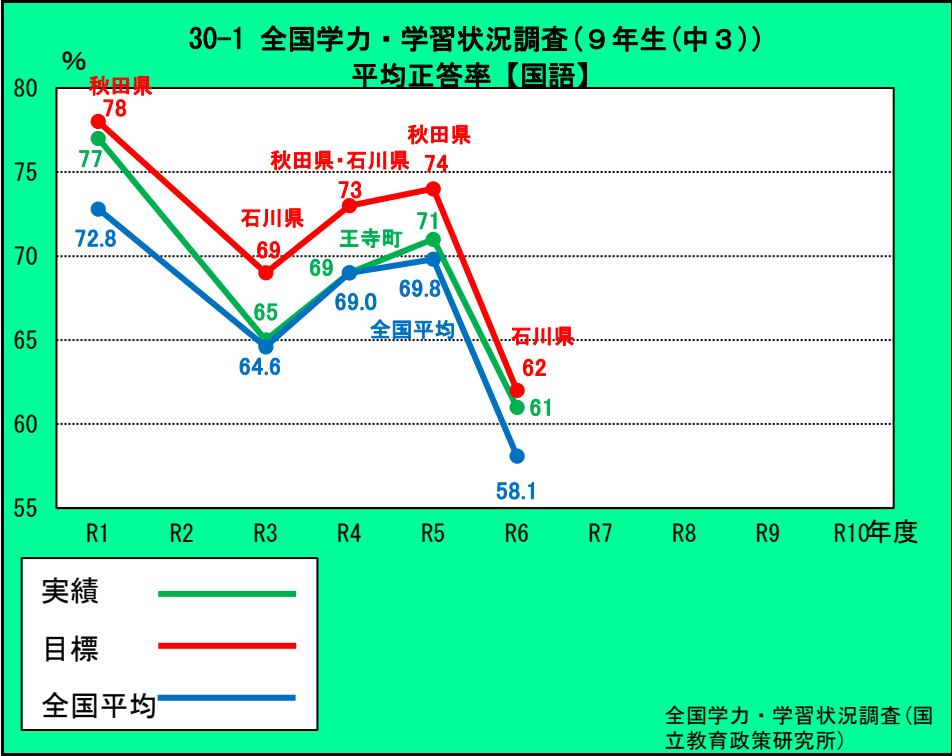
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
90.7	↑	92.2	16.1%	100
H29年度(2017)	1.5%	R6年度(2024)	6/10 年目	R10年度(2028)
進捗状況				
昨年度実績から0.8ポイント減少した。 園では、幼児が教師や友達と信頼関係を築き、安心して園生活を送ることを基礎とし、発達段階に応じた取組を進めてきた。 また、個人懇談等の機会を通じて、個々の幼児の周囲との関わり方、育ちや課題について保護者と確認し合い、理解を促しており、引き続き、目標値の達成に向け取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

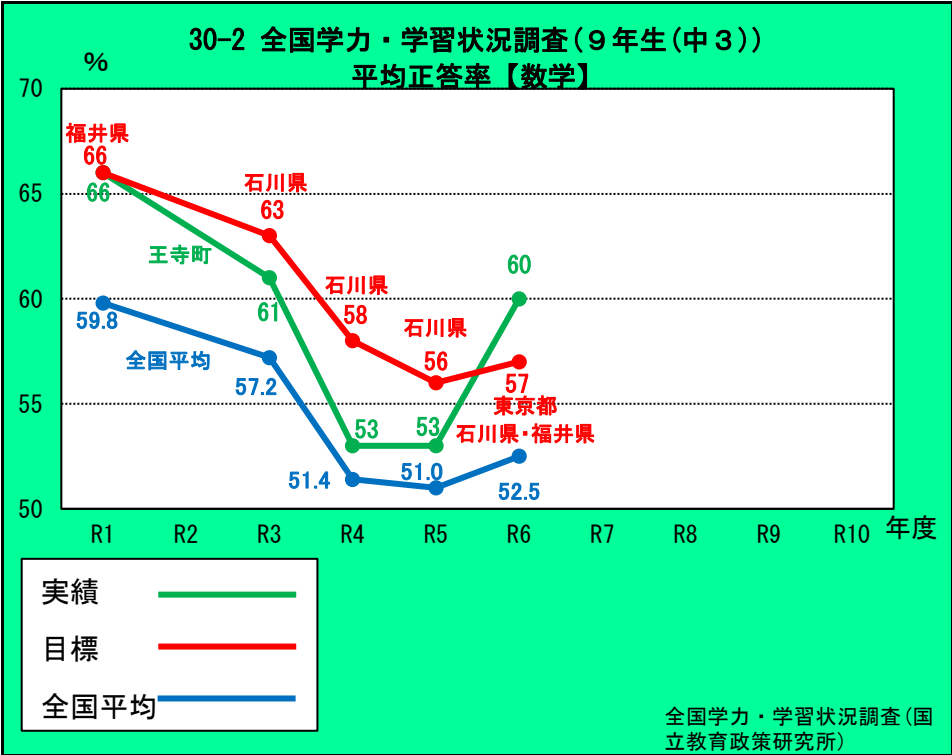
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
58.1	↑	61	74.4%	62
R6年度 全国平均	2.9 %	R6年度 2024	6 10 年目	R6年度 石川県
進捗状況				
図書室機能をもつICTを駆使したメディアセンターを活用し、読書活動と調べ学習の推進に取り組んだ。また、朝の読書活動の継続的な実施等により生徒の読解力向上に努めた。 本町のR6年度の平均正答率は全国平均より高く、目標値である全国1位の石川県の数値に比べ1ポイント差である。 ※R1年度から、国語に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

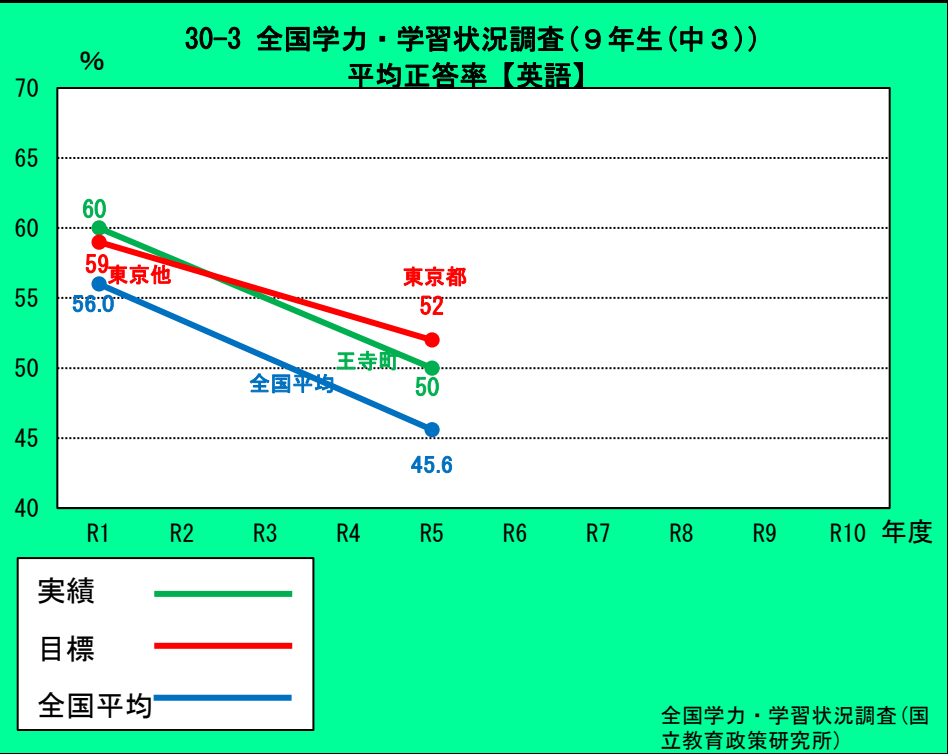
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
52.5	↑	60	166.7%	57
R6年度 全国平均	7.5 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R6年度 東京都 他
進捗状況				
5・6年生から取り組んでいる専科教員による指導や放課後の王寺町寺子屋塾（雪丸サポートスクール）等きめ細やかな学習指導の実施により、生徒の単元に対する理解の向上に努めた。 本町のR6年度の平均正答率は、目標値である全国1位の東京都・石川県・福井県を3ポイント上回った。 ※R1年度から、数学に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

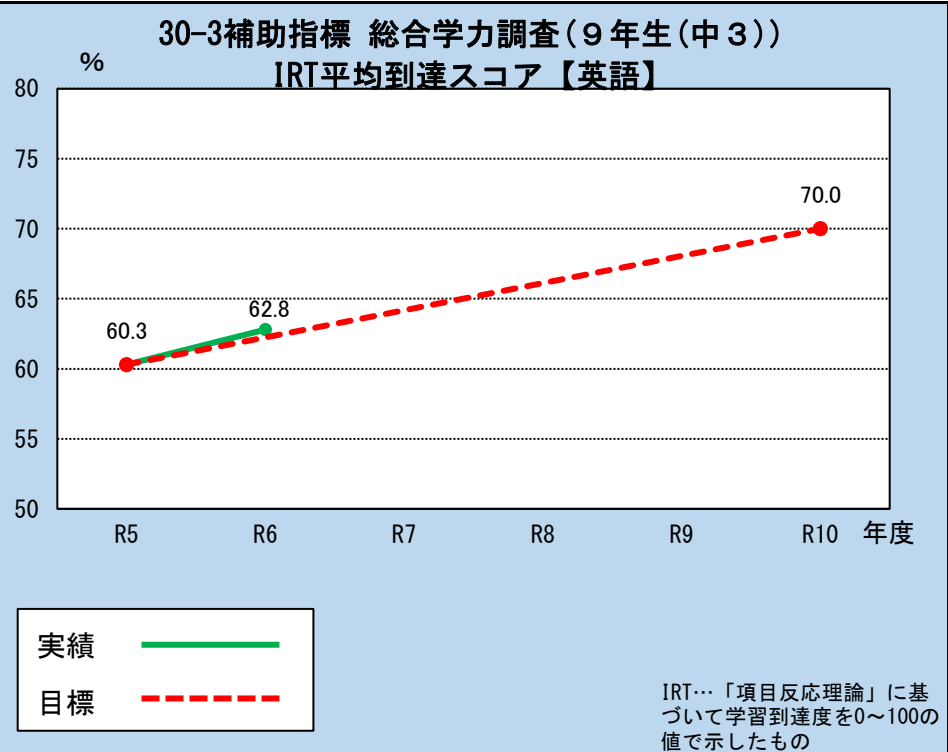
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
45.6	↑	50	68.8%	52
R5年度 全国平均	4.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R5年度 東京都
進捗状況				
外国語指導助手（ALT）を両義務教育学校に配置し、実践的な英語教育を実施している。また、英検対策講座を実施し、英検合格者の向上を目指す等の取組により、本町のR5年度の平均正答率は、全国平均より高く、目標値である全国1位の東京都に比べ2ポイント差である。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

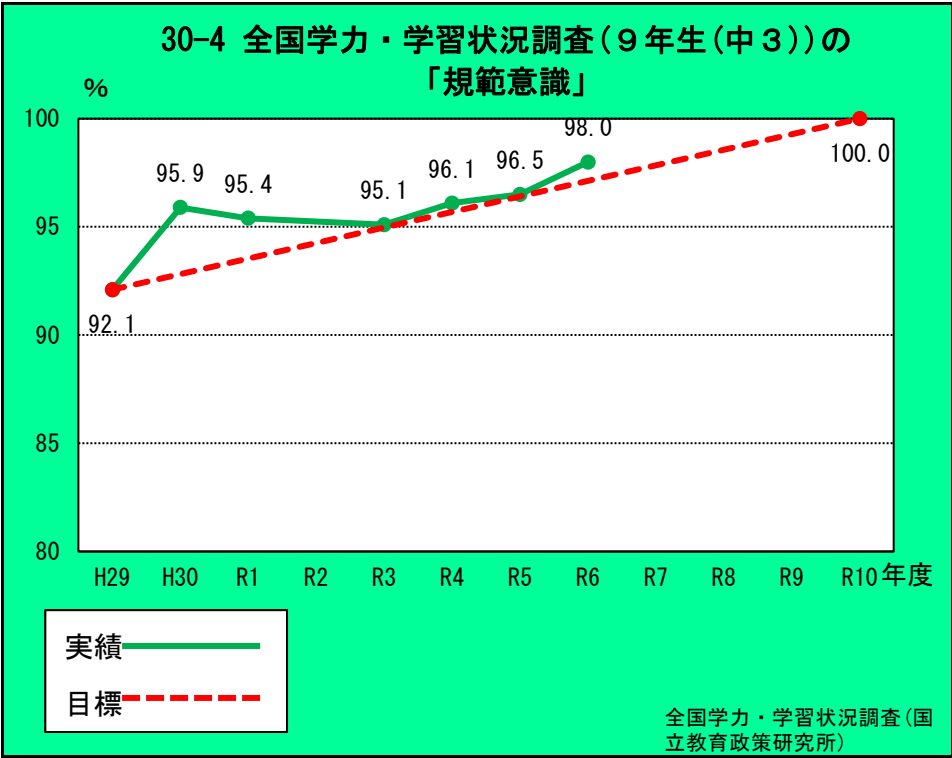
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
60.3	↑	62.8	25.8%	70.0
R5年度 (2023)	2.5 %	R6年度 (2024)	1 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の町独自で実施した総合学力調査【英語】におけるIRT（平均到達スコア）は、R5年度に対し2.5ポイント増加した。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

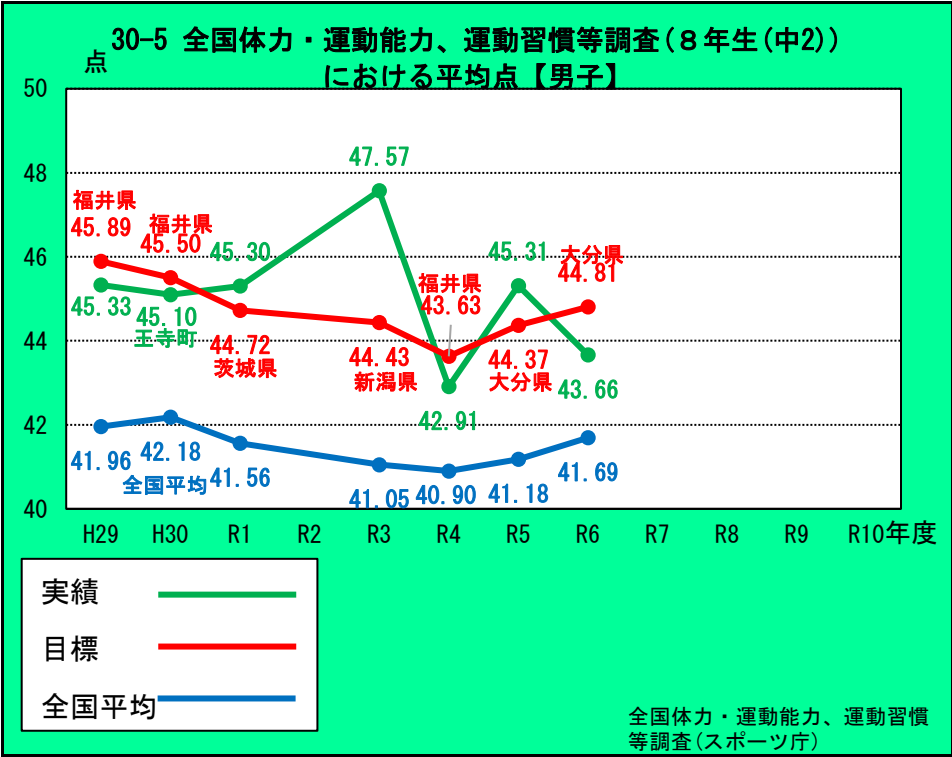
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
92.1	↑	98.0	74.7%	100
H29年度(2017)	5.9%	R6年度(2024)	6/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
道徳や特別活動などあらゆる機会をとらえ、生徒自身が考える学習を積み重ねる取組等により、R6年度全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけない」と「人の役に立つ人間になりたい」の問いに対し、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合が、R5年度に対し1.5ポイント増加した。 ※R2年度については、コロナ禍により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

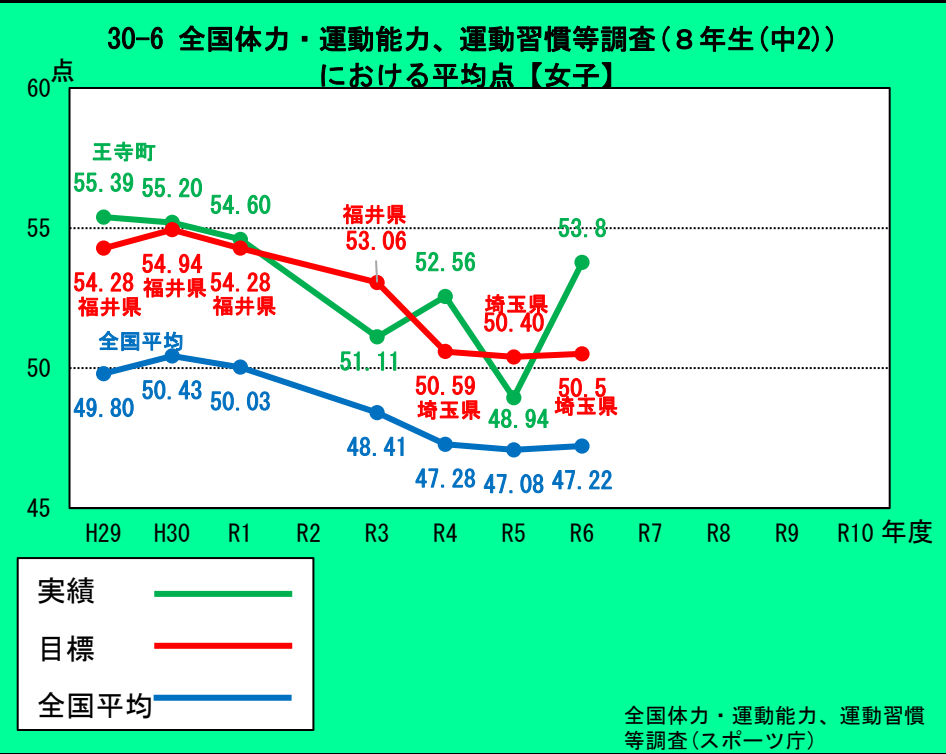
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
41.69	↑	43.66	63.1%	44.81
R6年度全国平均	1.97点	R6年度(2024)	6/10年目	R6年度大分県
進捗状況				
保健体育の専科教員が5・6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R6年度は、全国平均より高く、目標値である全国1位の大分県の数値に比べ約1ポイント差である。 ※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

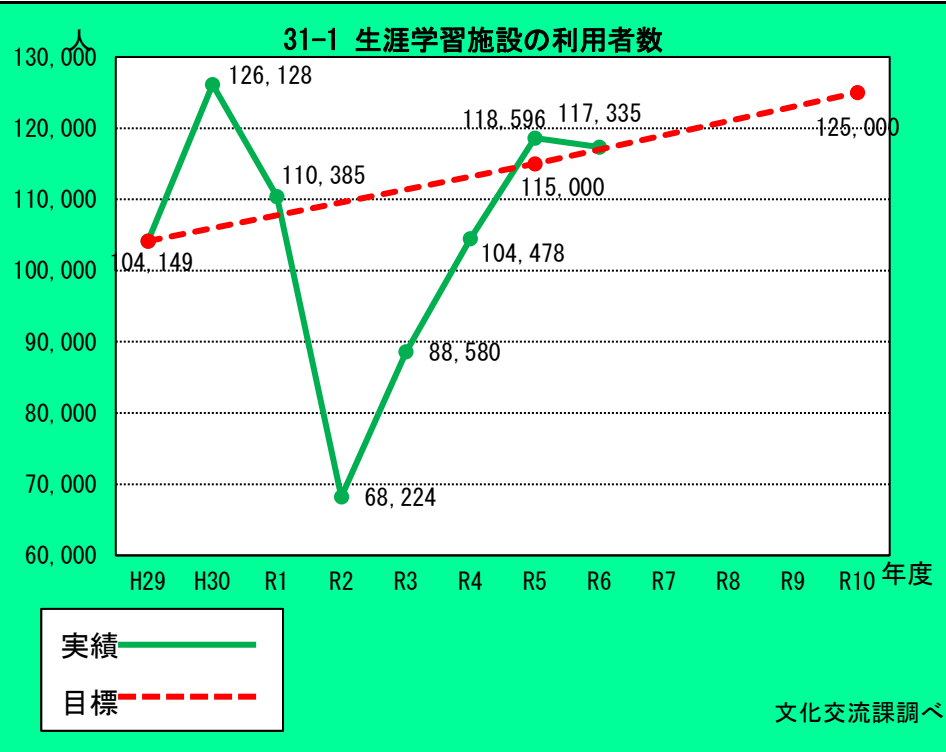
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
47.22	↑	53.77	199.1%	50.51
R6年度 全国平均	6.55 点	R6年度 (2024)	6 10 年目	R6年度 埼玉県
進捗状況				
保健体育の専科教員が5・6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R6年度は、目標値である全国1位の埼玉県を約3ポイント上回った。				
※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16) 生涯学習の充実
具体的施策	(31) 生涯学習

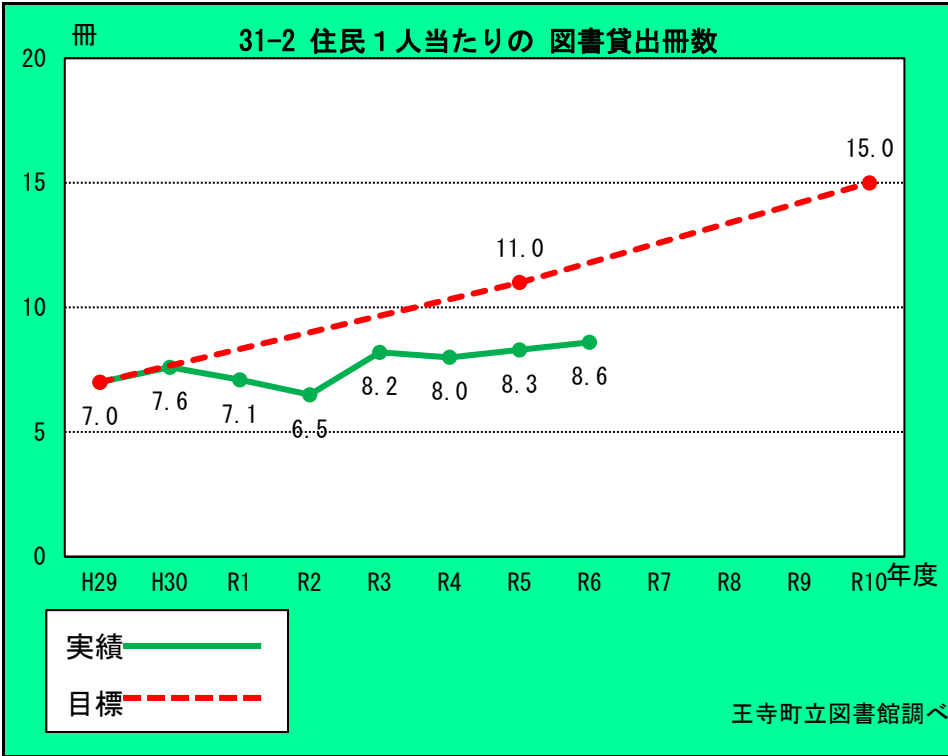
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 参事 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
104,149	↑	117,335	63.2%	125,000
H29年度 (2017)	13,186 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度は、昨年度と比較し、1,261人の減となった。原因としては、昨年12月以降のインフルエンザの急激な感染拡大によるものと考えられる。ただし、目標値をクリアしているの、引き続き目標達成に向け取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(31)生涯学習

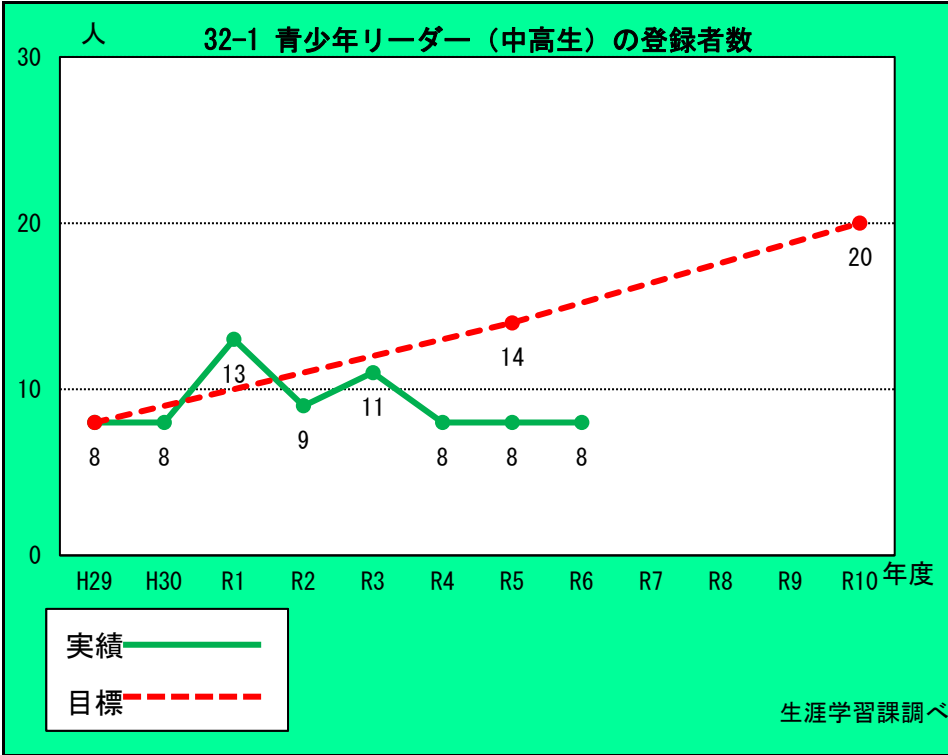
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 参事 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.0	↑	8.6	20.0%	15.0
H29年度 (2017)	1.6 冊	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の1人当たりの貸出冊数はR5年度と比較して横ばいとなった。 R6年度は、図書館システムを更新し、スマートフォンでの利用者カードの提示や、借りた本の履歴を保存することが可能となり、利用者の利便性向上を図った。 また「すくすく広場」や「わくわく広場」で絵本の広場を開催し、読み聞かせや貸出を行い、乳幼児期から親子で本を読むことの楽しさを広め、図書貸出冊数の増加に努めた。 ○参考：図書貸出冊数 ・R6年度：199,758冊(内 電子図書3,290冊) ・R5年度：197,037冊(内 電子図書2,792冊) ・R4年度：192,373冊(内 電子図書4,488冊) ・R3年度：197,273冊(内 電子図書6,148冊)				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

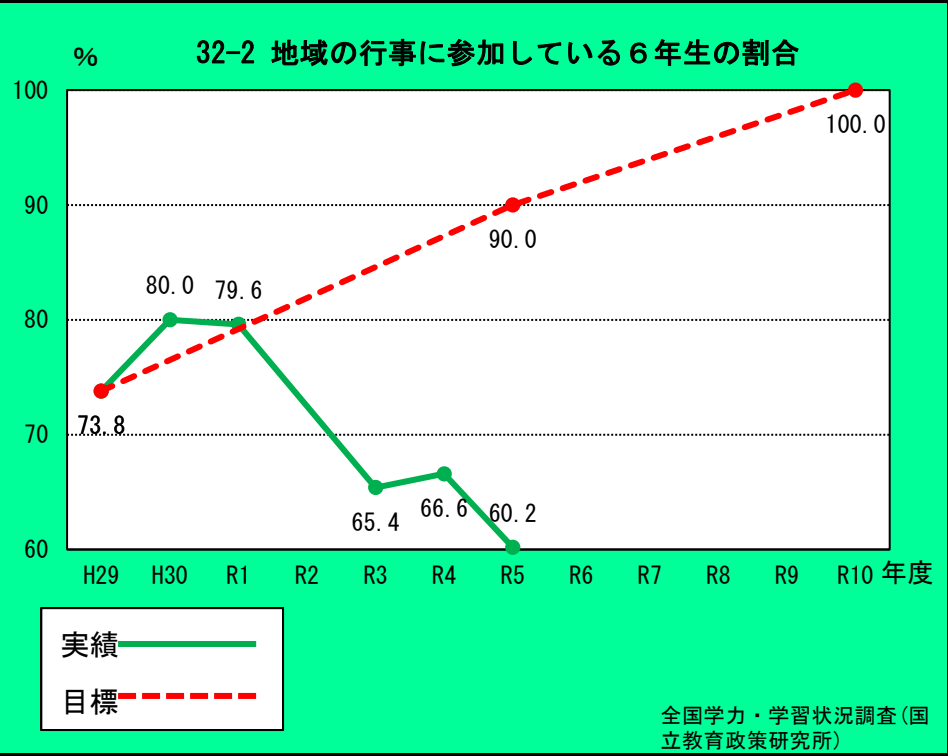
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
8	→	8	0.0%	20
H29年度 (2017)	0 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
集団の中で自主的、指導的な行動ができる青少年リーダーを確保するため、児童文化協会と連携してジュニアリーダーの養成を図っていく。 また、中高生だけでなく大学生に対しても学生ボランティアとして、野外活動などのイベントに参画を促し、青少年リーダーとして活動していく人材の確保に努めていく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

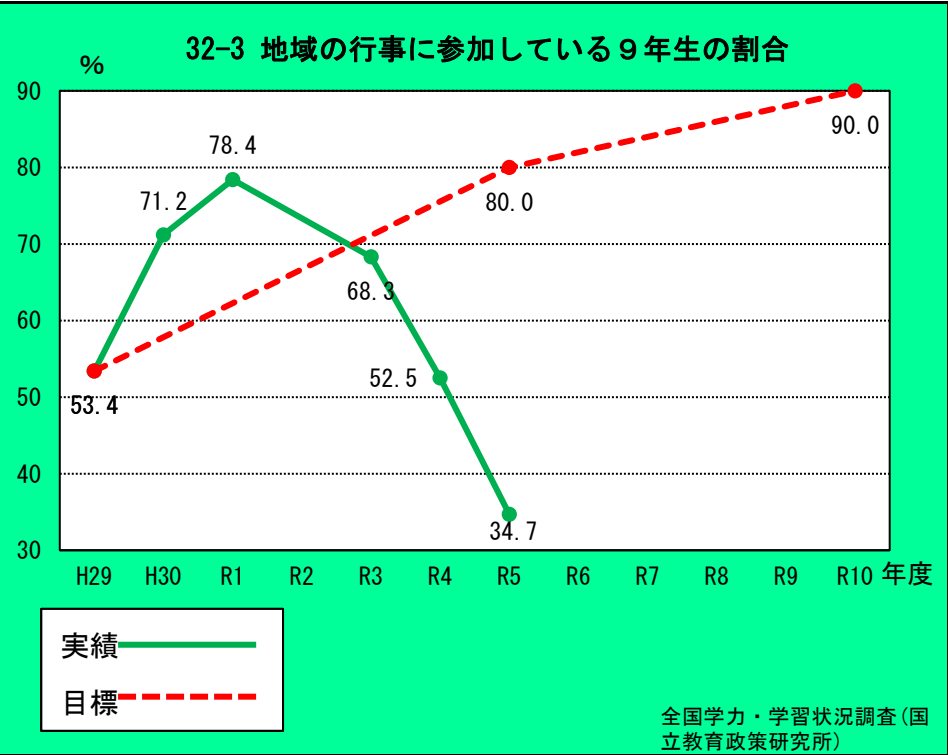
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
73.8	↓	60.2	-51.9%	100
H29年度 (2017)	-13.6 %	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍による地域行事の中止により、R5年度の「地域の行事に参加している6年生の割合」は、R3年度から低い水準で推移している。				
※R2年度は、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R6年度は、全国学力・学習状況調査の質問項目から削除されたためデータ無し。R7年度から学校が実施する学校評価アンケートの質問項目に追加予定。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

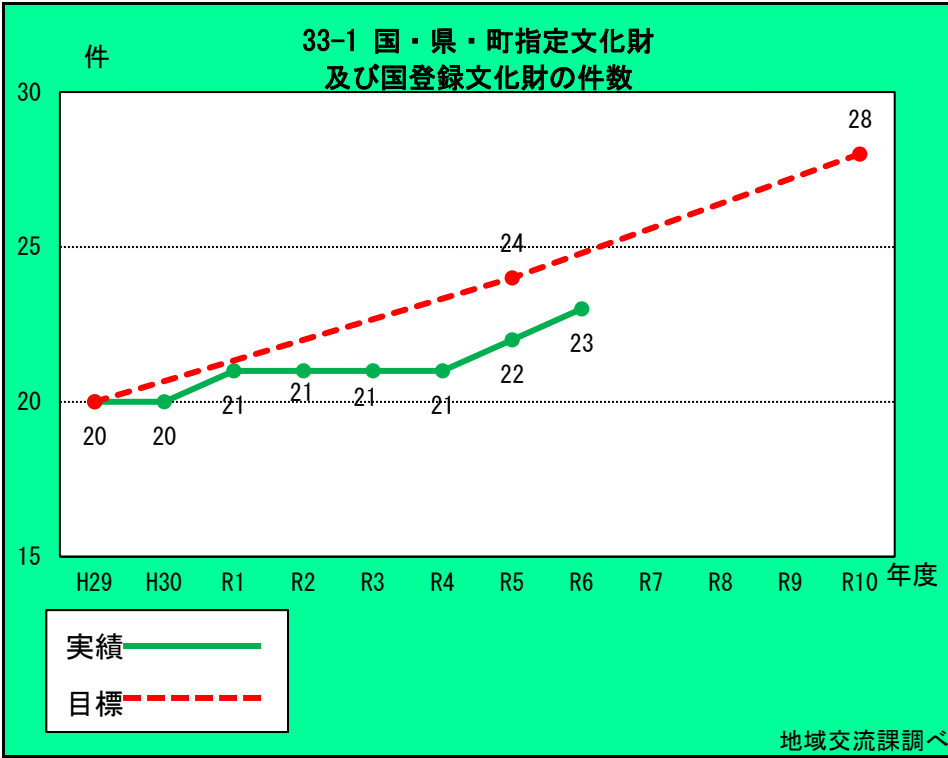
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
53.4	↓	34.7	-51.1%	90
H29年度 (2017)	-18.7 %	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍による地域行事の中止により、令和5年度全国学力・学習状況調査において、「地域の行事に参加している9年生の割合」は、R4年度に対し17.8ポイント減少した。				
※R2年度は、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。 ※R6年度は、全国学力・学習状況調査の質問項目から削除されたためデータ無し。R7年度から学校が実施する学校評価アンケートの質問項目に追加予定。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33) 文化財

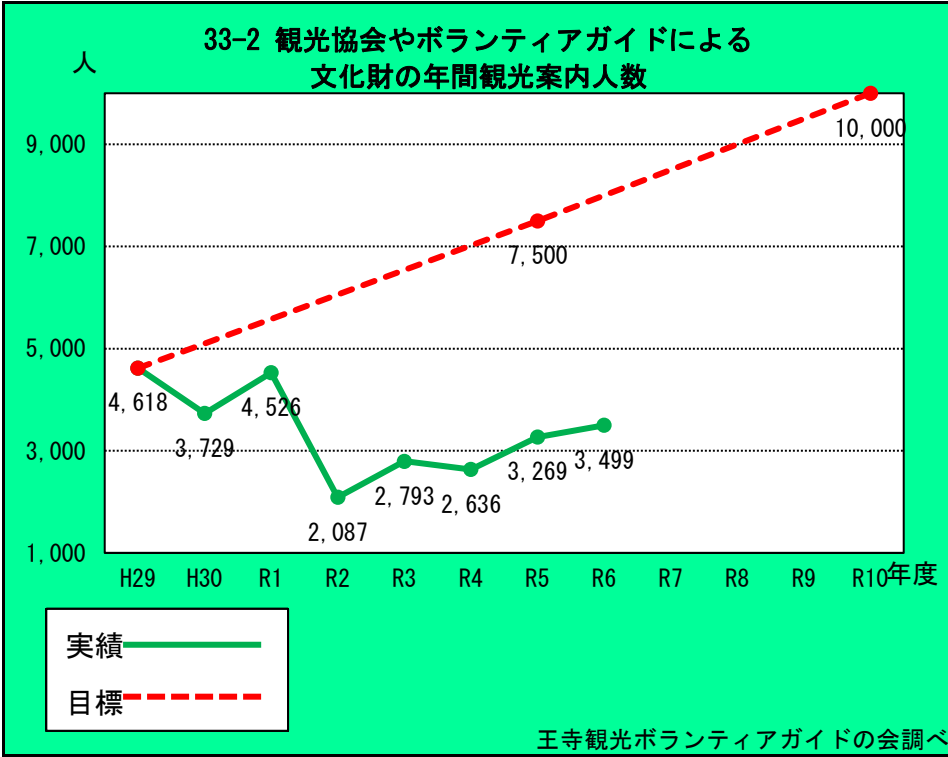
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20	↑	23	37.5%	28
H29年度 (2017)	3 件	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度にD51形蒸気機関車895号機を王寺町指定文化財に指定し、R6年度に「明神山(送迎山)」が国登録記念物(名勝地関係)に登録され、指定及び登録件数は23件に増加した。 同じく「西安寺跡」が国史跡に指定されるよう事務を進めており、こちらはR10年度までには見通しがつく予定である。 この他にも「片岡王寺跡」の発掘調査をR7・R8年度に進め、寺院の全容を解明する。 R10年度までに計画的に指定を進め、文化財の保存と活用を図っていく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33) 文化財

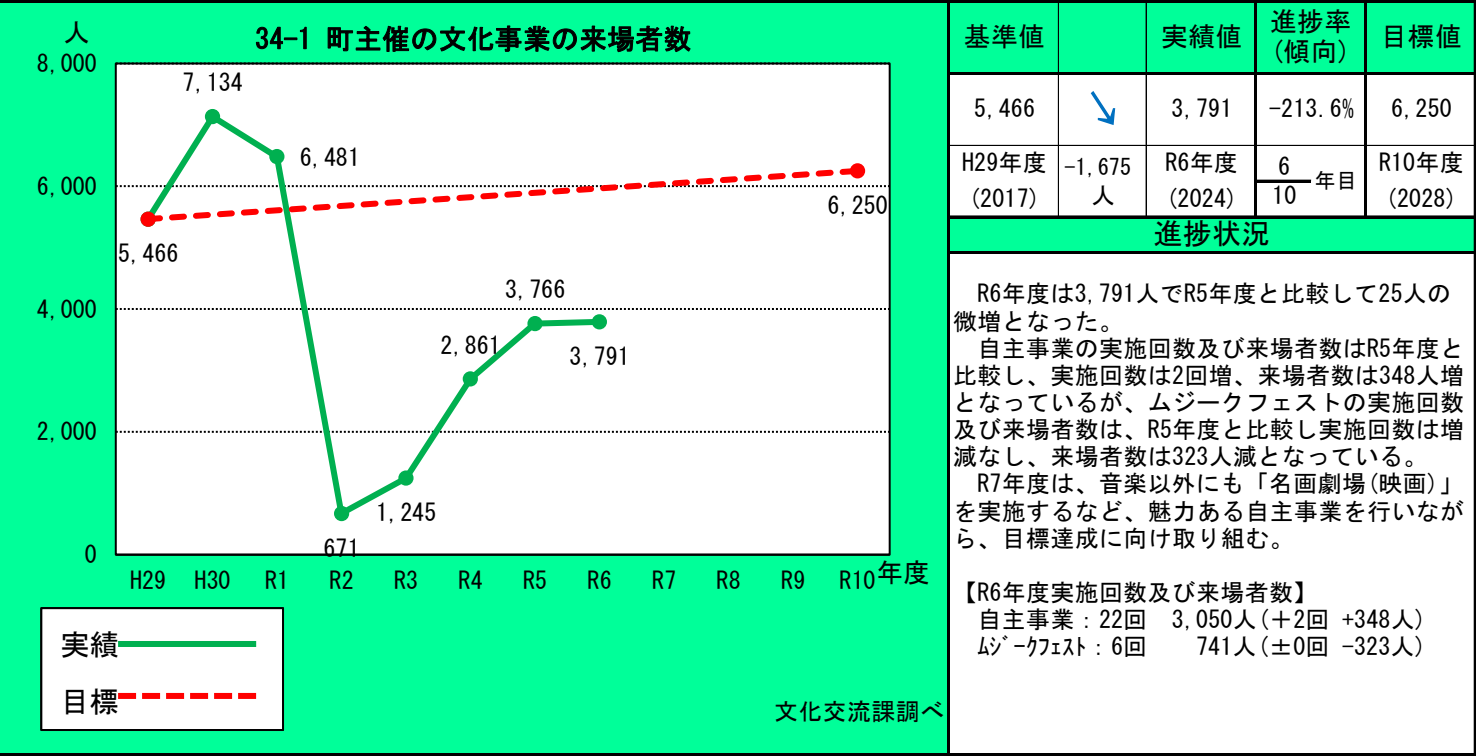
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
4,618	↓	3,499	-20.8%	10,000
H29年度 (2017)	-1,119 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R2年度にはコロナ禍により観光が控えられたことで目標に掲げた数値から大きく離れてしまったが、R3年度からは徐々に回復傾向で推移している。 王寺町では、コロナ前の水準に戻ることを目指し、R5年度に王寺町のSLを町指定文化財に指定して「鉄道のまち王寺」をアピールするほか、R6年度に明神山(送迎山)を国登録記念物に登録することで、歴史眺望をPRし、誘客事業を進めている。 王寺観光ボランティアガイドの会についても、R4及びR6年度に養成講座を開講して新規会員を増やし、多くの観光案内を受け入れられる体制を整え、町内の学校でゲストティーチャーとしても活動している。				

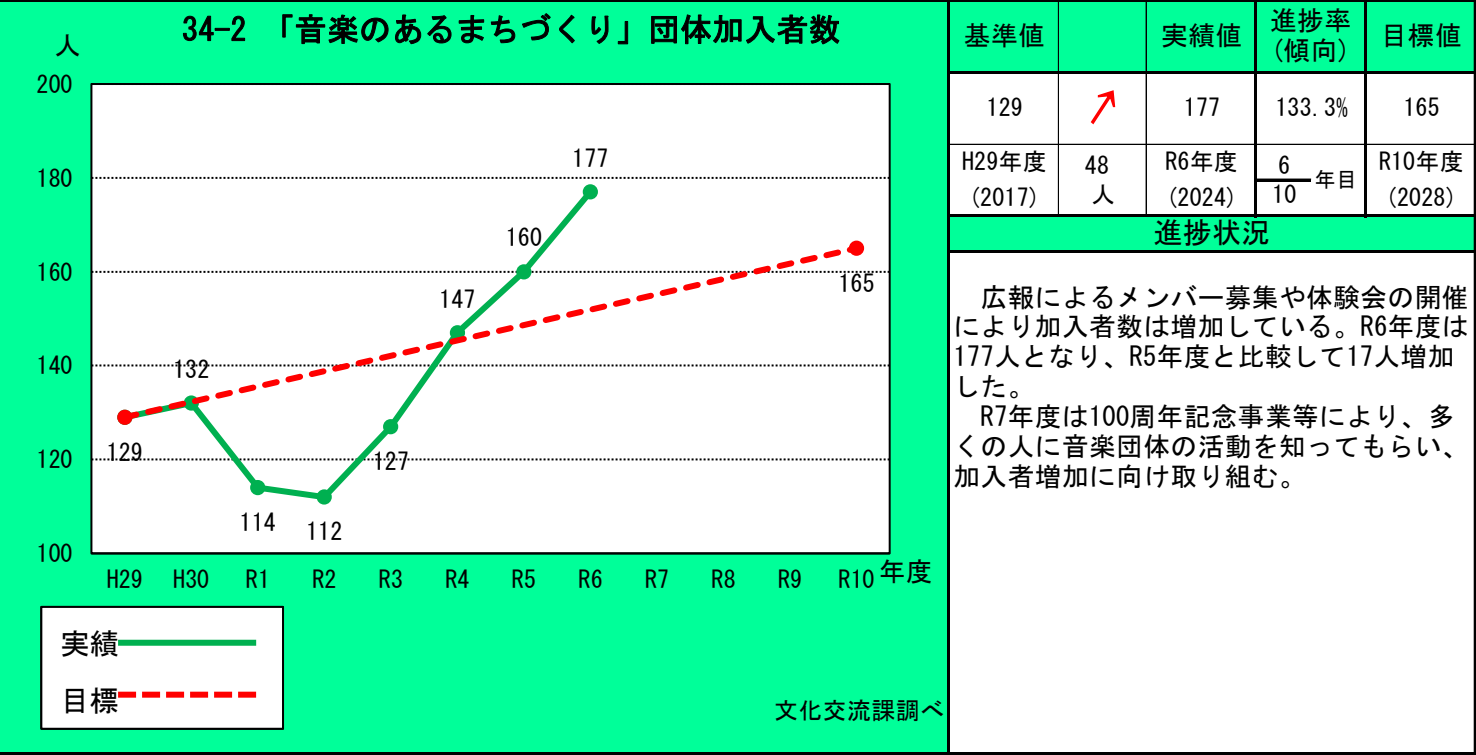
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34) 文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 参事 芳川 典生



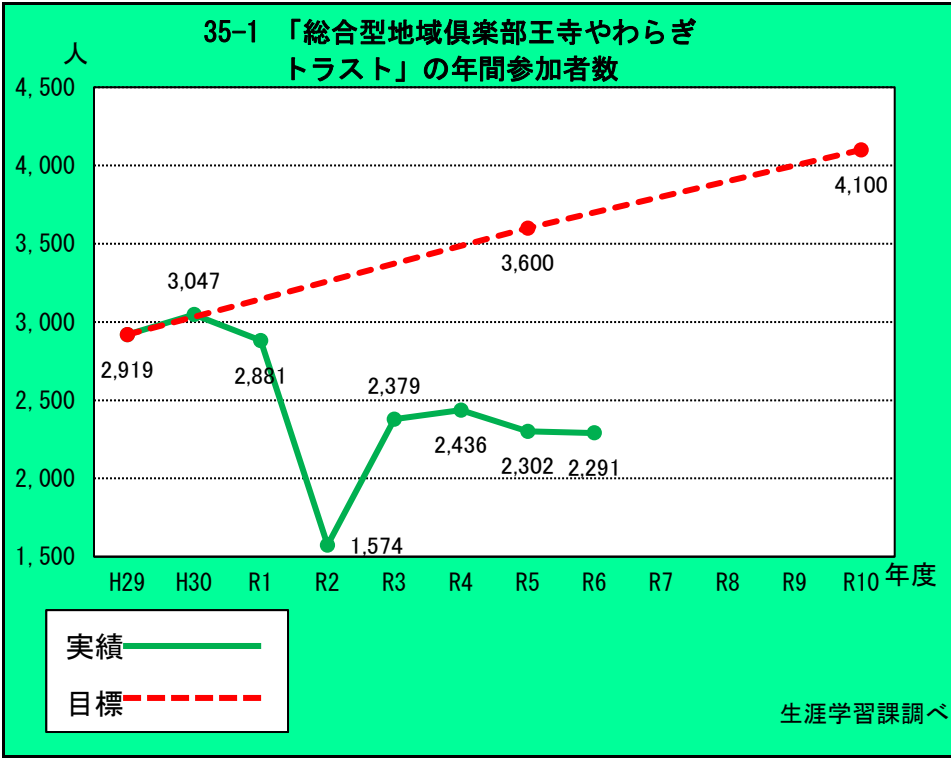
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34) 文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 参事 芳川 典生



基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35) スポーツ・レクリエーション

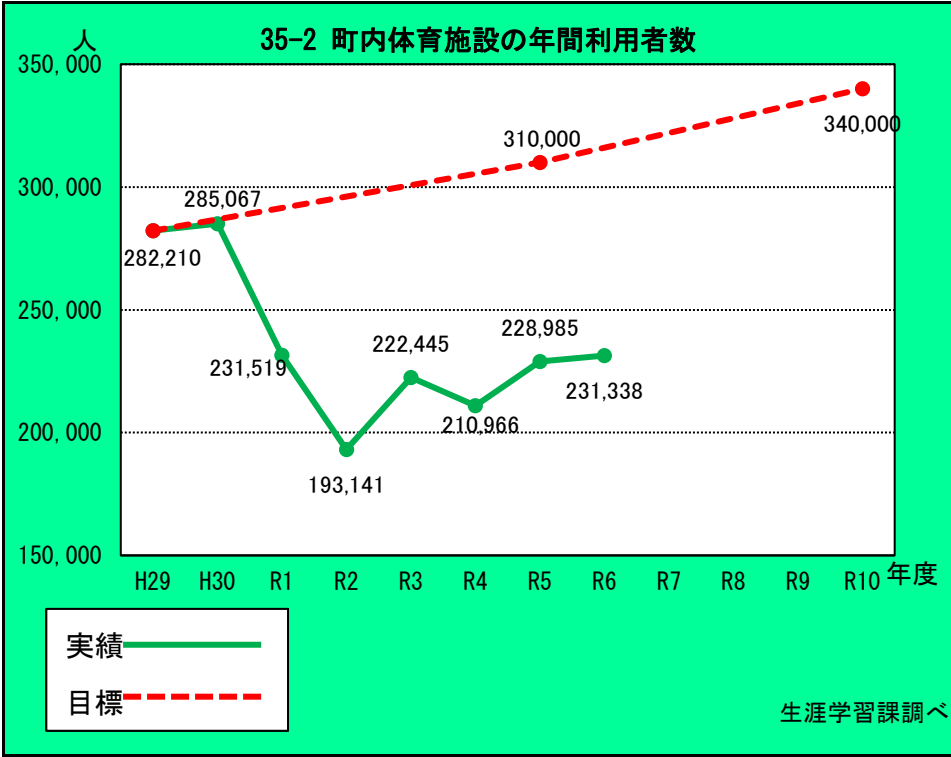
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2,919	↓	2,291	-53.2%	4,100
H29年度 (2017)	-628 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度は、町広報紙やHP、町公式LINEなど、多様な媒体による情報発信により、会員数・参加者数の確保に向け取り組んだ。また、初開催となる王寺町スポーツフェスティバルにおいて、体験ブースやPRブースの設置、ダンス教室等の発表会などにより、やわらぎトラストの周知を図ったものの、年間参加者数はR5年度より減少した。 今後は、より多彩な教室の開催や、多様な媒体による情報発信により、年間参加者数の増加につなげるとともに、安定した事業運営ができるよう、R7年度中に法人化を目指す。 【参考】やわらぎトラスト会員数 R3年度:829人 R4年度:830人 R5年度:813人 R6年度:776人				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35) スポーツ・レクリエーション

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
282,210	↓	231,338	-88.0%	340,000
H29年度 (2017)	-50,872 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度はコロナ前の実績には戻っていないものの、R5年度と比べ微増となった。 R7年4月からは整備が完了した北義務教育学校の外部利用を開始した。 今後については、スポーツを楽しむことができる環境整備として、R8年4月オープンに向けた(仮称)葛下テニスコートの整備を進めるとともに、施設の情報や利用方法などの情報発信に取り組んでいく。				

6 活力とにぎわいのあるまちづくり

数値目標

- 6(1) 王寺町内での新規起業件数（累計）
- 6(2) 人口の社会増（転入者数－転出者数）【再掲】
- 6(3) 町の観光入込客数
- 6(4) 王寺町周辺宿泊者数

K P I

具体的施策36 産業・雇用

- 36-1 町内の事業所数
- 36-1 補助指標 開業届提出件数[累計]
- 36-2 町内の事業所の従業員数
- 36-2 補助指標 町内で行われる「就職説明会」の参加者数

具体的施策37 定住促進

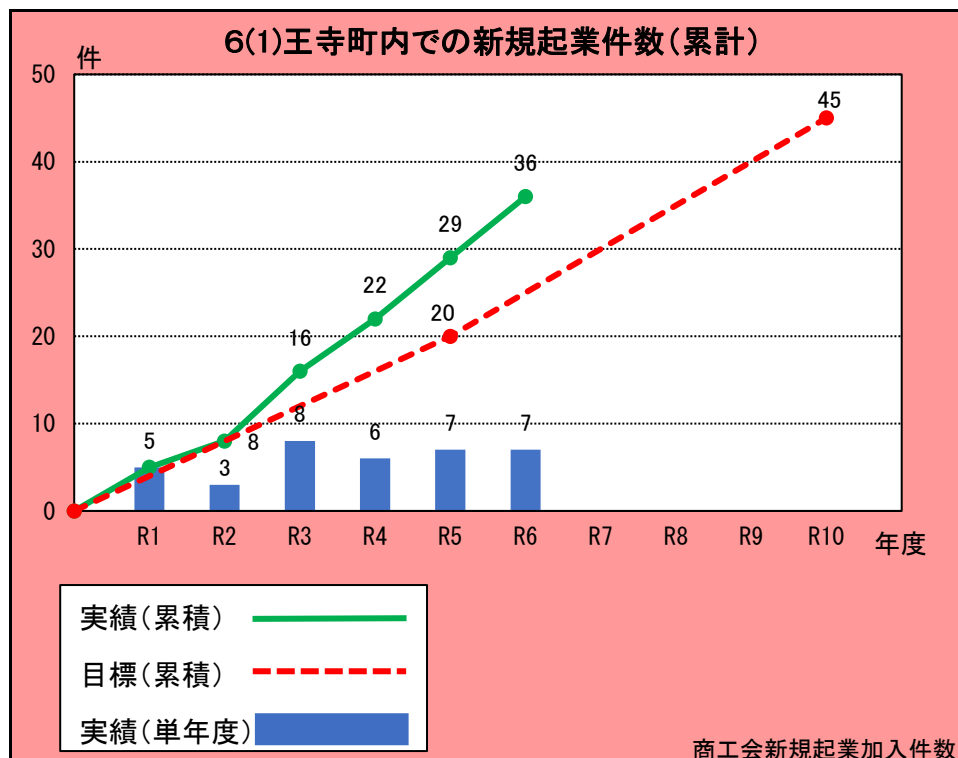
- 37-1 王寺町に住みたいと思う人の割合
- 37-1 補助指標① 三世代ファミリー定住支援補助金利用件数[累計]
- 37-1 補助指標② 移住支援金利用件数[累計]

具体的施策38 観光・交流

- 38-1 明神山の来訪者数
- 38-2 達磨寺来訪者数

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

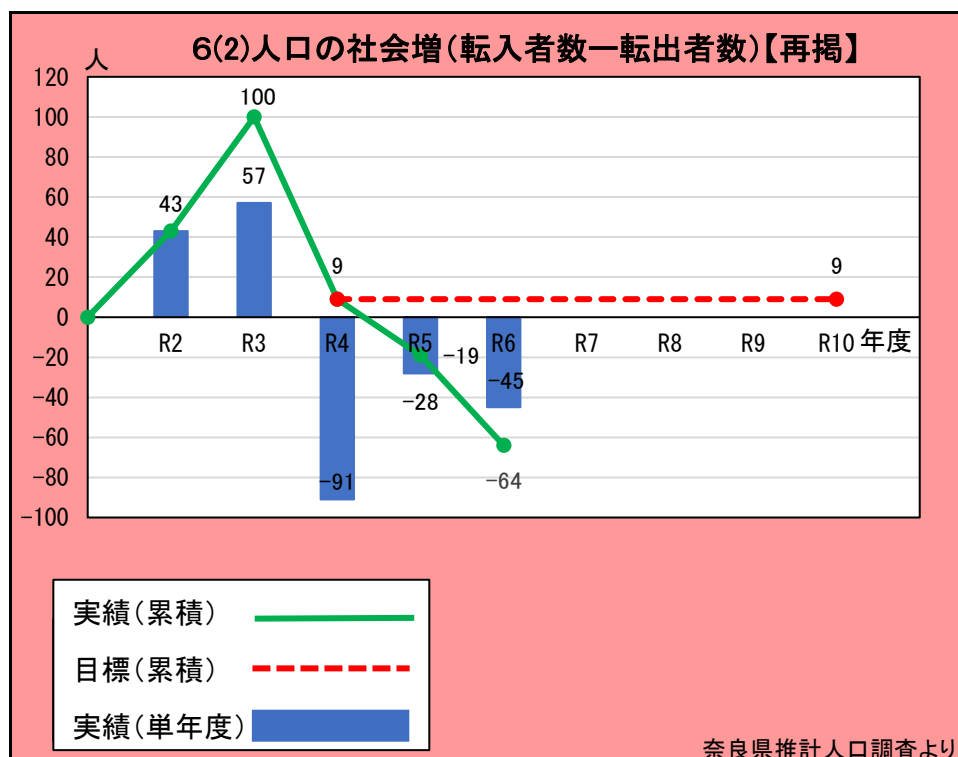
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事 前田 日出高



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↑	36	80.0%	45
H30年度(2018)	36.0件	R6年度(2024)	6/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行っている。 飲食業の新規起業が多く、観光振興による王寺駅前での賑わい創出が第3次産業の活性化に効果的であると考えている。 近年では、駅前の都市空間と大和川の水辺空間を活用して、飲食業を主体とした集客力のあるマルシェが定期的に開催されており、R7年の大阪関西万博や町制100周年事業などでさらに観光振興を促進し、第3次産業の活性化を推進していく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 小林 秀禎

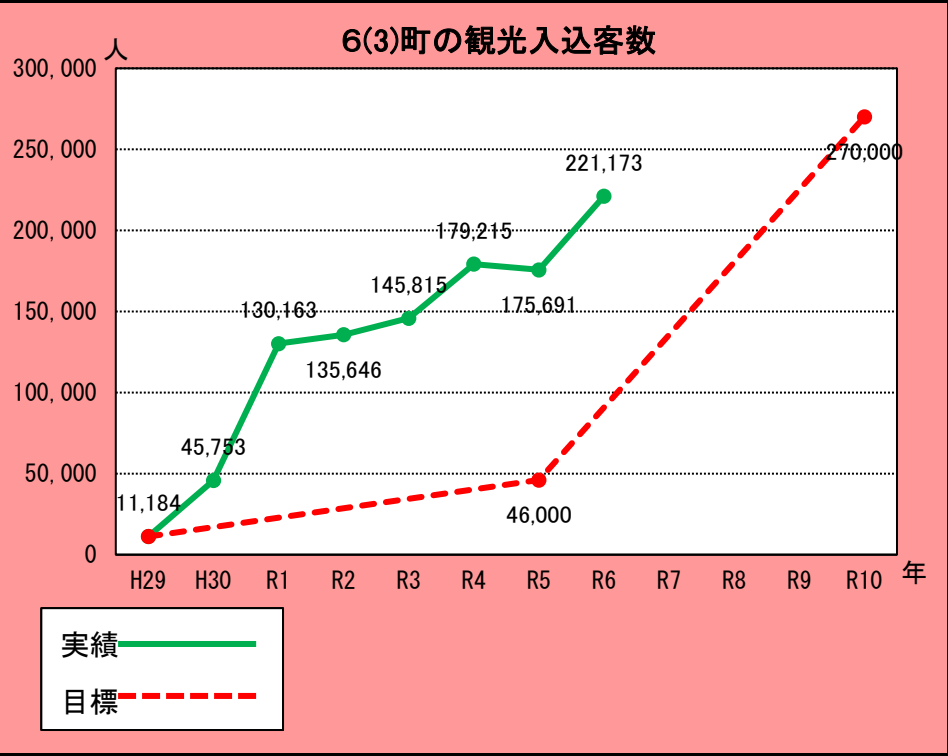


基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↓	-64	-711.1%	9
H30年度(2018)	-64人	R6年度(2024)	4/9年目	R10年度(2028)
進捗状況				
都市基盤の整備について、王寺駅周辺への都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、R4年度に策定した「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」に基づいたまちづくりを進めている。 王寺駅南エリアについては、自治会と継続した意見交換を実施し、駅南エリアのまちづくり計画の策定に向けた方向性を検討中である。 交通ネットワークの整備については、国道168号の4車線化(無電柱化)、畠田駅前広場の整備に向けた用地取得などを進めている。元町畠田線整備事業については用地取得が完了し、県により工事が進められている。 その他、環境や景観にも配慮し、快適に暮らし続けられるまちづくりに向けた事業を進め、早期のストック効果発現を目指し、人口の社会減に歯止めをかけるよう努めていく。				

数値目標

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

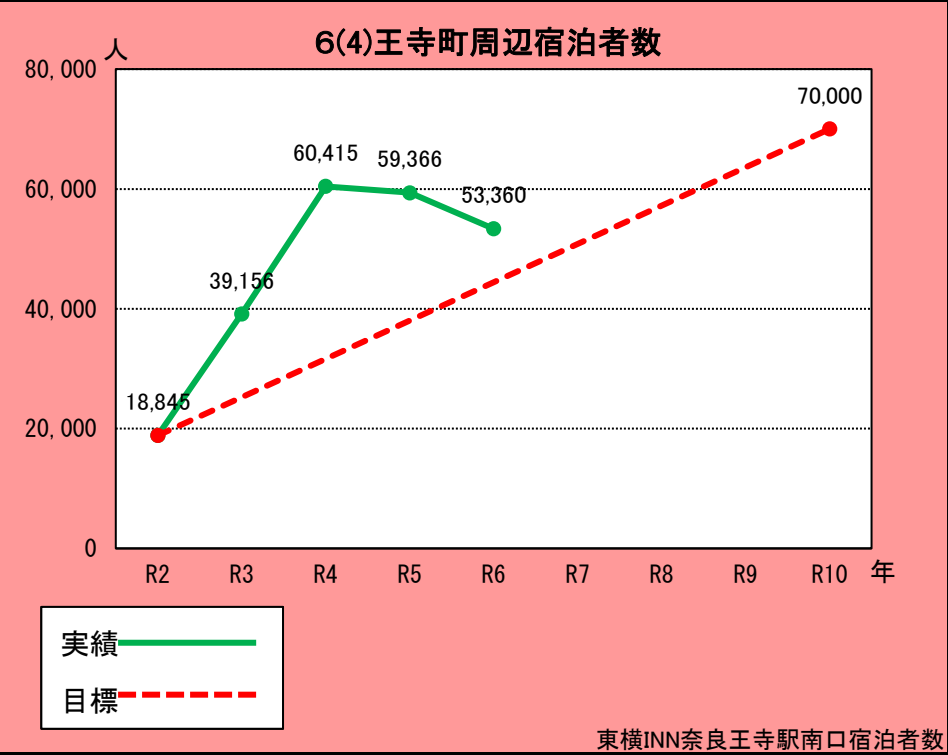
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事 前田 日出高



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
11,184	↑	221,173	81.1%	270,000
H29年 (2017)	209,989 人	R6年 (2024)	6 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
町内の観光拠点である明神山は、歴史的眺望の価値が認められ、R7年に奈良県初の「国登録記念物(名勝地関係)」に登録された。また、達磨寺で開催している「全国だるまさんが転んだ選手権大会」もふるさとイベント大賞で入賞した。 また、「鉄道イベント」や「久度マルシェ」の高い集客力を「消費」につなげるなど、WEST NARA広域観光推進協議会(大和郡山市・生駒郡4町、北葛城郡4町で構成)と連携した誘客により、聖徳大使のゆかりの里の周遊観光の起点となる王寺駅周辺の賑わい創出を図っていく。 さらに、都市近郊の里山「陽楽の森」の整備が進んできており、新たな観光スポットとして期待を寄せているところである。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事 前田 日出高

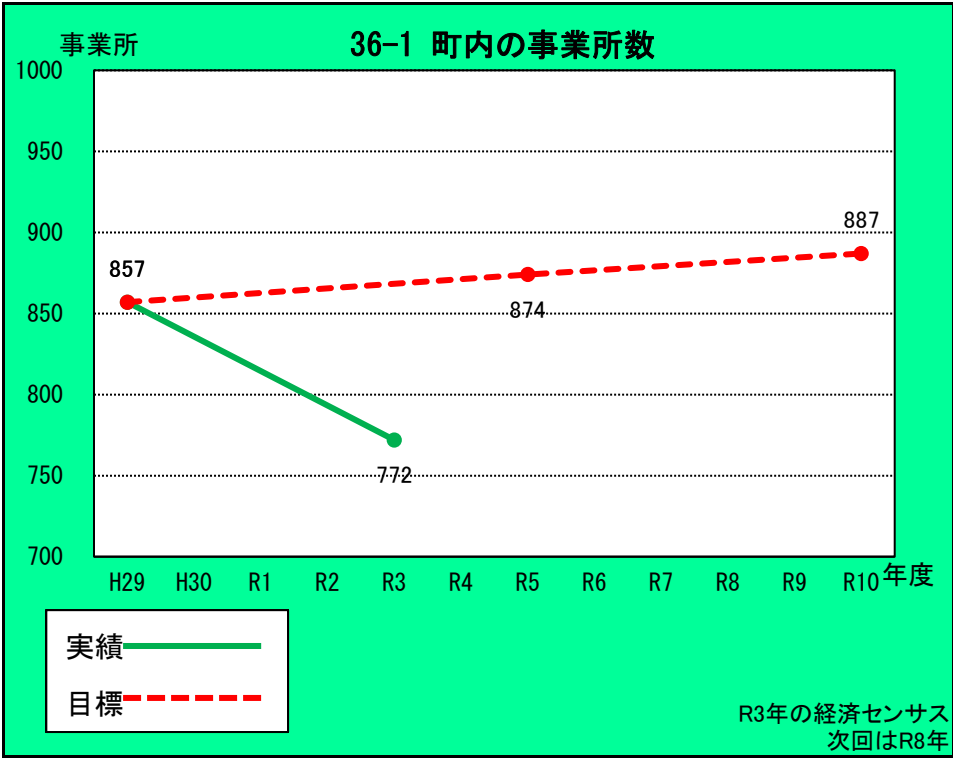


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
18,998	↑	53,360	67.4%	70,000
R2年 (2020)	34,362 人	R6年 (2024)	5 9 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
R2年8月に開業したホテル東横INN奈良王寺駅南口は、年間の平均稼働率が67%、宿泊者数も53,000人以上と開業時から高い稼働率が維持されており、ホテルと駅周辺の飲食業との連携による地域経済の活性化にもつながっている。 また、町観光協会との連携による東横INNとして全国初のコンセプトルーム「雪丸の部屋」も人気を博しており、R6年度にはホテルにシェアサイクルステーションが設置され、WEST NARA広域観光推進協議会エリアの周遊観光に活用されている。				

東横INN奈良王寺駅南口宿泊者数

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

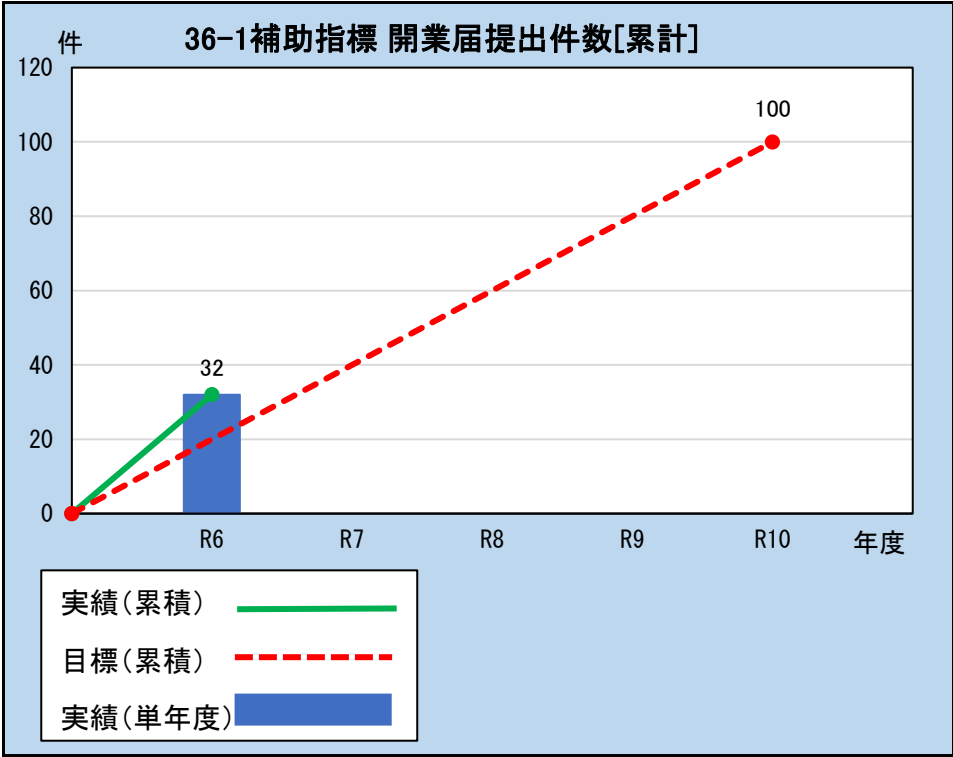
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
857	↓	772	-283.3%	887
H29年度 (2017)	-85 事業所	R3年度 (2021)	$\frac{3}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業の事業者が90%以上を占め、王寺駅を中心に事業者が集積しているため、駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 事業者への支援については、国の事業者支援策を事業者に周知するほか、商工会に事業継承や事業者育成に関する支援体制の強化を働きかけていく。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

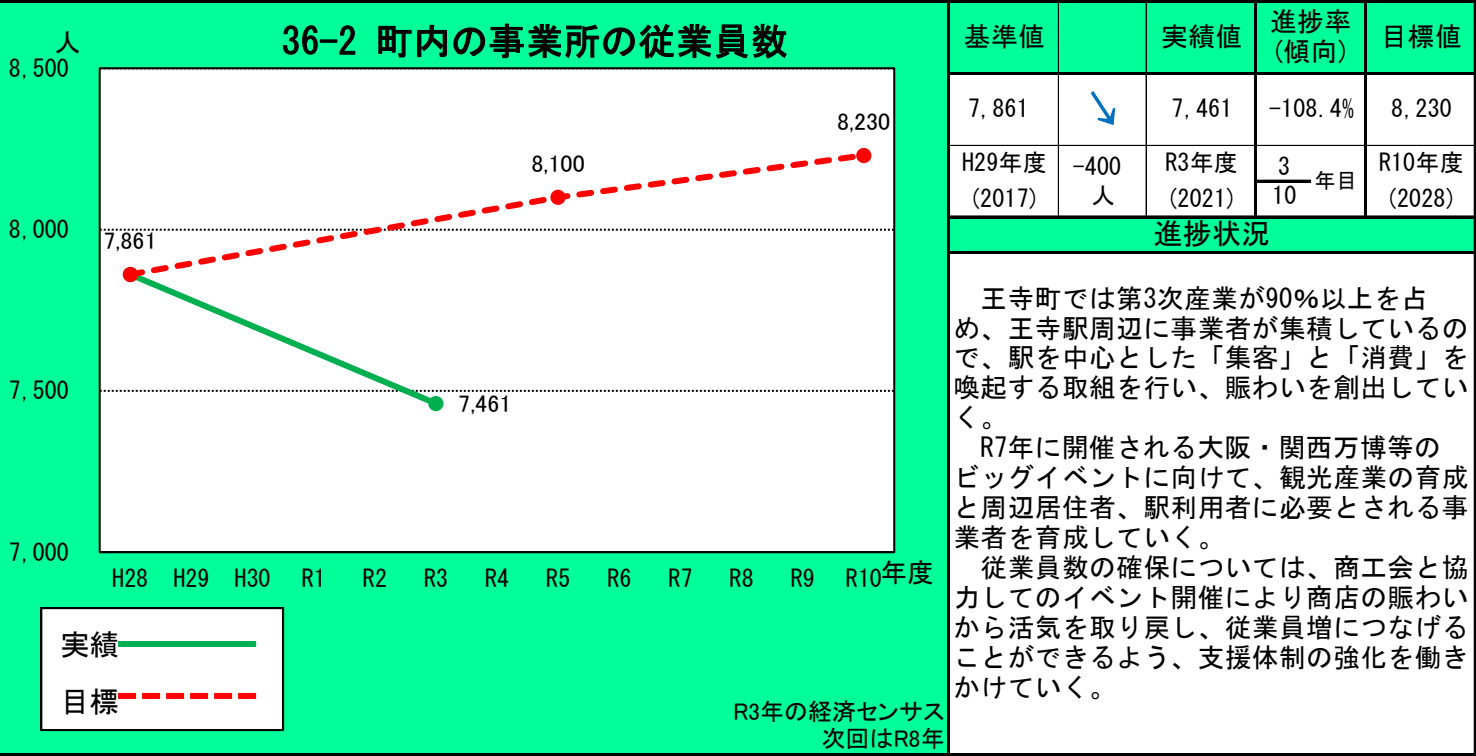
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	32	32.0%	100
—	32 件	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 R7年に開催の大阪・関西万博等のビッグイベントを活用し、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者に必要とされる事業者を育成していく。 事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

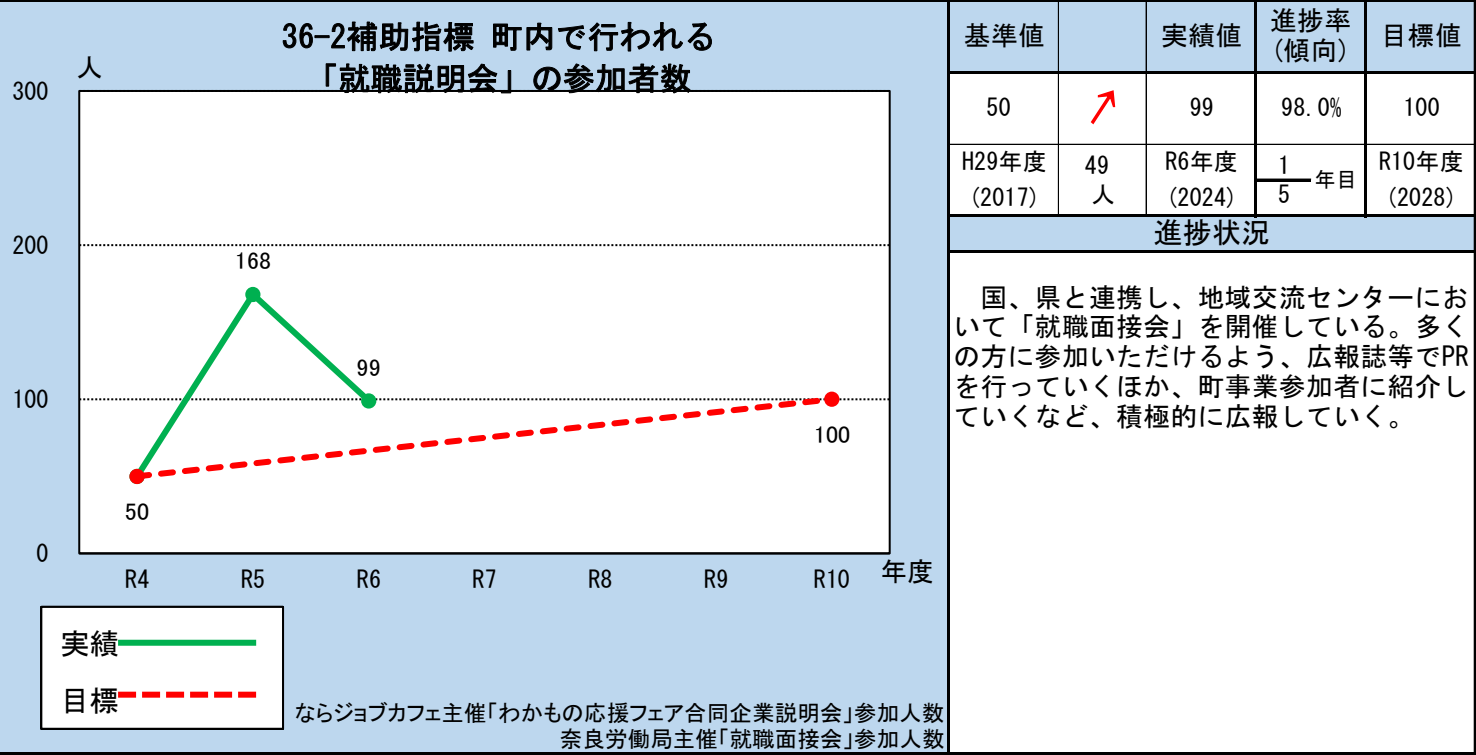
基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



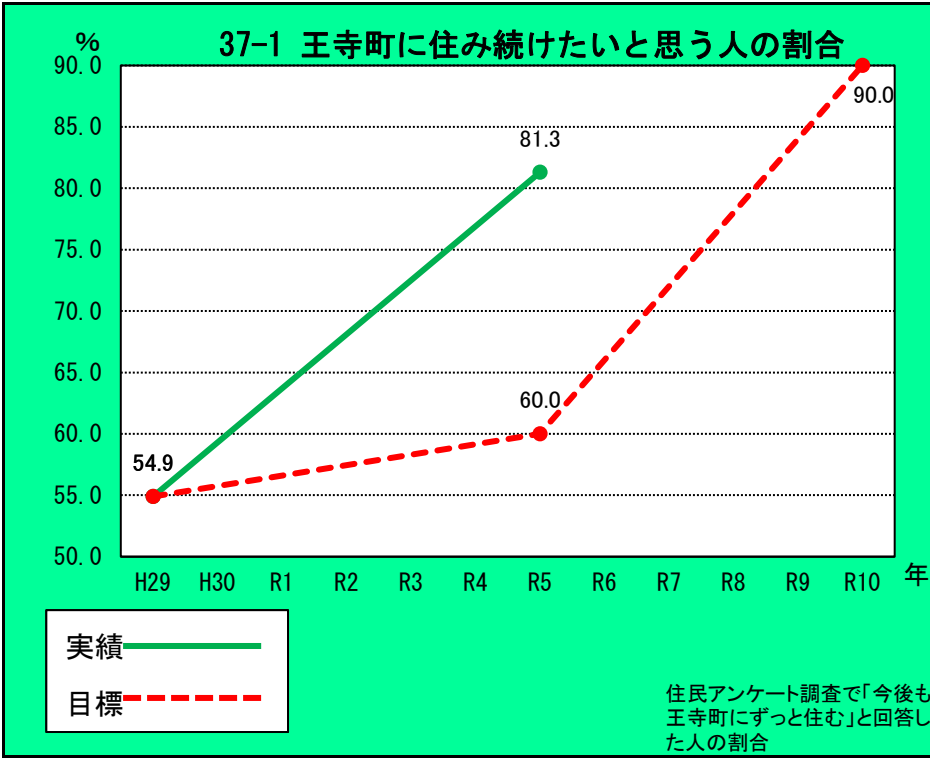
基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 田中 宏佳



基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

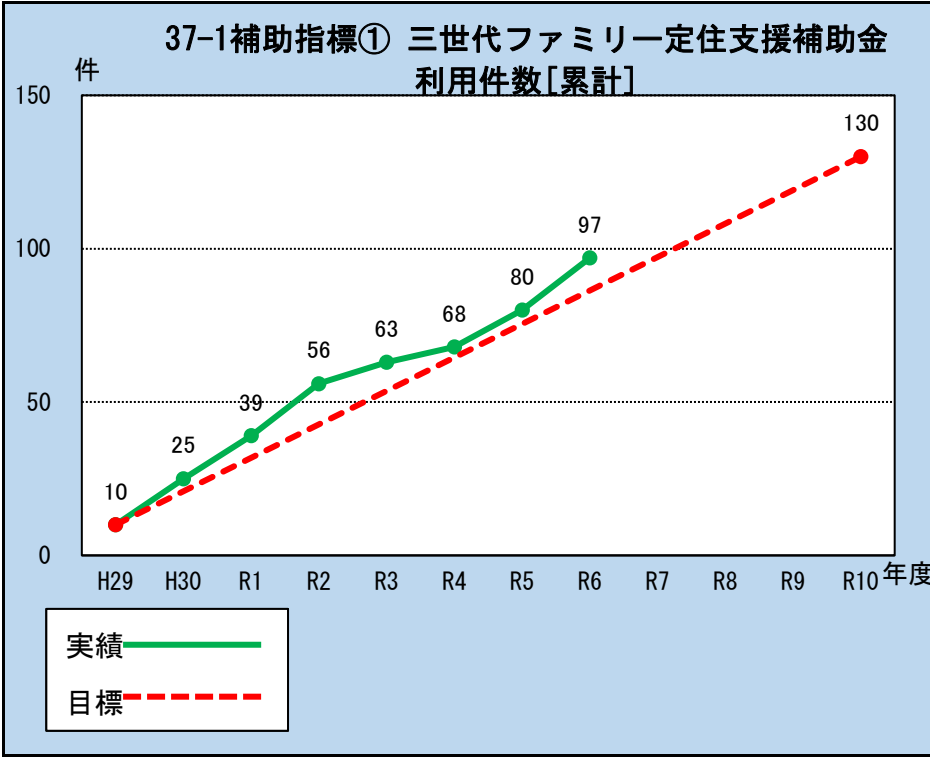
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
54.9	↑	81.3	75.2%	90.0
H29年 (2017)	26.4 %	R5年 (2021)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
地域の魅力発信を目的とし北葛4町での「御墳印帳プロジェクト」を実施するなど北葛城のプロモーションを進めている。 R6年度には北葛4町でシェアサイクル事業を開始し、王寺町内に9箇所のシェアサイクルステーションが設置された。 また、町独自の定住促進事業として三世代世帯向けの住宅取得・リフォーム補助を実施することで王寺町への定住を促進している。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

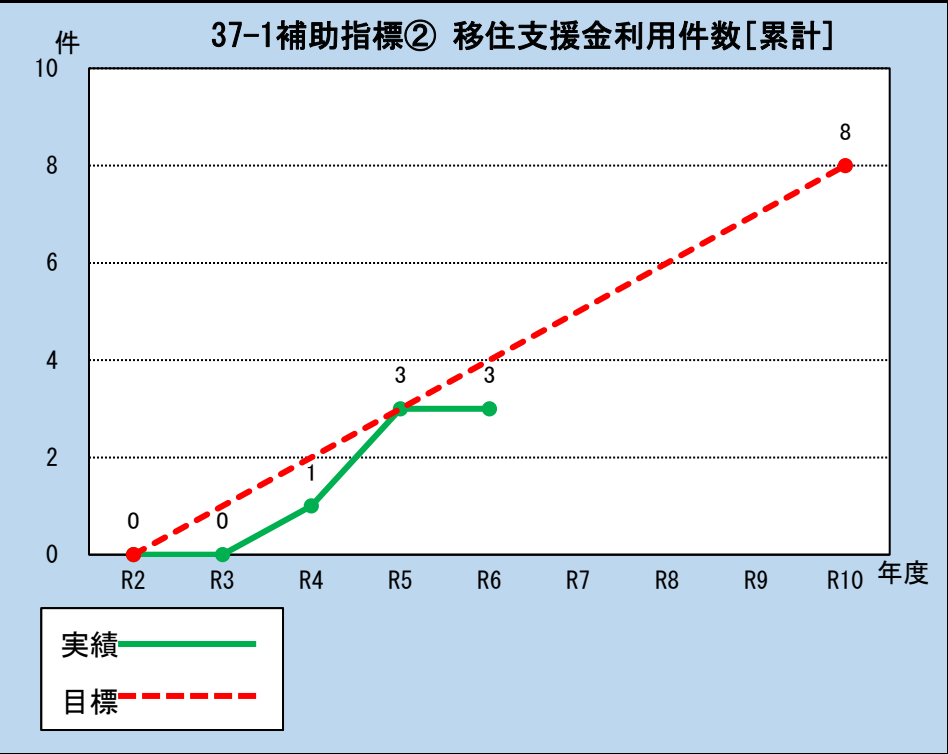
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10	↑	97	72.5%	130
H29年度 (2017)	87 件	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
本補助金は、本町への定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化を目的とした町独自の定住支援策として、創設年度から毎年多くの利用実績がある。 R6年度までの総申請件数は97件で、年平均11件という実績である。 ・ R6年度：17件				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

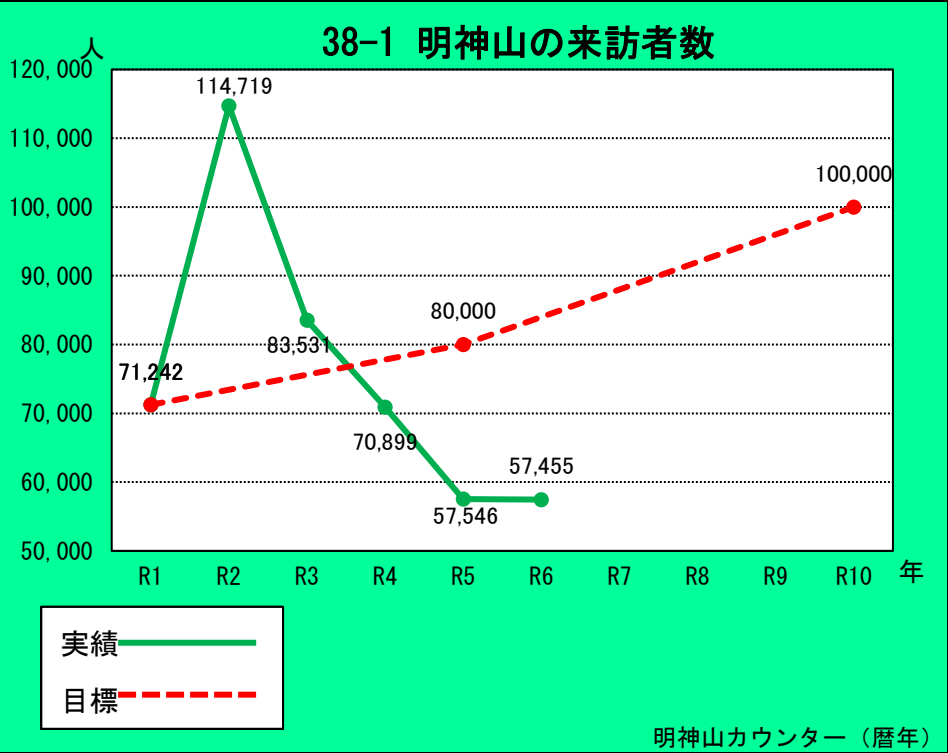
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	3	37.5%	8
R2年度 (2020)	3 件	R6年度 (2024)	$\frac{1}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
【事業費：国1/2、県1/4、町1/4】 この「移住支援金制度」は、国が東京一極化を抑制するために全国的に展開している事業である。 R6年度までに、この移住支援金制度を利用し、東京圏から本町へ3件の家族が移住された。 この支援金制度には、各市町村で独自の要件を設定することが認められており、本町では「王寺町ふるさと寄付金の寄付実績」及び「自治会への加入」を要件としている。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19) 交流の促進
具体的施策	(38) 観光・交流

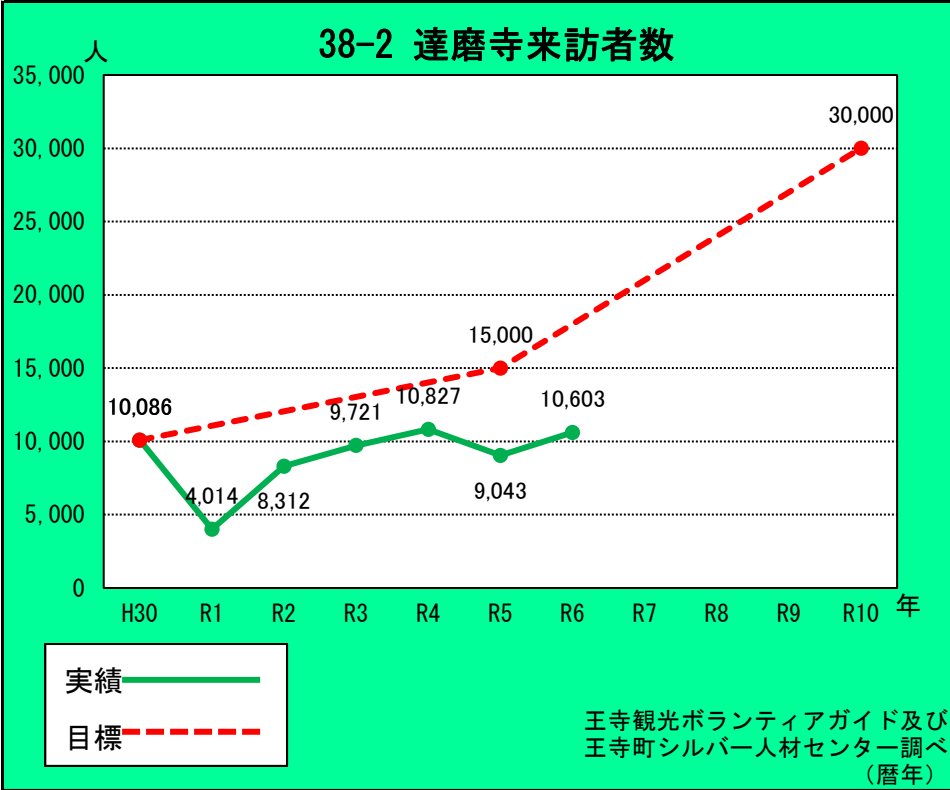
担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
71,242	↓	57,455	-47.9%	100,000
R1年 (2019)	-13,787 人	R6年 (2024)	$\frac{6}{10}$ 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
VRゴーグルやライブカメラ等を駆使した明神山の魅力発信の他、明神山山頂での新たな魅力として、日本遺産「葛城修験」のフォトコンテスト入賞作品展やオリーブ収穫祭(山頂マルシェ)を開催し、ハイカー以外の方が訪れる機会を創出している。 また、大阪府松原市、奈良県葛城市、明日香村と連携して明神山山頂で「烽火」の実証実験を行ったほか、令和7年3月に明神山を名勝地関係として、奈良県初の国登録記念物に登録された。 R8年に飛鳥・藤原京の世界遺産登録になれば明神山山頂から6つの世界遺産が見渡せることとなる。このような明神山にまつわる話題を適時効果的に発信して登山者数の増加を図ってきたい。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19) 交流の促進
具体的施策	(38) 観光・交流

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10,086	↑	10,603	2.6%	30,000
H30年 (2018)	517 人	R6年 (2024)	6 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
アフターコロナにおいて、達磨寺行事（達磨会式、除夜の鐘、節分豆まき）の充実と全国だるまさんがころんだ選手権大会、合格だるまストリート、王寺マルシェなど集客力の高い事業を行う。 また、達磨寺を訪れる観光客の対応として王寺観光ボランティアガイドの会の定点観光ガイドや一般社団法人王寺まちづくり事業による定期的な「だるまマーケット」を開催し、観光客の満足度を高める。				